

はじめに

この年報は、四日市市及び受託する三重郡朝日町、川越町にかかるとる主な消防業務を平成20年中又は平成20年度を中心として収録し、将来の参考として資すると共に、広く消防事象を紹介するためにとりまとめたものです。

住民のみなさん及び関係者の方に広く活用され、本市消防行政に対する認識を一層深めていただければ幸いと存じます。

平成21年6月

四日市市消防本部

目 次

四日市市の位置	1
四日市市の沿革消防概要	2
四日市市の地勢	3
四日市市消防の沿革	4～7
歴代消防長	7
四日市市消防機構図	8
総 務	
一目統計(総務)	9
平成20年度・21年度消防費歳出予算	10
消防費に対する人口世帯当たり額/過去10年間の消防費の推移	11
消防職員の推移	12
消防職員特殊技能資格取得状況	12
階級別・所属別消防職員配置状況	13
消防職員年令別分布	14
消防職員勤続年数別分布	15
消防車両配置状況	16
消防用資機材配置状況	17
職員研修実施状況	18
平成20年度主要記録	19～20
平成21年度消防重点事業	21
相互応援協定	22
警 防	
一目統計(火災)	23
平成20年中の火災概要	24
火災概要	25
火災発生状況比較	26
出火率比較	26
地区別火災発生状況	27
月別・時間別火災発生状況	28
出火原因別火災発生状況	29
過去10年間年別主な火災原因	30
過去10年間の火災発生状況	31
海上・沿岸防災等(IBK委託状況)	32
火災・救助以外の消防車の出動	33
消防水利状況	34
開発行為に関する事前協議等	35
緊急消防援助隊の派遣体制	36
四日市市消防支援隊の活動状況	37
自主防災組織の育成	38
耐震性貯水槽設置場所	39
防災教育センター利用状況	40
四日市市防災指導員制度(指導状況)	41
防火・防災教室の経緯と現状	42
救助・救急	
一目統計(救助)	43
救出・救助活動状況	44
水難救助隊の災害出動概要	45
一目統計(救急)	46
平成20年中の救急業務の概要	47～48
救急概要	49
救急事故発生状況比較	50
過去10年間の救急事故発生状況	50
地区別救急出場状況	51
月別救急出場状況	52
応急手当の普及計画	53
応急手当普及啓発活動の状況	53
応急手当普及活動による救命率の向上	54

通信・気象

一 目 統 計 (通信・気象)	55
指令事務の共同運用・消防通信施設の概要	56
119番通報受付取扱状況	57
通信施設保有状況	58
無 線 配 置 状 況	58
月別救急医療情報案内状況	59
気象予報・警報発表状況	60
気象状況(風速・温度・湿度・風向・降雨量)	61

予 防

一 目 統 計 (予 防)	62
広報活動状況	63
広報用印刷物	63
年別建築同意状況及び防火対象物の推移	64
建築同意件数	64
消防用設備等届出状況	64
危険物仮貯蔵・仮取扱申請承認状況	64
年別危険物施設・設置許可数及び危険物施設数の推移	65
危険物許可事務処理状況	65
火災予防条例等に基づく届出事務処理状況	66
防火対象物状況(階層別)	67
防火対象物状況(消防用設備別)	68
防火対象物状況(地区別)	69
数量・類別危険物施設設置状況	70
地区別危険物施設設置状況	71
事業所等別危険物施設状況	72
コンビナート概要	73
特定防災施設	73
コンビナート防災体制	74
四日市臨海地区事業所配置図	75～76

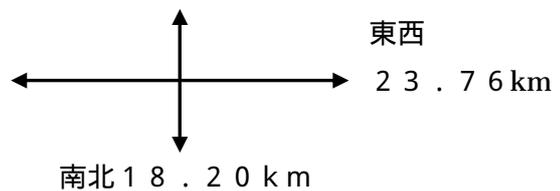
消 防 団

四日市市消防団の沿革	77～78
歴代消防団長	78
消防団の概況	79
消防団員の状況	80
消防団員出動状況	81
消防団訓練・研修実施状況	81
さるびあ分団活動状況	82
消防団防災支援隊の登録状況	82

四日市市の位置



北緯 34° 57'
東経 136° 38'
面積 220.22km²



四日市市の沿革

四日市市は三重県の北部に位置し、西は鈴鹿山系、東は伊勢湾に面した温暖な地域です。すでに旧石器時代から人々が住み、市内には縄文から弥生時代の遺跡も数多く存在しています。市内各所に古墳が築かれ、なかでも志氏神社古墳は市内唯一の前方後円墳として知られています。8～10世紀には智積廃寺や上品寺の釈迦如来座像など四日市地域への仏教文化の広がりが認められ、また、多度神宮寺伽藍縁起并資財帳によれば条理が整備されていた様子がうかがえ、平安から鎌倉時代には伊勢平氏の活躍の舞台でありました。それだけに鎌倉、南北朝、室町時代には時の指導者がその被官を北伊勢に配置しました。

1473年の外宮庁宣に「四ヶ市庭浦」の地名が出てきます。この頃すでに定期市「四日市」が立っていたことがうかがえます。江戸時代、市場町・湊町の四日市に「宿場町」「陣屋・代官所の町」が加わり、北勢の行政・商業の中心地として知られるようになりました。幕末から明治にかけ、菜種油・肥料の生産や取り引きの盛んな町として栄え、四日市港の修築を機に、生糸、紡績を中心とした繊維工業へ、さらに機械工業や化学工業の進出が相次ぎ、日本の近代工業化への歩みを模したかのような形で四日市地域が商工業の都市に進展しました。明治30年に市制を施行し、昭和5年に塩浜、海蔵の両村を合併して以来、周辺町村を併合し平成17年2月の楠町との合併で現在の市域になりました。昭和30年代以降石油化学工場等の進出は、大気汚染等の公害をもたらしましたが、今では環境浄化に努力し、自然との調和を目指した街づくりにまい進しています。

消防概要

本市消防体制は、消防本部に総務課・消防救急課・予防保安課・情報指令課・防災教育センターを設置し、市街地に中消防署・北消防署・南消防署の3消防署を置くとともに、海上・沿岸地域に港分署、市西部に西分署、市中央部に中央分署（消防活動支援センター）、北西救急分駐所及び西南救急分駐所を、受託地域の三重郡朝日町に北消防署朝日川越分署をそれぞれ配置して有事即応体制の確立を図っています。

これに対応する消防力として、消防職員320名、消防車両74台のほか、2消防団及び市内各地区に29分団・団員527名・30分団車両を配備しています。

一方、大規模な災害に対応するため、緊急消防援助隊の三重県代表消防本部としても広域応援訓練に参加すると共に、耐震性貯水槽の設置をはじめ、住民による自主防災組織の活性化を図り、住民と一体で安心・安全なまちづくりを目指しています。

四日市市の地勢と消防機関の配置

(平成21年4月1日)

署別・地区別	面積 (km ²)	世帯数	人 口	人口密度(1km ² あたり)	
合 計	220.22	135,071	336,930	1,530	
中 消 防 署 管 内	小 計	68.09	55,766	136,258	2,001
	共 同	1.10	3,689	7,478	6,798
	同 和	0.12	348	801	6,675
	中 央	0.52	1,113	2,468	4,746
	港	1.80	979	2,010	1,117
	浜 田	3.00	5,642	11,284	3,761
	橋 北	2.62	2,633	5,954	2,273
	海 蔵	3.65	5,310	13,402	3,672
	常 盤	4.89	11,848	27,190	5,560
	川 島	7.89	4,306	12,135	1,538
	神 前	7.40	2,647	7,137	964
	桜	12.02	5,726	16,266	1,353
	県	11.25	2,433	7,168	637
	三 重	11.83	9,092	22,965	1,941
北 消 防 署 管 内	小 計	65.89	41,803	107,707	1,635
	羽 津	8.80	6,415	15,991	1,817
	富 田	4.82	4,942	11,674	2,422
	富洲原	2.04	3,689	9,431	4,623
	大矢知	6.89	7,504	18,761	2,723
	八 郷	10.21	4,735	13,155	1,288
	下 野	7.57	3,203	8,312	1,098
	保 々	10.86	2,475	7,416	683
	朝日町	5.99	3,344	9,106	1,520
	川越町	8.71	5,496	13,861	1,591
南 消 防 署 管 内	小 計	86.24	37,502	92,965	1,078
	塩 浜	7.44	3,013	6,835	919
	日 永	7.23	7,805	18,074	2,500
	四 郷	8.40	10,679	25,436	3,028
	内 部	12.31	6,797	18,115	1,472
	河原田	5.12	1,813	4,585	896
	小山田	18.35	1,867	5,027	274
	水 沢	19.63	1,144	3,457	176
楠 町	7.76	4,384	11,436	1,474	
四日市市	205.52	126,231	313,963	1,528	
受託2町	14.70	8,840	22,967	1,562	

四日市市消防の沿革

明治19年	四日市に初めて火防組1組が組織される 消防夫59人
明治20年	火防組12組 消防夫864人となる
明治24年	火防組が消防組と改名される
明治25年	消防組23組 消防夫1,396人となる
明治27年2月	勅令をもって消防規則が公布される
明治28年12月26日	各町自警消防組を統合し、新たに四日市町消防組として発足 四日市町消防組 第1番組 川原町、末永、浜一色(橋北地区) 第2番組 西町、久六町、比丘尻町、堅町、南町、北町、上新町 (共同地区) 第3番組 中町、境町、八幡町、中新町、四ツ谷新町、南新町 (同和地区) 第4番組 浜町、北条町、下新町、新町(同盟地区) 第5番組 蔵町、北納屋町、中納屋町、桶ノ町、袋町、高砂町、 稲葉町、南納屋町(港地区) 第6番組 浜田、赤堀(浜田地区) 配置人員 組頭1人 小頭6人 消防手193人 合計200人 配備器具 ポンプ6 大水桶12 小水桶64 梯子6 鳶口31 刺又6 釣瓶13 斧6 大縄6 纏6 旗6 高張提灯6 弓張提灯62 消口札6
明治30年	市制実施とともに四日市町消防組も市に引き継がれる
大正6年10月	第5番組(港地区)に初めてガソリンポンプを配置
大正12年1月	総ての組にガソリンポンプを配置
大正15年	初めて自動車ポンプを購入し、組頭直属のもとに自動車隊が登場
昭和5年	市域の拡大に伴って第7番組(海蔵地区) 第8番組(塩浜地区)が本市消防組に編入
昭和7年	本市上水道工事が完成し、消火栓355基を設置
昭和14年1月	政府は準戦時体制から戦時体制に切替え、警防団令を発令した
昭和14年4月1日	昭和6年頃に結成され、防空活動を行っていた防護団と消防組を合体一本化し、四日市警防団を設置した 警防団は消防組と同一区画の8分団とした 定員 622人 (うち本部消防部16人) 分団に警防、消防、救護の3部を置く 初代警防団長 九鬼紋七氏
昭和15年1月16日	分団とは別に常備の本部消防部が組織され、部員が任命され事務所を市役所に置く 本部消防部定員16人(部長1副部長1警防員14) 警防団の装備 自動車ポンプ 5台(うち本部所属1台) 三輪自動車ポンプ1台 ガソリンポンプ2台 サイドカー1台(本部所属1台) 初代部長 東 平三氏
昭和15年4月16日	本部消防部の勤務体制を2部制24時間勤務とし、望楼見張勤務を始める
昭和15年6月4日	本部消防部にポンプ自動車配置 日産ポンプ自動車 29AT式KMC2段タービン26馬力 (警防団長 九鬼紋七氏の寄付)
昭和16年8月28日	本部消防部詰所に火災報知専用電話を設置(警察署より移転)
昭和16年	本市が富田町等2町3村を併合
昭和22年4月8日	千歳町に常備消防港派出所を開所 ポンプ自動車2台配備 本部員7人(本部と輪転勤務)
昭和23年3月7日	消防組織法が施行され、消防団は大正6年から続いていた警察行政から分離し、自治体消防に形を変える
昭和24年3月29日	四日市市常備消防部を廃止し、四日市市消防本部を設置 消防職員55人 消防自動車4台(速消車1・普通消防車3) 初代消防長に吉田千九郎氏(四日市市長兼務) 就任
昭和26年6月20日	消防本部富田出張所を建設・開所 消防職員定員 70名
昭和29年5月8日	機構改革により消防本部を分離して四日市消防署を設置し、港、富田出張所をその傘下に統一した
昭和29年11月15日	吉田千九郎氏消防長を退任
昭和29年11月16日	2代目消防長に中村松次郎氏就任
昭和29年12月1日	消防本部の機構改革により総務・整備・消防・予防の4係を置く
昭和32年4月1日	消防職員定員 90名
昭和32年11月1日	消防と警察の特別援助協力協定を締結

昭和34年2月24日	消防本部、消防署合同庁舎を新築し移転
昭和35年4月1日	消防職員定員 91名
昭和35年12月15日	救急業務を開始
昭和36年3月31日	中村松次郎氏消防長を退任
昭和36年4月1日	消防職員定員 106名
昭和36年4月15日	3代目消防長に竹内鉄雄氏就任
昭和36年5月1日	機構改革により消防本部に次長を設け、総務・消防の2課、総務・整備・消防・予防の4係を置き、消防 総務・消防・予防の3係を置く 富田出張所を北出張所と改称
昭和37年1月20日	南出張所を開所
昭和38年4月1日	消防職員定員 125名
昭和38年5月24日	消防と海上保安部の船舶消防に関する業務協定締結
昭和39年4月1日	消防職員定員 139名
昭和39年10月1日	機構改革により四日市消防署を中消防署と改称、北出張所・南出張所をそれぞれ消防署に昇格
昭和40年10月1日	桜、保々分遣所を開所
昭和41年4月1日	消防職員定員 159名
昭和42年4月1日	消防職員定員 166名
昭和43年3月31日	竹内鉄雄氏消防長を退任
昭和43年4月1日	4代目消防長に富山光三氏就任 消防職員定員 171名
昭和43年7月1日	四日市市と楠町、川越町、朝日町の救急業務に関する応援協定を締結
昭和44年3月31日	一斉指令装置を設置
昭和44年4月1日	消防職員定員 176名
昭和45年4月1日	機構改革により、本部の2課4係にあらたに予防課を設け、総務・消防・予防の3課、庶務・装備・消防・ 通信・救急・予防・危険物の6係とした 中消防署港出張所を同署港分署に昇格 消防職員定員 185名
昭和45年5月21日	中消防署港分署に双胴型消防艇「あさかぜ」を配備
昭和46年4月1日	消防職員定員 190名
昭和46年4月6日	北消防署庁舎改築(鉄筋コンクリート造2階建、建築延面積760.31㎡、監視用テレビカメラ装置付)
昭和46年5月22日	消防と海上保安部の船舶消防に関する業務協定を改定締結
昭和47年3月31日	富山光三氏消防長を退任
昭和47年4月1日	5代目消防長に倉谷徳助氏就任
昭和49年4月1日	消防職員定員 191名
昭和49年6月4日	南消防署庁舎改築(鉄筋コンクリート造2階建、建築延面積759.9㎡)
昭和50年3月31日	倉谷徳助氏消防長を退任
昭和50年4月4日	6代目消防長に松村佳美氏就任 消防職員定員 193名
昭和50年10月1日	小山田分遣所を開所
昭和50年10月22日	四日市市、桑名市、鈴鹿市、亀山市及び長島町の高速道路における消防相互応援協定を締結
昭和51年4月1日	消防職員定員 194名
昭和51年4月16日	機構改革により、本部予防課に指導査察係を置く
昭和52年3月25日	石油コンビナート等災害防止法に基づき、高所放水車・大型化学車・泡原液搬送車の3点セットを 中消防署に配備
昭和52年4月1日	消防職員定員 197名
昭和52年7月1日	機構改革により、本部に警防技監・主幹・主任を、消防署に副署長・主任の設置制度及び中消防署に 消防第3係を設け、本部通信救急係を通信指令室に改めた
昭和53年3月31日	通信指令室に防災指令装置を設置 松村佳美氏消防長を退任
昭和53年4月1日	消防職員定員 200名
昭和53年4月5日	7代目消防長に渡邊靖三氏就任
昭和53年12月23日	四日市市と楠町、川越町、朝日町の救急業務に関する応援協定を改定締結
昭和54年4月1日	消防職員定員 207名
昭和55年4月1日	機構改革により、本部の主幹を課長補佐に改め主任を廃止し、総務課に企画係を、消防課に防災指導係 を置き、通信指令室を指令第1及び第2係に改めた 消防署の副署長を署長補佐に改め、主任を廃止した 消防職員定員 215名
昭和56年2月26日	中消防署に救助工作車を配備
昭和56年4月1日	消防職員定員 222名
昭和57年4月1日	消防職員定員 227名

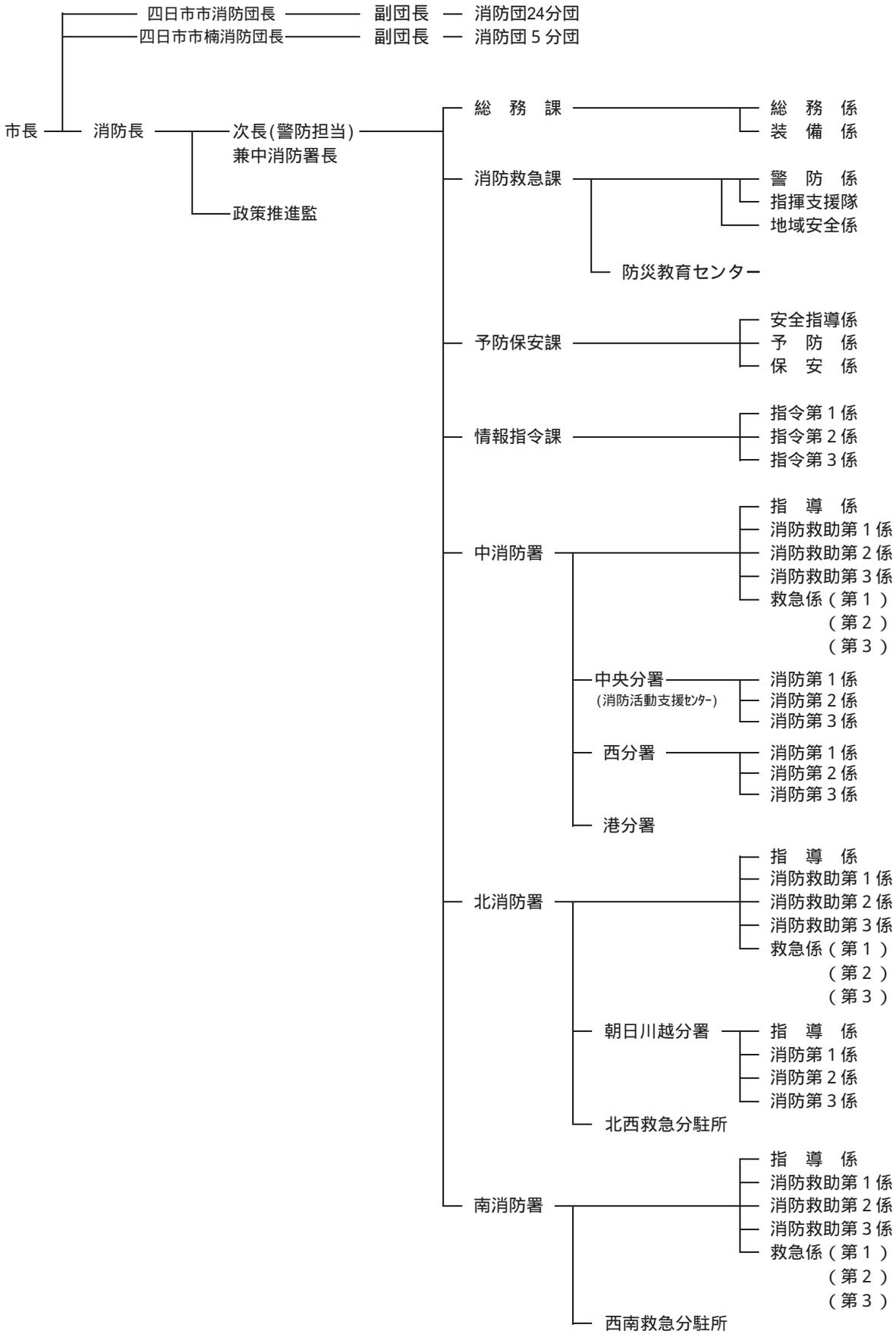
昭和57年12月1日	三重県救急医療情報システム地域救急医療情報センターを開設し、運用開始
昭和58年4月1日	消防職員定員 232名
昭和58年9月30日	渡邊靖三氏消防長を退任
昭和58年10月1日	8代目消防長に山口博氏就任
昭和59年4月1日	機構改革により、各消防署の庶務係を予防係に統合し、北・南消防署に消防第3係を置き、総務課庶務係を総務係に、装備係を施設装備係に、消防課消防係を警防係に、防災指導係を防災係に、予防課予防係を建築物係にそれぞれ改めるとともに主幹・主査及び副主査制度を設けた 消防職員定員 236名
昭和59年10月31日	消防本部・中消防署合同庁舎改築(本館棟、鉄骨鉄筋コンクリート造5階一部6階建、建築延面積3,829.09㎡)
昭和60年4月1日	消防職員定員 235名
昭和60年10月18日	桜分遣所改築
昭和62年4月1日	機構改革により消防本部に副参事を設け、研修所及び総務課企画係を統合し企画研修室とした 消防課指令係に第3係を増設し、3係制とした 消防職員定員 240名
昭和62年11月30日	中消防署港分署に配備の消防艇「あさかぜ」を単胴船に更新
昭和63年3月31日	桜分遣所を廃止した
昭和63年4月1日	中消防署西分署を開設(鉄筋コンクリート造平屋建 延べ面積390.85㎡)、4月8日から業務開始、4月18日竣工式を挙行 機構改革により、西分署に消防第1係、消防第2係、消防第3係を設置し港分署水上係を水上第1係、水上第2係、水上第3係に改めた 海上分団に普通ポンプ自動車(旧第4号車)を配備した
平成元年10月2日	消防業務のOAシステム(予防)の運用を開始した
平成2年3月31日	山口博氏消防長を退任
平成2年4月2日	9代目消防長に島村隆氏就任
平成2年10月1日	「一人暮らしの老人に対する緊急通報事業」の運用を開始した
平成2年12月6日	中消防署にはしご付消防自動車(45m)を配備
平成3年1月21日	消防業務のOAシステム(指令管制)の運用を開始した
平成3年2月28日	三重郡楠町、朝日町及び川越町と四日市市との間において消防事務委託に関する付属協定書・同覚書の調印を行った
平成3年4月1日	中消防署港分署庁舎移転・新築(鉄筋コンクリート造一部2階建延べ面積208.75㎡) 消防職員定員 245名
平成4年4月1日	三重郡楠町、朝日町及び川越町の消防事務受託に伴い消防職員を増員 消防職員定員 274名 県下初の女性消防吏員3名を採用
平成4年4月15日	消防本部次長を2人制とし、消防課に救急救助係を設けた
平成4年6月23日	救急救命中央研修所及び大阪市消防学校において各1名が研修を終了し、4月19日第1回救急救命士国家試験に合格 県下初の救急救命士 2名誕生
平成5年2月10日	三重郡楠町の消防事務受託に際し、南消防署を一部増築(事務所部分135.18㎡)
平成5年2月26日	三重郡朝日町、川越町の消防事務受託に際し、北消防署朝日川越分署を建設(鉄筋コンクリート造一部2階建、延べ面積560㎡)竣工式を挙行
平成5年3月1日	三重郡楠町、朝日町、川越町の消防事務を受託し業務開始 水槽付消防ポンプ自動車1台、救急車1台、広報車・軽トラック各1台を配備、予防係、消防第1係、消防第2係、消防第3係、を設置し分署長以下18名で業務を開始した
平成5年4月1日	機構改革により、消防本部に通信指令室を設け消防課の所管とし消防署に副参事を設けた 中消防署に特別救急隊を設置し、高規格救急車の運用を開始した 消防音楽隊を再結成し、練習・訓練を開始した 消防職員定員 284名
平成6年4月1日	機構改革により、中消防署港分署の水上第3係を廃止した 消防職員定員 286名
平成7年3月 3日	四日市市消防本部・四日市市消防団連名で、消防庁長官表彰・表彰旗を受章
平成7年4月1日	消防職員定員 290名
平成8年3月31日	島村隆氏消防長を退任
平成8年4月1日	10代目消防長に小山佳志氏就任 消防職員定員 294名
平成8年7月12日	消防緊急通信指令システム運用開始
平成9年4月1日	機構改革により、消防本部に防災教育センター、中消防署に特別救急救助第1、第2、第3係を設けた

平成9年4月10日	北消防署、防災教育センター竣工
平成10年2月1日	予防システムのOA機器更新
平成10年4月1日	機構改革により、消防本部総務課の所管として情報指令室を置き、同課施設装備係を装備係に、消防課を消防救急課に、同課の防災係及び救急救助係を統合し地域安全係とし、予防課を予防保安課に、同課の建築物係を予防係に、危険物係を保安係に、指導査察係を安全指導係に、各消防署及び朝日川越分署の予防係を指導係に、中消防署の消防第1～3係及び特別救急救助第1～3係を消防救助第1～3係及び救急係に改称し、北消防署及び南消防署に救急係を設置した 消防職員定員 293名
平成10年10月5日	北勢地域携帯電話119番通報運用開始
平成11年3月31日	小山佳志氏消防長を退任
平成11年4月1日	消防職員定員 292名
平成11年4月3日	11代目消防長に星合隆毅氏就任
平成12年10月1日	北消防署保々分遣所を廃止し、新たに北消防署北西救急分駐所(職員3名、救急車1台)を開設
平成14年2月27日	中消防署に救助工作車(型)を増強配備した
平成14年3月31日	小山田分遣所を廃止
平成14年4月1日	機構改革により北消防署消防係を消防救助係に改め、救助工作車の運用を開始した
平成14年10月1日	小山田地区市民センター内に、新たに南消防署西南救急分駐所(職員3名、救急車1台)を開設
平成15年3月31日	星合隆毅氏消防長を退任 消防音楽隊活動休止
平成15年4月1日	12代目消防長に鈴木史郎氏就任 四日市市消防本部水難救助隊発足
平成15年4月13日	四日市市消防本部水難救助隊発足式
平成16年4月1日	四日市市消防団防災支援者制度発足
平成16年8月20日	四日市市消防支援隊発足
平成17年1月1日	消防情報支援システムの運用開始
平成17年2月7日	四日市市と楠町が合併し新たな四日市市が誕生
平成17年4月1日	機構改革により消防本部総務課情報指令室を消防本部情報指令課に改組した 消防音楽隊を再編し、活動再開
平成17年8月9日	北勢地域携帯電話からの119番通報がブロック代表受信方式から直接受信方式に切替
平成18年4月1日	13代目消防長に北川保之氏就任 消防職員定員310名
平成18年7月10日	四日市市及び桑名市消防通信指令事務協議会の設置
平成19年4月1日	消防職員定員320名 四日市市、桑名市消防本部が、桑名市消防本部内で消防指令センターの共同運用を開始 機構改革により消防本部消防救急課の指揮支援隊の24時間体制を開始、南消防署消防係を消防救助係に改め救助工作機能付消防ポンプ自動車の運用を開始した
平成20年4月1日	消防職員定数320名 特別救助隊に替えて高度救助隊を導入
平成20年11月1日	中消防署中央分署(消防活動支援センター)を開署(鉄筋コンクリート造3階建 敷地面積 5,227㎡) 11月10日から業務開始 11月16日開署式を挙行

歴 代 消 防 長

代	氏名	在 職 期 間
初	吉田千九郎	昭和24年3月29日～昭和29年11月15日
2	中村松次郎	昭和29年11月16日～昭和36年3月31日
3	竹内鉄雄	昭和36年4月15日～昭和43年3月31日
4	富山光三	昭和43年4月1日～昭和47年3月31日
5	倉谷徳助	昭和47年4月1日～昭和50年3月31日
6	松村佳美	昭和50年4月4日～昭和53年3月31日
7	渡邊靖三	昭和53年4月5日～昭和58年9月30日
8	山口博	昭和58年10月1日～平成2年3月31日
9	島村隆	平成2年4月2日～平成8年3月31日
10	小山佳志	平成8年4月1日～平成11年3月31日
11	星合隆毅	平成11年4月3日～平成15年3月31日
12	鈴木史郎	平成15年4月1日～平成18年3月31日
13	北川保之	平成18年4月1日～現在

四日市市消防機構図



総務

一 目 統 計

(2町消防事務受託分含む)

消 防 予 算	3,446,055,000 円(市予算 3.5%)
一 般 会 計 総 予 算	97,382,000,000 円
消 防 職 員 定 数	320 人以内
市 職 員 定 数	2,849 人以内
人 口 (委託2町含む)	336,930 人

人口の最も多い地区 (四日市市)常磐地区 27,190 人

人口の少ない地区 (四日市市)水沢地区 3,457 人

消 防 車 両 等(四日市市)

(常 備) はしご自動車	1台
屈折はしご自動車	1台
化学消防自動車	3台
水槽付ポンプ自動車	7台
消防ポンプ自動車	5台 (救助工作機能付1台含む)
消防ポンプ付給水車	1台
高所放水車	2台 (はしご車兼用1台含む)
泡原液搬送車	2台
救助工作車	2台
高規格救急自動車	11台
救急自動車	1台
その他車両	38台

(非常備) 四日市

消防ポンプ自動車	23台
楠	
水槽付ポンプ自動車	1台
消防ポンプ自動車	5台
可搬式ポンプ積載車	1台

参 考(受託2町非常備)

(朝日町) 消防ポンプ自動車	2台
可搬式ポンプ積載車	4台
(川越町) 消防ポンプ自動車	1台
可搬式ポンプ積載車	11台

平成20年度・21年度消防費歳出予算(当初額)

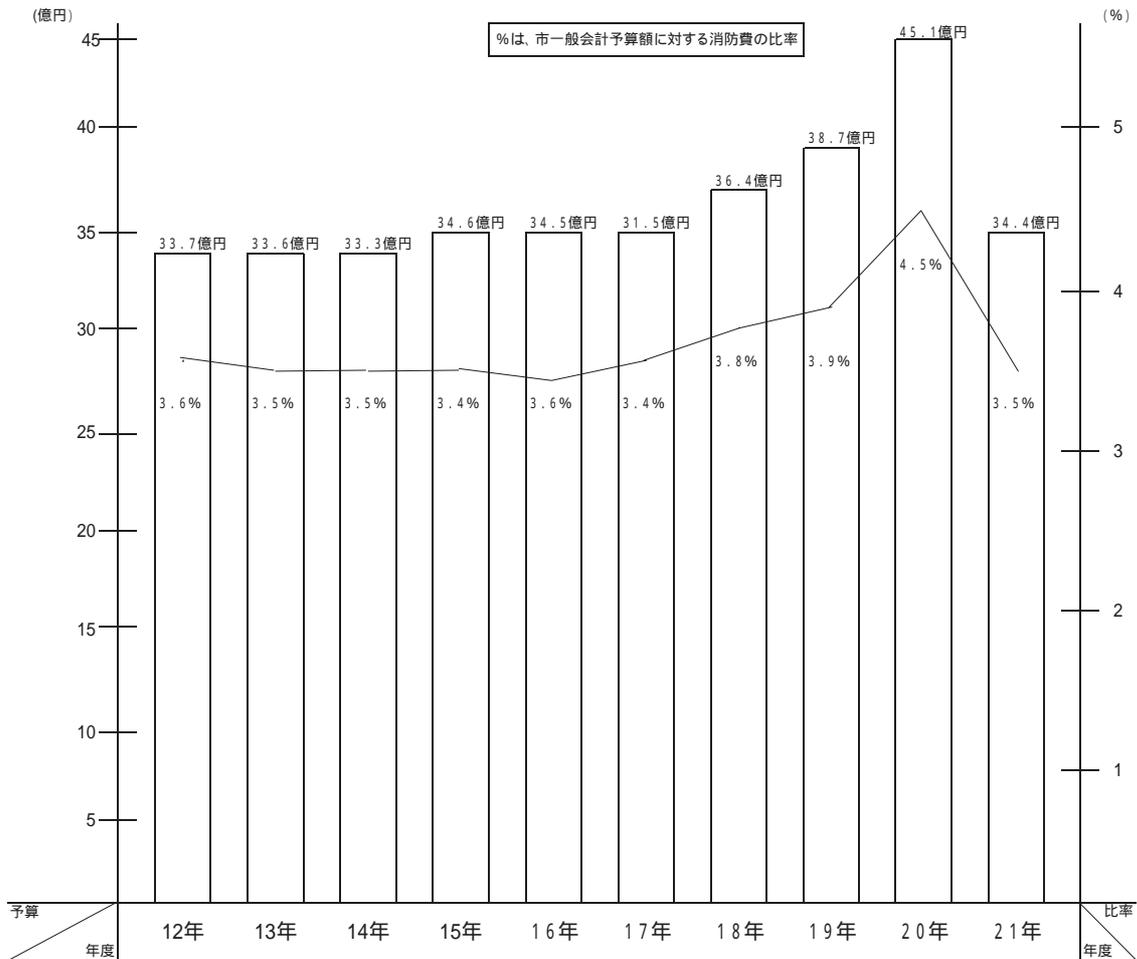
款 項 目	節	平成20年度	平成21年度	比較増 減
消 防 費		4,507,797	3,446,055	1,061,742
消 防 費		4,507,797	3,446,055	1,061,742
常備消防費		3,230,914	2,925,643	305,271
	給 料	1,204,510	1,176,686	27,824
	職 員 手 当	1,401,186	1,103,909	297,277
	共済費	331,408	337,616	6,208
	賃金	1,272	1,260	12
	報償費	27,122	33,438	6,316
	旅費	6,957	7,343	386
	交際費	50	50	0
	需用費	92,909	97,713	4,804
	役務費	10,568	10,602	34
	委託料	72,648	82,053	9,405
	使用料及び賃借料	15,536	13,289	2,247
	工事請負費	250	1,000	750
	原材料費	336	300	36
	備品購入費	3,410	10,109	6,699
	負担金補助及び交付	35,906	32,729	3,177
	補償補填及び賠償金	26,801	17,501	9,300
	公課金	45	45	0
非常備消防費		125,687	133,082	7,395
	報酬	16,004	16,004	0
	共済費	1,002	1,002	0
	災害補償費	2,100	2,100	0
	報償費	9,776	8,892	884
	旅費	53,063	59,082	6,019
	交際費	50	50	0
	需用費	11,066	12,887	1,821
	役務費	13	8	5
	委託料	1,615	1,615	0
	使用料及び賃借料	1,223	1,448	225
	備品購入費	10,853	10,723	130
	負担金補助及び交付金	18,921	19,270	349
	補償補填及び賠償金	1	1	0
消防施設費		1,151,196	384,572	766,624
	需用費	54,040		54,040
	役務費			0
	委託料	8,625	2,800	5,825
	使用料及び賃借料	0		0
	工事請負費	780,715	39,800	740,915
	原材料費	0		0
	備品購入費	256,972	301,975	45,003
	負担金補助及び交付金	50,844	39,997	10,847
水防費		3,260	2,758	502
	報償費	0		0
	旅費	0		0
	需用費	763	513	250
	委託料	105		105
	工事請負費	688	1,488	800
	原材料費	904	757	147
	備品購入費	800		800
	負担金補助及び交付金	0		0

消防費に対する人口世帯当り額

	消防費 (千円)	人口 (人)	世帯	1人当り額 (円)	1世帯当り額 (円)
平成17年度	2,931,135	309,648	118,183	9,466	24,801
平成18年度	3,368,352	310,710	120,273	10,840	28,005
平成19年度	3,654,746	311,904	122,284	11,717	29,887
平成20年度	4,507,797	313,495	124,587	14,379	36,182
平成21年度	3,443,297	313,963	126,231	10,967	27,278

三重郡朝日町、川越町の消防事務受託関係を除く。

過去10年間の消防費の推移



消 防 職 員 の 推 移

(平成21年4月1日現在)

年 度 別	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	
定 員	292	310	320	320	320	
実 員	消防吏員	290	300	304	313	315
	その他の職員	0	0	1	1	1
	合 計	290	300	305	314	316
消防職員定員増減	0	+18	+10	0	0	

消 防 職 員 特 殊 技 能 資 格 取 得 状 況

(平成21年4月1日現在)

階 級 別 資格種別		合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
自 動 車 免 許	大 型	201		1	9	22	62	80		27
	け ん 引	8				1	4	2		1
	大 型 特 殊	8				1	2	4		1
自動車整備士		5					3	2		
海技士(航海)		1					1			
海技士(機関)		1			1					
小型船舶操縦士1級		10			1	1	4	4		
小型船舶操縦士2級		21		1	1	2	5	11		1
小型移動式クレーン		214		1	7	17	42	60		87
玉掛資格		281		2	13	23	67	85		91
ガス溶接資格		257			7	18	57	85		90
無 線 技 師	第2級海上特殊無線技士	7				1	2	4		
	レーダー級海上特殊無線技士	6				1	4	1		
	第2級陸上特殊無線技士	295		3	16	27	65	93		91
救 急	救急 課程	57		3	9	12	25	8		
	救急 課程(標準課程含む)	244			5	17	49	85		88
	救急救命士	37			2	6	10	14		5
応急手当指導員		298	1	3	15	26	68	94		91
衛生管理者		16		1	8	2	4	1		
第2種酸素欠乏危険作業主任者		42			1	12	22	4		3
潜水士		25					2	19		4
予 防 技 術 資 格 者	防火査察	35		2	8	8	14	3		
	消防用設備	17			2	4	8	2		1
	危険物	28		3	4	7	9	5		
危 険 物 取 扱 者	甲種	6		1	3			1		1
	乙種	165		1	6	9	16	49		84
消 防 設 備 士	甲種	4			2	1		1		
	乙種	11			3	1	2	4		1
防火対象物点検資格者		3					2	1		
非破壊検査技術者		1						1		

階級別・所属別消防職員配置状況

(平成21年4月1日)

階級別		合計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務吏員	
所属別	合計	321[31(20)<12>	1	3[1]	15[2]	29(1)	69	94(1)<4>		109(18)<7>	1<1>	
消防本部	消防長	1	1									
	次長	1		1								
	政策推進監兼同和行政推進監	1			1							
	総務課	小計	30[11(21)<3>		1	1[1]	3(2)	3	1(1)		20(18)<2>	1<1>
		課長	1		1							
		課長補佐	1			1						
		総務課付	21(21)<2>				2(2)		1(1)		18(18)<2>	
		総務係	5<1>				1	2			1	1<1>
		装備係	2[1]			[1]		1			1	
	消防救急課	小計	18			1	3	6	5		3	
		課長	1			1						
		課長補佐	1				1					
		警防係	12				1	4	4		3	
		地域安全係	4				1	2	1			
		警防本部要員										
	防災センター	小計										
		所長										
		副署長										
		所員										
		小計	13			2	2	2	6		1	
予防火保安課												
情報指令課	小計	15			2	2	6	5				
	課長	1			1							
	課長補佐	3			1	2						
	指令係	11					6	5				
	小計	106[2]<6>		[1]	4[1]	8	22	34<2>		38<4>		
	本署											
消防署	計	58[2]<3>		[1]	[1]	5	12	18		23<3>		
	署長	[1]		[1]								
	副署長	[1]			[1]							
	指導係	5				1	2	1		1	1	
	消防救助係	41				3	7	13		18		
	救急係	12<2>				1	3	4		4<2>		
	防災指導員											
	防災指導員(現地要員)											
	中央分署											
	計	30			2	1	5	10	2	12	1	
分署長	1			1								
副署長	1			1								
分署員	28				1	5	10	2	12	1		
西分署												
計	16			1	1	5	6		3			
分署長	1			1								
副署長	0											
分署員	15				1	5	6		3			
港分署												
計	2			1	1							
分署長	1			1								
分署員	1				1							
消防北本署	小計	75<2>		1	2	6	16	23<1>		27<1>		
	計	56<2>		1	1	5	10	17<1>		22<1>		
	署長	1		1								
	副署長	1			1							
	指導係	3				1	1			1		
	消防係	40				3	6	12		19		
	救急係	11<2>				1	3	5<1>		2	1	
	防災指導員(現地要員)											
	計	19			1	1	6	6		5		
	朝川分署											
分署長	1			1								
副分署長	0											
指導係	2				1				1			
消防係	16					6	6		4			
消防南本署	小計	56			1	5	11	19	1	20		
	署長	1			1							
	副署長	1				1						
	指導係	3				1	1	1				
	消防係	39				3	6	12		18		
	救急係	12					4	6		2		
防災指導員(現地要員)												
市長部局へ出向		5			1		3	1				

()は派遣職員及び消防学校入校予定職員、< >は女性消防吏員をそれぞれ内数で表し、[]は兼務である
数字は再任用職員及び嘱託職員数

消 防 職 員 年 令 別 分 布

(平成21年4月1日現在)

階級別 年令	合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	事 務 吏 員
合 計	321	1	3	16	28	69	94	0	109	1
18	2								2	
19	2								2	
20	1								1	
21	2								2	
22	6								6	
23	8								8	
24	16								16	
25	14								14	
26	17						1		16	
27	17						1		16	
28	9						2		7	
29	10						5		5	
30	9						7		2	
31	5						2		3	
32	10						8		2	
33	11					1	8		2	
34	8					2	5		1	
35	7					3	4			
36	9					6	2		1	
37	11					4	7			
38	12					6	3		3	
39	8				1	2	5			
40	11						11			
41	12				1	3	8			
42	4					1	3			
43	5				1	3	1			
44	8				6		2			
45	5				1	2	2			
46	3				1		2			
47	8				5	1	2			
48	8			2	2	3	1			
49	2					2				
50	9			3	3	3				
51	5			2	2		1			
52	12			4		7	1			
53	4			2		2				
54	8		1		1	6				
55	5		1	1	1	2				
56	4			1	1	2				
57	6					5				1
58	3				1	2				
59	4		1	1	1	1				
60	0									
61	0									
62	1	1								

(出向職員含む)

平均年齢

37.2 歳

消防職員勤続年数別分布

(平成21年4月1日現在)

階級別 勤続年数	合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	事 務 吏 員
合 計	321	1	3	16	28	69	94	0	109	1
0～1	18								18	
1～2	28								28	
2～3	21								20	1
3～4	14	1							13	
4～5	13						2		11	
5～6	8						2		6	
6～7	7						4		3	
7～8	9						7		2	
8～9	7						6		1	
9～10	7						6		1	
10～11	4					1	3			
11～12	14					3	9		2	
12～13	4					1	2		1	
13～14	11					1	10			
14～15	7					5	2			
15～16	6					1	5			
16～17	12					4	7		1	
17～18	27				2	10	15			
18～19	5					2	1		2	
19～20	4				1	2	1			
20～21	3					1	2			
21～22	0									
22～23	7				3	1	3			
23～24	3				1	1	1			
24～25	0									
25～26	3				2	1				
26～27	7			2	3		2			
27～28	11			2	3	4	2			
28～29	10			1	3	5	1			
29～30	13		1	2	4	6				
30～31	8			4		4				
31～32	4					4				
32～33	6			3	1	2				
33～34	3			1	1	1				
34～35	2				1		1			
35～36	0									
36～37	1					1				
37～38	2		1		1					
38～39	1					1				
39～40	7			1	1	5				
40～41	2					2				
41～42	2		1		1					

(出向職員含む)

平均勤続年数 15.6年

消 防 車 両 配 置 状 況

(平成21年4月1日現在)

区分		所 属 別											合計	消防団
		消防本部	中消防署	中央分署	西分署	港分署	北消防署	朝日川越分署	北西救急分駐所	南消防署	西南救急分駐所	防災教育センター		
消 防 車	消防ポンプ自動車	1	1	1	-	-	1	-	-	1	-	-	5	28
	水槽付ポンプ自動車	-	1	1	2	-	1	1	-	1	-	-	7	1
	化学消防自動車	-	1	-	-	-	1	-	-	1	-	-	3	
	消防ポンプ付給水車	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	はしご自動車	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	屈折はしご自動車	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	
	高所放水車	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	
	泡原液搬送車	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	
	救助工作車	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	
	消防ポンプ積載車	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	1
救 急 車	高規格救急自動車	-	3	1	1	-	2	1	1	2	-	-	11	
	救急自動車	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	
そ の 他 の 車 両	指揮車	1	1	-	-	-	1	-	-	1	-	-	4	
	指揮支援車	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	水難救助車	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	泡原液運搬車	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	資機材搬送車	1	-	1	-	-	1	-	-	1	-	-	4	
	火災原因調査車	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	立入検査車	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	広報車	5	1	1	1	1	1	1	-	2	-	2	15	
	軽四トラック	-	1	-	1	-	1	1	-	1	-	-	5	
	救急普及啓発車	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	
	乗用車	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
	その他	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
合計		15	15	6	5	1	12	4	1	12	1	2	74	30

消防用資機材配置状況

(平成21年4月1日現在)

区分 / 所属	消防本部	中消防署	中央分署	西分署	港分署	北消防署	朝川分署	南消防署	合計
空気呼吸器		33	12	11		23	17	20	116
酸素呼吸器		5				7			12
エンジンカッター		1	1	2		2	1	2	9
高発泡器		1				2		1	4
大容量泡放射砲(1S)		1				1		1	3
可搬式放水銃		5	1	2		2	1	2	13
耐熱服		6				3		6	15
ガス測定器	1	4	1	1		2	1	3	13
各種測定器	4	1				1		3	9
救命ボート		3	1			1		1	6
油圧切断機		3		1		1		1	6
チェーンソー		2	1			2	1	1	7
ボートパワー		1		1		1			3
救命索発射銃		1		1		2	1	1	6
ガス溶断器		1				1	1	1	4
発動発電機		7	1	3	2	6	2	3	24
排送風機		2	1	2	1	3	1	1	11
エアソー		2	1	1		1		1	6
救助幕		2				2		1	5
油圧スプレッター		2		1		1		1	5
マット型空気ジャッキ		7		1		6		2	16
削岩機		1				1		1	3
耐電衣		2				5		3	10
防毒衣		4				2		10	16
マンホール救助器具		2				1		1	4
高度救助用資機材									
画像探索機 1型		1							1
画像探索機 2型		1							1
熱画像直視装置		1				1		1	3
地中音響探知機		1							1
夜間用暗視装置		2							2
エアラインマスク		1							1
地震警報器		1							1
オイルフェンス									
潜水器具						20			20
高圧空気充てん機		1				1			2

救急用資機材配置状況

(平成21年4月1日現在)

区分 / 所属	消防本部	中消防署	中央分署	西分署	港分署	北消防署	朝川分署	南消防署	合計
AED	1	3	2	1		3	1	4	15
AEDトレーナー	3	6	3	2		6	4	6	30
レサシ 大人	5	6	1	3		7	4	6	32
小児	1	1	4	2		2	1	2	13
幼児	1	1	4	1		2	1	1	11
レサシ リトルアン		3	4	1		2	2	4	16

職員研修実施状況

平成20年度

派遣研修

派遣先	研修科目	研修期間	受講者数
消防大学校	火災調査科(16期)	10/27-12/19	1
	指揮隊長コース	4/21-4/25	2
	高度救助コース	2/24-3/6	1
三重県消防学校	初任科 (45期)	4/7-12/5	28
	救急科救急課程 (11期)	10/2-11/26	28
	警防科警防課程(20期)	2/2-2/16	3
	予防査察科予防査察課程(3期)	2/16-2/27	3
	救助科水難救助課程 (8期)	5/19-5/22 9/24-10/3	3
	救助科救助課程 (19期)	2/17-3/18	0
	水難救助課程指導者養成講習	5/12-1/7 (14回)	1
	救急救命士フォローアップ研修	1/7 1/9	28
	初級幹部科 (30期)	1/19-1/30	3
	危険物科危険物課程 (11期)	12/8-12/12	3
	中級幹部科 (17期)	12/9-12/17	3
	はしご自動車講習	12/15-12/18	3
薬剤投与講習	1/8-2/13	2	
救急救命士養成所	救急救命東京研修所 新規養成	4/3-10/9 9/8-3/23	3
	救急救命九州研修所 新規養成	9/7-3/24	1
	京都市救急救命士養成所 新規養成	8/27-3/20	1
	救急救命九州研修所 薬剤投与	4/2-5/10	1
消防科学総合センターが主催する講座	火災調査技術会議	11/27	1
全国市町村アカデミー	情報公開と個人情報保護	9/1-9/9 1/14-1/22	2
	危機管理と災害に強い地域づくり	2/18-2/26	1
四日市市	準管理職候補者チャレンジ研修	6/13-10/3	3
	管理職候補者チャレンジ研修	5/20-11/28	3
	官民交流セミナー	7/18	1
	ステージ2 30歳年齢別研修	7/17 7/18	9
	ステージ5 45歳年齢別研修	8/5 8/6	6
	ステージ6 50歳年齢別研修	9/30 10/1	1
	ロープレスキュー技術専門員講習	6/24-6-26	2
	レスキューフレームワーク・セミナー	10/13 10/14	2
	クレーム対応能力養成研修	1/8	1
	アカウンタビリティ能力養成研修	1/9	2
	自治会館組合「マネージャー研修 政策を学ぶ」	7/31-8/1	1
	自治会館組合「法務トレンド講習(危機管理)」	11/7	1
	自治会館組合「コーチング研修」	11/12-11/13	1
	防災管理者研修会	1/21	1
危機管理意識養成研修	8/7	3	
全国消防長会/消防協会 東海支部が主催する講習会	火災調査研究発表会	1/30	5
三重県消防長会が関係する研修	救急コ・メディカルセミナー	11/6-11/7	7
	日本救急医学会中部地方会 幹事会	5/18	1
	JPTCCプロバイダーコース	6/15 12/14	4
	JPTCCインストラクターコース	1/18	1
	消防長研修会	8/20	1
資格取得研修	大型自動車運転免許 (新規)	6/1-取得まで	5
	潜水士免許 (新規)	7/8	2
	2級小型船舶操縦士免許 (新規)	6/17-18 6/23-24	3
	2級小型船舶操縦士免許 (更新講習)	6/15	1
	3級小型船舶操縦士免許 (更新講習)	6/16	2
	防火対象物点検資格者(再講習)	9/19	1
	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任講習 (新規)	11/5-11/7	3
	小型移動式クレーン運転技能講習 (新規)	10/14-10/15 10/17	3
予防技術資格者 (新規)	3/8	7	
消防本部研修	新規採用職員研修	4/1-4/4 4/28 9/5	28
	救急救命士就業前病院研修	4/1- 10/1- 11/4-	5
	救急救命士気管挿管病院実習	12/1-	1
	救急救命士薬剤投与病院実習	2/25-29 3/3-7	2
	救急科救急課程修了後病院研修	12/15-12/19	28
	救急救命士救急用自動車同乗研修	8/5 2/3	4
	昇任予定者研修	3/18	30
	視察研修	先進都市視察 都市型救助技術導入に関する研修 (埼玉県)	6/10-6/12
	水難救助隊研修	6/18-6/20	2
	ロープレスキュー専門員研修	6/24-6/26	2
	消防防災ロボット技術ネットワーク設立総会(東京都)	1/20-1/21	2
その他機関	危険物セミナー		
	事故防止対策セミナー	11/26	1
	危険物保安技術講習会	7/28-7/29	1
	事故防止対策セミナー	2/24	1
	石油コンビナート事務担当者研修会	3/17	1

平成20年度主要記録

年	月	日	主な記事	日	その他の記事
20	4	7	初任科生入校 於：三重県消防学校 第45期生 28名が入校、12月5日卒業。	11	近畿府県合同防災訓練(第1回全体会議)
				11	三重県消防職員意見発表会 於：菰野町
	5	13	市民防災隊連絡協議会総会	19	第1回 四日市市及び桑名市消防通信指令事務協議会 於：桑名市消防本部
		20.21	防火管理講習 甲種防火管理講習110名、乙種防火管理講習13名が受講	21	三重県内高速道路消防連絡協議会(全体会議)
		26	防火協会総会		
	6	1~30	危険物安全管理強調月間 月間中にコンビナート事業所を対象に本部で「防災診断」及び危険物保有事業所等を対象に各署で立ち入り検査及び消防訓練を実施	19	三重県総合防災訓練(全体会議)
		3~	各地区の自治会等で地区訓練を実施	20	近畿府県合同防災訓練(第2回全体会議)
		20	優良危険物事業所表彰 平成20年度優良危険物事業所の4事業所を消防長表彰	23	消防安全衛生委員会
		24.25.26	防火管理講習 甲種防火管理講習115名、乙種防火管理講習15名が受講	23	三重県消防長会警防担当課長会議
	7	2	安全衛生講演会 『身体組成とメタボ予防』 名古屋大学総合保険体育科学センター 島岡 清 氏	14	第37回消防救助技術東海地区指導会審査員会議
		20	第45回消防団消防操法競技大会及び防災フェスタ 於：中央緑地公園 24分団が出場し競技を実施 第1位：神前分団 第2位：八郷分団 第3位：水沢分団	24	近畿府県合同防災訓練(第3回全体会議)
	8	30	市民総ぐるみ防災訓練 於：北勢きらら学園 メイン会場に住民約800人のほか、防災関係機関約300名が参加し、避難誘導、伝達、広報、交通対策、人命救助、火災防御訓練等を実施	5	第37回消防救助技術東海地区指導会 於：三重県消防学校 6種目19名が出場
				20	消防長研修会「四川大地震における救命活動とその実態」 於：三重県消防学校
	9			29	第37回全国消防救助技術指導会 於：北九州市
				31.9/1	緊急消防援助隊近畿ブロック訓練 於：大阪府岸和田市
				4	石油コンビナート防災訓練(コスモ石油)
				7	三重県総合防災訓練(県内消防相互応援隊) 於：伊勢市サンアリーナ

10	28.29	防火管理講習 甲種防火管理講習122名、乙種防火管理講習31名が受講	18 消防安全衛生委員会
			2 消防職員委員会
			9 三重県警防技術交換会 於：三重県消防学校
			14 メンタルヘルス研修 岐阜聖徳学園大学教育学部教授 臨床心理士 橋元慶男氏
11	6	特別消防訓練 イオン四日市北ショッピングセンター	6.7 救急コ・メディカル 於：名古屋市
	8	防火ポスター・防火習字の入選者の表彰 管内の園児及び小・中学生を対象に防火ポスター・防火習字を募集し、入選者の表彰式を実施。	
	9～15	秋の火災予防運動	
	16	中消防署中央分署(消防活動支援センター)開署式	29 四日市市消防支援隊研修会
12	29～30	年末特別警戒	5.6 緊急消防援助隊中部ブロック合同訓練 於：四日市市
21	1	11 平成20年消防出初式 於：四日市ドーム 市民に対し消防力を披露し防火防災意識の普及啓発を図るため実施	18 消防安全衛生委員会
		26 第54回文化財防火デー 文化財愛護思想と防火防災思想の高揚と貴重な文化遺産を後世に継承するため管内一円で消防訓練や立入検査等を実施	11 朝日町・川越町合同出初式 於：川越町
			17 臨時消防職員委員会
			23 三重県内高速道路消防連絡協議会(研修会) 於：県消防学校
			29 三重県内高速道路消防連絡協議会(訓練) 於：紀勢広域消防組合消防本部
2	18.19.20	防火管理講習 甲種防火管理再講習19名、甲種防火管理新規講習126名、乙種防火管理講習9名が受講	12 第2回 四日市市及び桑名市消防通信指令事務協議会 於：中消防署中央分署
		25 特別消防訓練 ララスクエアで実施	
3	1～7	春の火災予防運動	3.5.6 警防技術競練会
	23	緊急消防援助隊中部ブロック合同訓練第3回実行委員会	

平成 21 年度消防重点事業

1 . 8 分消防 5 分救急体制の早期実現事業

「8分消防5分救急体制」の早期実現を目標に、1秒でも早く災害現場に到着して、消火・救急・救助活動にあたることを最優先に掲げ、施設装備等の充実に努めている。

今後、中央分署開署後の実態を調査して消防車・救急車現場到着時間が遅れている地域を把握し改善を図る。その後、消防拠点及び道路整備状況、救急車の適正利用を検討し、消防車・救急車の現場到着までの所要時間短縮を図り、延焼拡大防止及び救命率向上を図る。

2 消防団一団化事業

平成17年2月7日、四日市市と三重郡楠町の合併協定書による「楠町の消防団の組織については、合併時に現行のまま四日市市に引き継ぎ、5年を目途に再編するものとする。」との事項について、「消防団組織推進委員会」を設置して、消防団組織の円滑な統合・充実強化について検討してきた。この一団化案においては、消防団組織のあり方についても検討し、消防団組織・機能の充実に図るため、市全体の消防団員数の見直しも合わせて行っている。平成21年4月に、消防団組織推進検討委員会において、市議会総務委員会・楠地域審議会・四日市市連合自治会等の意見を検討し、一団化最終案を決定した。平成21年度に、市議会、楠地域、四日市市連合自治会に説明を行い、条例改正等を実施し、平成22年4月1日から一団制に移行する。

3 大規模災害対策事業

災害に強いまちづくりのため、訓練を通じて自主防災組織の自主的な取組みの支援を行うとともに、大規模地震発生時の消防水利確保のため耐震性貯水槽を4基設置し、消防水利の二重化を図り火災の延焼拡大防止に万全を期す。また、消防職団員OBの組織化を更に進めて地域における総合防災力を高める。さらに、緊急消防援助隊が大規模災害時に有効に機能するよう県内あるいは県域をこえた合同訓練に積極的に参加し、広域応援体制に万全を期す。

4 . 消防車両・活動機器整備事業

平成2年度配備の中消防署はしご付消防自動車を地上高5.0mまで伸梯可能なはしご付消防自動車に更新、平成6年度から配備の北消防署救助工作車を更新、平成15年度配備の南消防署高規格救急車を更新する。

また、消防団員の防火外套を3年計画の最終年で活動性の高いものに更新し、消防団員の活動負担の軽減と安全性の向上を一層図る。

5 . 救急業務高度化事業

平成4年度から救急救命士の養成を開始し、現在37名の救急救命士を各消防署等に配置している。将来的に全ての救急車に常時1名以上の配置体制を図るため、20年度に引き続き、5名の職員を救急救命士養成所へ派遣する。

相互応援協定

当該市町村だけでは対処し得ない大規模広域災害や市町村境界付近で発生した災害等に対し、応援協定を締結して、円滑有効な防ぎよ活動を実施し、災害による被害を最小限にとどめようとするため、本消防本部においては下記に示すとおり各市町村と応援協定を締結し、消防力の効率的な運用を図っている。

(1) 消防相互応援協定

協定名	締結年月日	協定市町村
三重県内消防相互応援協定	平成19年3月1日 締結	四日市市長以下県内29市町村長、5消防組合管理者及び三重県知事

(2) 船舶消防に関する応援協定

協定名	締結年月日	協定市町村
船舶に関する業務協定	昭和46年5月24日締結	四日市市消防本部、四日市海上保安部

(3) 高速道路における消防応援協定

	締結年月日	協定市町村
高速自動車国道近畿自動車道名古屋・関線、名古屋・神戸線、伊勢線及び尾鷲勢和線にかかる消防相互応援協定	平成20年2月23日締結	四日市市・津市・伊勢市・松阪市・桑名市・鈴鹿市・亀山市・木曾岬町・朝日町・川越町・多気町・玉城町・大台町・大紀町・松阪地区広域消防組合・紀勢地区広域消防組合

警

防

一 目 統 計

平成20年中

火 災 件 数 111件

損 害 額 231,055千円

出 火 率 3.3

建 物 焼 損 床 面 積 1,598m²

建 物 焼 損 表 面 積 147m²

最も多かった火災原因 放火(疑い含む) 25件

火災種別件数

建 物 火 災 67件

林 野 火 災 0件

車 両 火 災 17件

船 舶 火 災 1件

そ の 他 火 災 26件
(26件中 枯草火災 7件)

火災多い少ない

火災の多かった月 11月 16件

火災の少なかった月 6月 3件

火災の多かった時間帯 16時～17時 11件

火災の少なかった時間帯 5時～6時、19時～20時 0件

火災の一番多かった日 5月22日、12月2日 3件

平成20年中の火災概要

1 火災の概要

平成20年中の火災は、111件で昨年の118件と比較して7件の減となり、ほぼ横ばいの件数となった。

火災種別では、建物火災が67件と全火災の60.4%を占め、車両火災が17件で15.3%、船舶火災が1件で0.9%、その他火災が26件で23.4%となった。なお、林野火災は発生していない。

火災の損害は、焼損床面積が1,598㎡、焼損棟数が75棟、損害額が約2億3,105万円、死者が13人、負傷者が15人となった。

損害額は、前年の8億4,347万円と比較して6億1,242万円の大幅な減少となり、過去10年間で2番目に少なくなった。これは、工場等の大規模火災の発生が無かったことが要因となっている。

焼損床面積も、前年の4,280㎡と比較して、大幅な減少であり、これも上記と同様の要因であった。

出火率（人口1万人当たりの出火件数をいう。）は、3.3で、前年より0.2の減少となった。

月別発生状況は、11月が16件と最も多く、次いで12月が15件となった。一方、6月が3件と最も少なかった。

2 出火原因

出火原因は、放火（放火の疑いを含む。以下同じ。）が25件と全体の22.5%を占め、昨年に引き続き出火原因の第1位である。続いて、こんろが12件で10.8%、たばこが10件で9.0%、焚き火が6件で5.4%、火遊び、電気機器（配線含む）がそれぞれ4件で3.6%となった。

3 火災による死者

火災による死者は、12件の火災で13人発生し、前年より7人の増加となった。

死者の発生した経過別では、逃げ遅れによるものが10人で、放火自殺によるものが2人、その他が1人となった。

また、年齢別では、30歳代が1人、40歳代が2人、60歳代が2人、70歳代が3人、80歳代が3人、90歳代が2人となった。

4 火災による負傷者

火災による負傷者は、11件の火災で15人発生し、前年の16人と比較して1人減少した。

また、年齢別では、20歳代が2人、30歳代が3人、40歳代が3人、50歳代が3人、60歳代が1人、70歳代が3人となった。

5 初期消火の実施

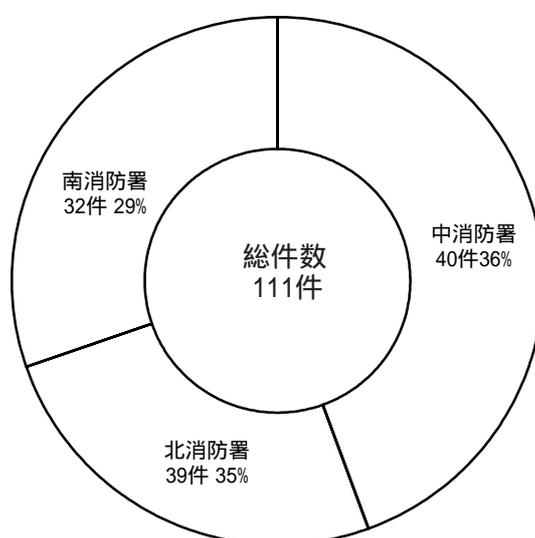
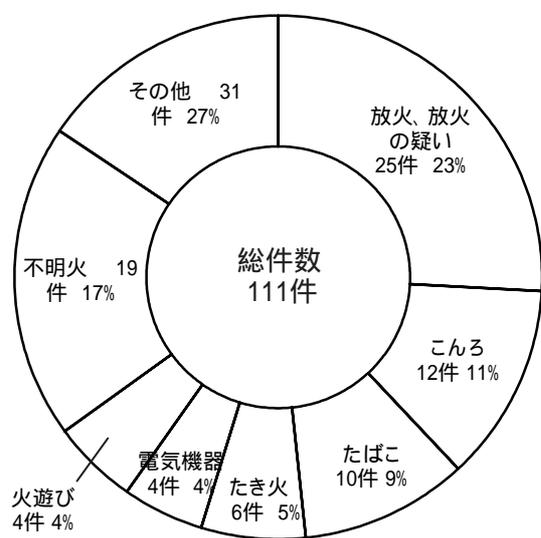
111件の火災において76件の初期消火が実施され、成功かつ効果ありは43件となっており、昨年からはほぼ横ばいである。初期消火は定着してきているが、今後もより効果的な初期消火が必要である。

初期消火器具	消火器	水バケツ等	水道ホース	濡れタオル等	その他
実施件数	34	7	22	4	9
成功・効果あり	22	5	10	2	4

火災概要

(平成20年中)

火災件数	111件
建物火災件数	67件
建物以外火災件数	44件
建物焼損床面積	1,598 m ²
建物焼損表面積	147 m ²
林野焼損面積	0 a
損害額	231,055千円
死者	13人
30日死者	0人
負傷者	15人

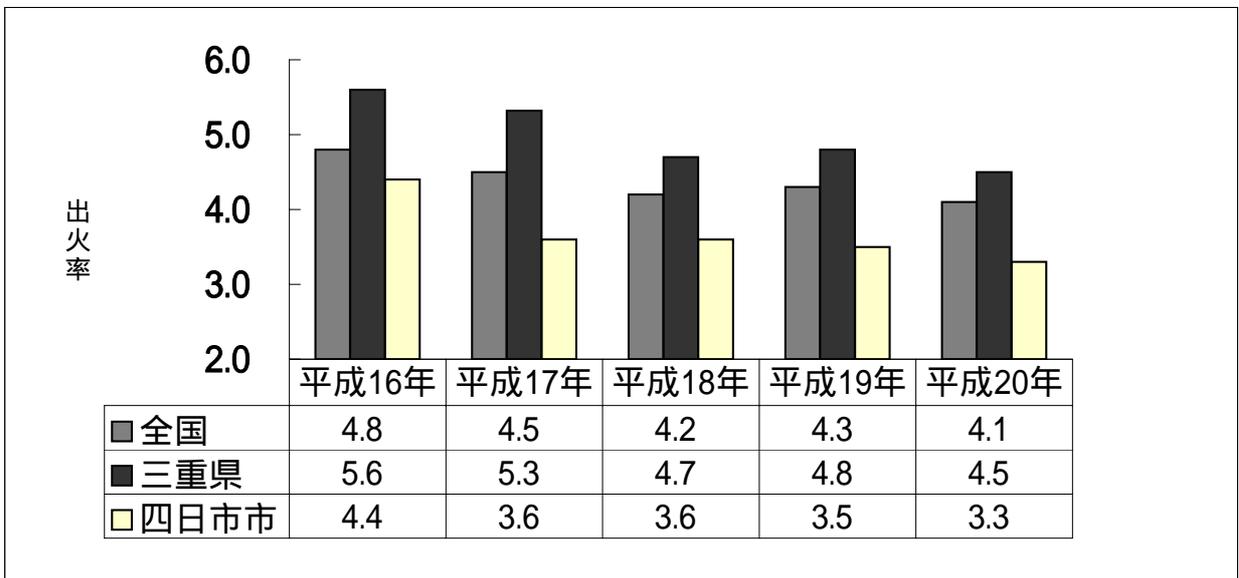


火 災 発 生 状 況 比 較

区 分	年 別	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年
	全 国	火 災 件 数	60,394	57,487	53,260	54,579
出 火 率		4.8	4.5	4.2	4.3	4.1
一件当たり損害額(千円)		2,234	2,741	2,189	2,298	2,069
三 重 県	火 災 件 数	1,044	989	892	889	829
	出 火 率	5.6	5.3	4.7	4.8	4.5
	一件当たり損害額(千円)	2,775	1,681	2,340	2,754	2,741
四日市市 (朝日、 川越町含)	火 災 件 数	146	118	119	118	111
	出 火 率	4.4	3.6	3.6	3.5	3.3
	一件当たり損害額(千円)	4,887	2,104	7,837	7,148	2,081

$$\text{出火率} = \frac{\text{出火件数}}{\text{人口}} \times 10,000$$

出 火 率 比 較



地区別火災発生状況

(平成20年中)

火災状況 地区別	火災件数							焼損棟数							り災世帯数				焼損面積			死傷者			損害額 (千円)													
	建物	屋外					計	火元				類焼			全損	半損	小損	計	り災人員	建物焼損床面積 (㎡)	建物焼損表面積 (㎡)	林野 (a)	死者	30日死者	負傷者	建物		船舶	航空機	車両	林野	その他	爆発	計				
		船舶	航空機	車両	林野	その他		その他(枯草)	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計	全焼												半焼	部分焼								ぼや	計	建造物	収容物
合計	67	1	0	17	0	17	9	111	10	1	31	19	61	2	2	8	2	14	20	5	30	55	130	1598	147	0	13	0	15	147512	64567	0	0	13677	0	5130	169	231055
中消防署管内	27	0	0	3	0	7	2	39	3	0	13	8	24	0	1	2	0	3	4	1	12	17	43	480	38	0	5	0	5	49958	39802	0	0	522	0	188	0	90470
共同	4	0	0	0	0	0	0	4	0	0	4	0	4	0	0	0	0	0	0	0	1	1	3	9	13	0	0	0	1	2201	4713	0	0	0	0	0	0	6,914
同和	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	3	82	0	0	1	0	0	8707	663	0	0	0	0	0	0	9,370
中央	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
港	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	20	0	0	0	0	0	0	0	20
浜田	2	0	0	1	0	0	0	3	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1027	0	0	36	0	0	0	0	1,063
橋北	1	0	0	0	0	1	0	2	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	122	0	0	0	0	1390	2363	0	0	0	0	2	0	3,755	
海蔵	3	0	0	0	0	1	0	4	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	3	3	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	43	0	43		
常磐	8	0	0	0	0	3	0	11	1	0	3	3	7	0	1	0	0	1	2	0	3	5	12	146	7	0	1	0	1	33171	28276	0	0	0	0	0	0	61,447
川島	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	4	19	0	0	0	0	2164	198	0	0	0	0	0	0	2,362	
神前	1	0	0	0	0	0	1	2	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	10	19	0	0	0	0	0	0	29	
桜	2	0	0	1	0	0	0	3	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	1	1	2	8	13	0	0	1	0	3	408	2366	0	0	286	0	0	0	3,060
県	1	0	0	0	0	1	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	104	0	0	104		
三重	2	0	0	1	0	1	0	4	1	0	0	1	2	0	0	1	0	1	1	0	2	3	6	88	15	0	2	0	0	1887	177	0	0	200	0	39	0	2,303
北消防署管内	20	0	0	4	0	5	6	35	2	1	11	5	19	2	1	3	0	6	6	4	9	19	43	437	62	0	4	0	7	33313	4344	0	0	3387	0	38	0	41,082
羽津	4	0	0	1	0	2	1	8	0	0	2	2	4	0	0	0	0	0	0	0	2	2	6	22	0	0	0	0	1553	1192	0	0	2527	0	11	0	5,283	
富田	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	1	0	0	1	1	112	0	0	1	0	0	13747	851	0	0	0	0	0	0	14,598
富洲原	1	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	0	0	0	0	3	0	23		
大矢知	3	0	0	1	0	1	0	5	0	0	3	0	3	0	0	0	0	0	0	1	2	3	8	18	0	0	0	0	785	237	0	0	600	0	0	0	1,622	
八郷	1	0	0	0	0	0	1	2	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	5	2	0	0	0	1	77	233	0	0	0	0	24	0	334	
下野	1	0	0	0	0	0	1	2	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	6	0	1	0	0	1	0	14	0	0	0	0	0	0	14	
保々	1	0	0	1	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	61	0	0	0	61	
朝日町	2	0	0	0	0	0	1	3	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	2	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3	
川越町	6	0	0	1	0	1	1	9	1	1	3	1	6	2	0	3	0	5	5	3	2	10	16	283	59	0	3	0	3	17128	1817	0	0	199	0	0	0	19,144
南消防署管内	20	1	0	5	0	5	1	32	5	0	7	6	18	0	0	3	2	5	10	0	9	19	44	681	47	0	4	0	3	64241	20421	0	0	7992	0	4904	169	97,727
塩浜	3	1	0	2	0	1	0	7	1	0	0	1	2	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2	86	0	0	1	0	1	6661	14040	0	0	4950	0	4823	169	30,643
日永	4	0	0	0	0	1	0	5	0	0	3	1	4	0	0	0	0	0	0	0	2	2	7	33	7	0	0	0	1	5816	501	0	0	0	0	1	0	6,318
四郷	3	0	0	1	0	1	0	5	0	0	1	2	3	0	0	0	1	1	0	0	1	1	2	0	31	0	1	0	0	89	20	0	0	458	0	0	0	567
内部	3	0	0	1	0	1	1	6	1	0	1	1	3	0	0	0	0	0	7	0	1	8	11	275	0	0	1	0	0	7649	819	0	0	5	0	80	0	8,553
河原田	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
小山田	4	0	0	0	0	1	0	5	1	0	1	1	3	0	0	1	1	2	1	0	3	4	10	94	0	0	1	0	0	14800	1270	0	0	0	0	0	0	16,070
水沢	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	2	0	2	1	0	2	3	12	187	7	0	0	0	1	29168	3771	0	0	379	0	0	0	33,318
楠	1	0	0	1	0	0	0	2	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	58	0	0	0	2200	0	0	0	2,258
高速道路	0	0	0	5	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1776	0	0	0	1,776	

月別・曜日別・時間帯別火災発生状況

(平成20年中)

火災状況 月・曜日		出火件数						焼損棟数					焼損面積			死者負傷者		り災世帯数				り災 人員	損害額(千円)								
		計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	建物 床面積(m ²)	建物 表面積(m ²)	林野 面積(a)	死者	負傷者	計	全損	半損		小損	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	爆発
合計	計	111	67		17	1	26	75	12	3	39	21	1,598	147		13	15	55	20	5	30	130	231,055	212,079		13,677			5,130	169	
月別	1月	7	2		2		3	2			1	1	2			1		2			2	4	1,620	1,200		322			98		
	2月	7	7					8	3	1	3	1	460			3	3	12	9	2	1	16	37,228	37,148					80		
	3月	8	2		1		5	2	1		1		6										256	26		200			30		
	4月	12	7		3	1	1	9	2		5	2	281	25		2	2	10	2	1	7	32	47,312	44,551		2,761					
	5月	12	6		2		4	5			5		15	7			2			1	1	5	4,764	1,584		3,007			4	169	
	6月	3	2		1			2			2		27	2				1			1	1	879	710		169					
	7月	6	4				2	4			4		8	1			3				3	8	827	827							
	8月	9	6				3	6			4	2	21	33			1	4			4	12	2,802	2,802							
	9月	8	6		1		1	7			1	5	95	47		1	3	3	1		2	11	6,881	6,215		666					
	10月	8	5		3			4				2	124			1	3	2			2	6	4,880	4,358		522					
	11月	16	10		2		4	15	5		5	5	337	30		4		10	6		4	18	42,257	39,970		2,205			82		
	12月	15	10		2		3	11	1	1	2	7	222	1		1	1	6	2		4	17	81,349	72,688		3,825			4,836		
不明																															
合計	計	111	67		17	1	26	75	12	3	39	21	1,598	147		13	15	55	20	5	30	130	231,055	212,079		13,677			5,130	169	
曜日別	日曜日	18	9		3		6	10	3	2	5		345	2		5	4	7	4		3	20	87,379	86,761		588			30		
	月曜日	12	9				3	14	3	1	6	4	416	72		3	5	9	4		5	26	54,646	54,162		445			39		
	火曜日	18	13				5	14	1		5	8	478			1		13	7	2	4	19	26,427	26,339				88			
	水曜日	17	9		6		2	8			5	3	16	5		1		4		1	3	13	34,030	22,243		6,792			4,826	169	
	木曜日	17	10		3	1	3	9	1		6	2	46	1		1	3	5		1	4	13	5,060	2,296		2,763			1		
	金曜日	9	4		1		4	3			3		3	32			2	3			3	10	2,818	472		2,200			146		
	土曜日	19	12		4		3	16	4		9	3	294	35		2	1	14	5	1	8	29	20,545	19,656		889					
	不明	1	1					1					1											150	150						
合計	計	111	67		17	1	26	75	12	3	39	21	1,598	147		13	15	55	20	5	30	130	231,055	212,079		13,677			5,130	169	
時間帯別	0~1時	1	1					2		1	1		48	47			3	1	1		4	3,464	3,398		66						
	1~2時	2	2					2			2		2	4			4				4	11	1,199	1,199							
	2~3時	6	3		1		2	7	3		4		186	12		1		6	4	1	1	9	13,091	12,864		225			2		
	3~4時	2	1		1			1			1		4										6,828	5,929		899					
	4~5時	2	1		1			1				1											2,208	8		2,200					
	5~6時																														
	6~7時	2	2					3	1			2		88	16		2		2	1		1	5	2,129	2,090					39	
	7~8時	2	2					2	1			1		59			1		2	1		1	5	4,652	4,652						
	8~9時	4	2		1		1	2				2					1						13,961	13,900		61					
	9~10時	6	3		1		2	3			1	2	2				2	2			2	9	782	779		3					
	10~11時	8	2		3		3	1			1		5			1	1	1			1	3	3,175	351		2,696			128		
	11~12時	10	8				2	8	1		6	1	90	20		1	4	6	1		5	16	7,907	7,907							
	12~13時	8	6		2			6	1		4	1	10	4			1	2			2	3	2,297	467		1,830					
	13~14時	8	4		2		2	3			1	2		32		1		2			2	4	614	154		291				169	
	14~15時	3	3					3			2	1	30					2			1	1	5	1,274	1,274						
	15~16時	6			1	1		4														5	170			169				1	
	16~17時	11	5		2		4	5			1	2	2	107	2			3	1		2	9	60,269	59,463		800			6		
	17~18時	3	2				1	2			1	1	3										1,134	1,134							
	18~19時	5	5					9	2		1	3	3	330	7		1	1	7	2	2	3	53,734	53,355		379					
	19~20時																														
	20~21時	4	3				1	3	1			2		313			1		8	7	1	10	13,851	13,771					80		
	21~22時	5	5					5	1			4		206	3		1	2	2	1		9	14,004	14,004							
	22~23時	1	1					1					1										20	20							
	23~0時	1						1															3							3	
不明	11	6		2			3	6	1		1	4	115			3		5	1		4	11	24,289	15,360		4,058			4,871		

出火原因別火災発生概況

(平成20年中)

原因別	出火件数						焼損棟数					焼損面積			死者負傷者		り災世帯数				り災 人員	損害額(千円)								
	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	建物	建物	林野	死者	負傷者	計	全損	半損		小損	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	爆発
													床面積(m ²)	表面積(m ²)	面積(a)															
合計	111	67		17	1		26	75	12	3	39	21	1,598	147		13	15	55	20	5	30	130	231,055	212,079		13,677			5,130	169
たばこ	10	8					2	10	2	2	6		237	54		2	6	5	3		2	13	27,020	26,951		66			3	
こんろ	12	12						12			8	4	34	15			5	9		2	7	29	4,946	4,946						
かまど	1	1						1	1				6																	
風呂かまど																														
炉																														
焼却炉	1						1																98							98
ストーブ	3	3						4	2		2		174	16		3	1	4	2		2	13	8,917	8,878						39
こたつ																														
ボイラー																														
煙突・煙道																														
排気管	2			2																			603			603				
電気機器																														
電気装置	2	2						2				2						1			1	1	151	151						
電灯・電話	1	1						1			1		3					1			1	4	433	433						
等の配線																														
内燃機関																														
配線器具	1	1						1				1						1			1	2	97	97						
火あそび	4	3					1	3		1	2		155					4	1	2	1	9	67,204	67,203					1	
マッチ・ライター	2	1		1				1	1				82			1		1	1			3	9,570	9,370		200				
イタ																														
たき火	6	1					5	1			1												56	26					30	
溶接機・切機	1	1																					169							169
断機																														
灯火	2	2						2			2		4					2			2	6	1,575	1,575						
衝突の火花	1			1																			36			36				
取灰																														
火入れ	3						3																							
放火	10	6		1			3	7			1	6	23			2		4			4	9	769	587		133			49	
放火の疑い	15	7		3			5	7			2	5	1	3									24,699	14,010		5,861			4,828	
その他	15	6		7			2	5			3	2	1	32		2	2	2			2	3	3,671	1,147		2,522			2	
不明・調査中	19	12		2	1		4	18	6		11	1	878	27		3	1	21	13	1	7	38	81,041	76,705		4,256			80	

過去10年間 年別主な火災原因

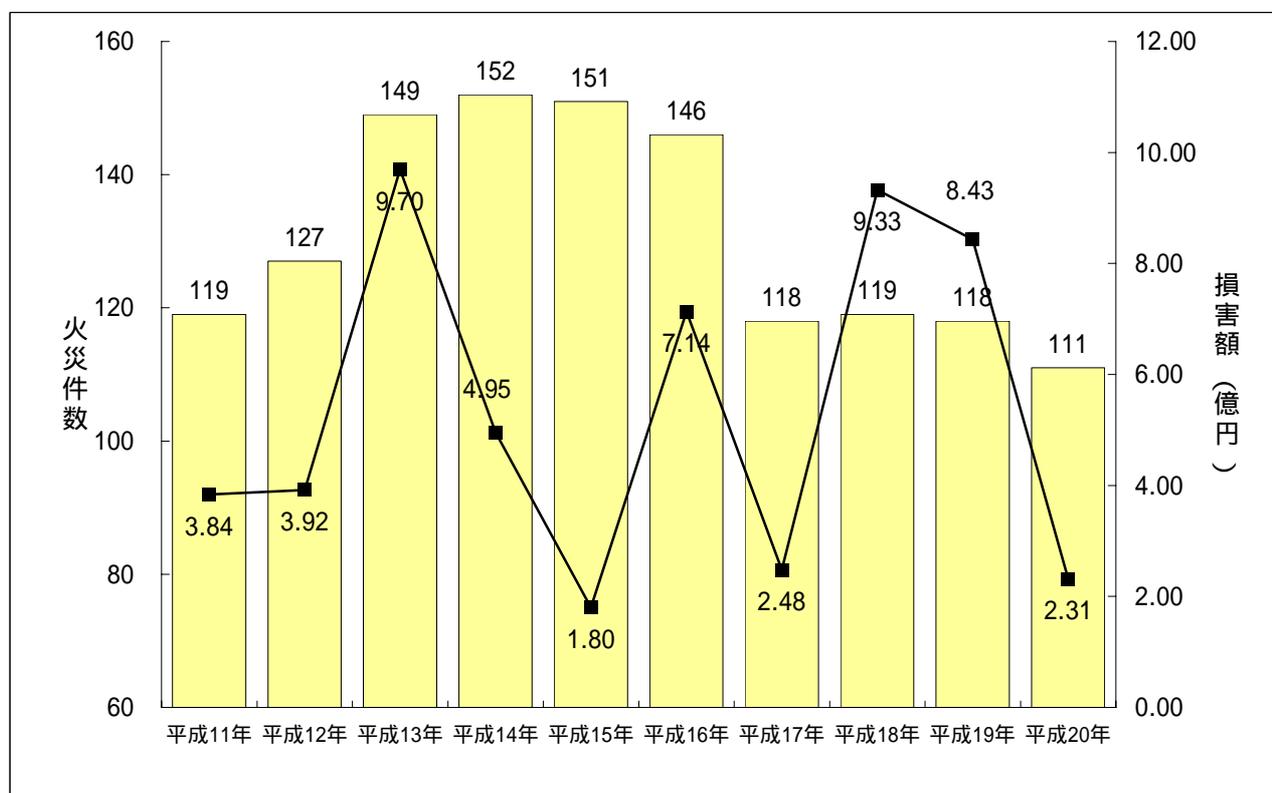
年 別	火災件数	主 な 火 災 原 因		
平成11年	119件	放火の疑い 放火	16件 9件	たばこ 13件 たき火 15件
平成12年	127件	放火の疑い 放火	20件 8件	たばこ 17件 たき火 13件
平成13年	149件	たき火	28件	放火の疑い 放火の疑い
平成14年	152件	たき火	30件	放火の疑い 放火の疑い含む
平成15年	151件	放火の疑い 放火の疑い含む	47件	たき火 19件 たばこ 13件
平成16年	146件	放火の疑い 放火の疑い含む	42件	たき火 17件 たばこ 17件
平成17年	118件	放火の疑い 放火の疑い含む	34件	電気機器 9件 たばこ 9件
平成18年	119件	放火の疑い 放火の疑い含む	32件	こ ん ろ 10件 たばこ 10件
平成19年	118件	放火の疑い 放火の疑い含む	24件	たばこ 15件 こ ん ろ 11件
平成20年	111件	放火の疑い 放火の疑い含む	25件	こ ん ろ 12件 たばこ 10件

過去10年間の火災発生状況

区分 年別	火災件数						損害額 (千円)	損害面積		死傷者	
	合計	建物	林野	車両	船舶	その他		建物焼損 表面積(m ²)	林野 (a)	死者	負傷者
平成11年	119	65	1	20		33	383,555	2,637 <387>	12	5	15
平成12年	127	58	4	32	1	32	391,514	3,789 <595>	2	5	10
平成13年	149	76	2	25		46	969,521	3,126 <201>	39	4	19
平成14年	152	80	8	23	1	40	495,482	11,647 <317>	14	6	27
平成15年	151	74	9	28		40	179,937	4,717 <375>	76	4	29
平成16年	146	68	6	28		44	713,516	1,835 <757>	341	8	22
平成17年	118	61	1	19		37	248,221	6,823 <396>	60	8	19
平成18年	119	77	2	13		27	932,595	2,186 <265>	1	6	26
平成19年	118	76	2	19		21	843,475	4,534 <270>	71	8	23
平成20年	111	67	0	17	1	26	231,055	1,598 <147>	0	13	15
平均	131	70	3	20	0	31	500,532	<4216> <460>	60	6	19

平均の小数点以下は四捨五入

< > は建物焼損表面積



海上・沿岸防災等（IBK委託状況）

（平成20年中）

種 別	月 別	合 計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
災 害 出 動	火 災	0												
	水難救助	2			1			1						
	流出油	0												
	その他	0												
警 防	警 備	0												
	警 戒	0												
	警防調査	0												
	その他	1							1					
予 防	広 報	0												
	予防調査	0												
	その他	0												
訓 練	災害防御	1									1			
	航 海	0												
	操 船	0												
	水難救助訓練	17	1	1	1		1	2	1	1		5	2	2
	その他	1	1											
合 計		22	2	1	2	0	1	3	1	2	1	5	2	2

火災・救助以外の消防車両の出動

平成20年中

分類	件数	説明
交通支援	138	国道1号、23号等通行量の多い道路における救急支援のための出動
救急支援	673	消防隊・救助隊による上記以外の救急の支援出動
たきび	28	たきび等の怪煙による調査警戒のための出動
交通油漏れ	45	交通事故等により、人的損害を生じ、又はそのまま放置すれば爆発、火災若しくは人的被害を生じる恐れがある危険物が、道路上に漏れ出たものによる出動
その他油漏	19	人的損害を生じ、又はそのまま放置すれば爆発、火災若しくは人的被害を生じる恐れがある危険物が、池、湖、河川、海等に流れ出たものによる出動
ガス漏れ	6	人的損害を生じ、又はそのまま放置すれば爆発、火災若しくは人的被害を生じる恐れがあるガス又は毒劇物等の漏洩による出動
機器発報	49	直接通報、火災通報、即時通報及び自動火災報知設備の発報等による出動で非火災であったもの
虚報	8	出動した結果、いたずら等であったもの
誤報	32	出動した結果、誤報、誤認であったもの
非火災事故	83	火災調査の結果、火災に至らないもの
搜索	0	山岳遭難、水難事故に伴う搜索等による出動
その他	54	「警戒」から「搜索」までに掲げる種別以外による出動
総計	1135	

消 防 水 利 状 況

(平成21年4月1日)

	合 計	消 火 柱						防 火 水 槽						そ の 他						
		小計	工業用水		上水道		小計	100	60	40	100	40	40	小計	井 戸	プ ール	池 沼	河 川	海 運 河	
			双 口	単 口	双 口	単 口		m3 耐震	m3 耐震	m3 耐震	m3 以上	m3 以上	m3 未満							
合 計	7300	6489	87	101	77	6224	577	39	27	146	8	234	123	234	51	75	14	76	18	
中消防署管内	共 同	153	139	0	1	4	134	9	4	0	0	0	4	1	5	3	2	0	0	0
	同 和	14	12	0	0	1	11	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
	中 央	60	52	0	0	1	51	4	2	0	0	0	0	2	4	4	0	0	0	0
	港	130	116	5	4	2	105	6	2	0	0	1	1	2	8	0	0	0	0	8
	浜 田	265	244	4	1	7	232	15	5	0	4	1	3	2	6	3	2	0	1	0
	橋 北	148	127	1	5	5	116	12	3	0	2	0	4	3	9	3	3	0	3	0
	海 蔵	218	202	1	0	2	199	11	1	1	4	0	4	1	5	0	2	0	3	0
	常 磐	301	272	10	7	7	248	17	0	3	3	0	10	1	12	2	3	0	7	0
	川 島	200	179	0	0	2	177	18	0	1	1	0	14	2	3	0	1	1	1	0
	神 前	207	189	0	0	1	188	15	0	0	4	1	6	4	3	0	3	0	0	0
	桜	287	258	0	0	1	257	21	0	0	6	0	12	3	8	0	3	0	5	0
	県	239	204	0	0	1	203	27	0	0	5	0	16	6	8	0	2	0	6	0
	三 重	412	366	6	5	6	349	34	0	0	14	0	13	7	12	0	6	0	6	0
小 計	2634	2360	27	23	40	2270	191	17	5	43	3	89	34	83	15	27	1	32	8	
北消防署管内	羽 津	301	278	4	17	10	247	15	2	1	2	0	6	4	8	2	3	1	1	1
	富 田	244	217	4	2	0	211	10	2	1	4	1	1	1	17	9	3	0	3	2
	富州原	245	214	6	1	0	207	15	3	0	8	0	3	1	16	7	2	0	0	7
	大矢知	291	269	0	1	3	265	16	0	1	8	0	3	4	6	3	2	1	0	0
	八 郷	287	251	3	3	0	245	33	0	0	7	0	18	8	3	0	3	0	0	0
	下 野	207	185	1	0	0	184	19	0	0	10	0	3	6	3	0	2	0	1	0
	保 々	258	220	0	0	0	220	34	0	0	5	1	18	10	4	0	2	1	1	0
	朝 日	282	229	0	13	9	207	50	0	0	7	0	23	20	3	0	3	0	0	0
	川 越	497	465	2	6	1	456	20	0	0	16	0	4	0	12	2	4	0	6	0
	小 計	2612	2328	20	43	23	2242	212	7	3	67	2	79	54	72	23	24	3	12	10
南消防署管内	塩 浜	243	214	9	14	3	188	15	6	1	3	1	3	1	14	8	3	0	3	0
	日 永	302	269	15	6	8	240	16	3	0	3	1	6	3	17	4	4	1	8	0
	四 郷	352	323	0	4	2	317	17	2	1	2	0	7	5	12	0	6	0	6	0
	内 部	332	294	0	2	1	291	28	0	1	4	0	14	9	10	1	3	1	5	0
	河原田	151	127	5	5	0	117	17	1	0	6	0	9	1	7	0	3	0	4	0
	小山田	214	174	0	0	0	174	29	0	0	4	0	15	10	11	0	2	5	4	0
	水 沢	160	139	0	0	0	139	15	0	0	4	1	6	4	6	0	1	3	2	0
	楠	300	261	11	4	0	246	37	3	16	10	0	6	2	2	0	2	0	0	0
	小 計	2054	1801	40	35	14	1712	174	15	19	36	3	66	35	79	13	24	10	32	0

開発行為に関する事前協議等について

概要

地域の計画的な発展と良好な市街地の形成を図るため、都市計画法（昭和43年法律第100号）の規定に基づき、開発許可等に関し必要な事項を定めることにより、良質な開発行為等を誘導し、もって住みよいまちづくりの実現と地域住民の健全な生活環境を保全することを目的とし制定された四日市市開発許可等に関する条例に基づき、万一の災害が発生しても、安全かつ円滑な災害防ぎょ活動が実施できるよう、消防活動上必要な施設の設置等、宅地開発行為に関し必要な事項の同意、協議について審査、指導するものである。

		平成19年度	平成20年度
審査件数		120件	105件
指導内容	水利関係	18件	19件
	消防活動用空地	3件	5件
	その他	0件	0件
	指導件数合計	21件	24件

緊急消防援助隊の派遣体制

		隊 名 等	人員	派遣車両等	
派 遣 隊	県隊長		1	5 1号及び本部車両 1台 の計 2台に分乗	
	指揮隊	指揮隊長	1		
		指揮隊員	3		
	消火隊（タンク）1台目		4	北 6号	
	消火隊（タンク）2台目		4	南 15号	
	消火隊（ポンプ）3台目		4	中 1号	
	救助隊（ 型）		4	中 4 1号	
	特殊災害 部隊	大規模 危険物	大型高所放水車	2	南 3 4号
			大型化学車	4	南 1 0号
			原液搬送車	2	中 7 4号
		毒劇物対応		4	南 1 0号
	救急隊（高規格救急車）1台目		3	救急 1号	
	救急隊（高規格救急車）2台目		3	救急 5号	
	後方支援隊		2	三重県災害対策支援車	

登録隊数等 1 2車両 4 1名（重複除く 1 1車両 3 7名）

四日市市消防支援隊の活動状況

四日市市消防支援隊とは、大規模災害の発生時に迅速な市民対応と安全な市民生活を確保するため、四日市市消防本部の退職者が有する消防及び防災の知識、技術、経験を活かし、消防本部及び消防署等が行なう消防、防災活動を支援する制度である。

【 活動内容 】

- (1) 消防本部、消防署及び消防分署の広報活動
 - ア 庁舎、資機材等の管理
 - イ 市民への機材貸出し（のこぎり、パール等の軽量機材）
 - ウ 避難者の応急手当
 - エ 避難者の広域避難地への案内
 - オ 支援物資の管理
- (2) 情報収集
 - ア 自宅周辺の被害状況の報告
 - イ 参集途上の道路、危険箇所及び建築物等の被害状況に係る報告
 - ウ 消防署等における住民からの情報収集
- (3) 消防本部、消防署及び消防分署が行なう災害活動の支援
 - ア 広域応援隊の誘導
 - イ 活動中の消防署員等の食糧及び飲料水等の供給
- (4) 地域防災活動の支援
 - ア 地域の防災リーダーとしての地元自治会が実施する地域防災活動等の支援

【 四日市市消防支援隊登録状況 】

平成 2 1 年 4 月 1 日現在 8 6 名

自主防災組織の育成

(市民防災隊)

防災機関の第一線である消防機関は、増大する災害の危険性に備えて、その機能強化を図っていますが、大地震が発生した場合は、電話の不通、道路の陥没、隆起、火災の同時多発、水道間の破損などにより消防機関の消火、救急、救護活動は、その機能を十分に果たせなくなり、被害地域のすべてに対応することが困難になります。

このような事態に直面した時に初期消火、救出救護、避難誘導などの活動を行うことができるのは、被災地の住民以外にはなく、このような「自分たちのまちは、自分たちで守る」という理念に基づいて防災活動を行うための組織が「自主防災組織」です。

本市においては、昭和53年から自主防災組織づくりを推進し、主に臨海部を中心に耐震性の100t貯水槽と可搬式小型動力ポンプを配備した市民防災隊36隊が組織されています。

昭和60年には、市民防災隊が相互に連絡協調を図り、広く防災思想の普及高揚に勤める目的で「四日市市市民防災隊連絡協議会」を結成し、訓練・防災研修会等の活発な活動を実施しています。

市民防災隊の活動について

地震の大災害が発生した場合に、すばやく能率的に防災活動を行って自分たちの生命や財産を守ることができるように自主防災組織では、それぞれの役割をできる限り具体的に決めています。

現実の災害には、情報の収集伝達を行う情報収集班、可搬式小型動力ポンプや消火器等による初期消火活動を行う消火班、負傷者が発生した場合に救出救護活動を行う救出救護班、住民の避難誘導を行う避難誘導班の四つに分けて防災活動を行います。

実災害にそなえて

実際に災害が発生したときは、なかなか思うように身体が動かないものです。そのような時に落ち着いて、しかも安全に行動ができるような防災について学んだ知識を生かして、実際に活動するために、普段から協力して訓練を実施しています。

訓練には、情報伝達収集訓練、消火訓練、救出救護訓練、避難誘導訓練、炊き出し訓練などがあります。

各隊の装備品

- ・動力消防ポンプ(台車付き)
- ・100t耐震貯水槽
- ・防火外套・ヘルメット・簡易救助資器材・担架

耐震性貯水槽等設置場所

(100t)

(平成21年4月1日)

地区名	設 置 場 所		設置 年度	地区名	設 置 場 所		設置 年度
浜 田	鵜の森一丁目	鵜の森公園	53	共 同	堀木二丁目	堀木公園	58
港	稲 葉 町	納屋公園	53	橋 北	川原町	川原町公園	58
塩 浜	馳 出 町	馳出公園	53	共 同	西浦一丁目	西浦公園	59
浜 田	曙町	曙公園	54	浜 田	西浜田町	西浜田公園	59
橋 北	新浜町	三滝公園	54	四 郷	笹川五丁目	笹川公園	59
羽 津	八田二丁目	地藏堂前	54	日 永	前田町	市営住宅	59
富洲原	富田一色町	海浜公園	54	共 同	中部	中部公園	60
塩 浜	御園町	御園神社	54	富 田	富田浜町	富田浜公園	60
浜 田	諏訪栄町	諏訪公園	55	四 郷	笹川九丁目	笹川六号公園	60
港	南納屋町	南納屋公園	55	羽 津	別名四丁目	別名公園	61
富洲原	松原町	松原公園	55	日 永	日永一丁目	大瀬古子供広場	61
橋 北	滝川町	滝川公園	56	河原田	川尻町	川尻町公民館前	61
富洲原	天力須賀	天力須賀公園	56	浜 田	三栄町	三栄公園	62
塩 浜	磯津町	磯津公会所前	56	海 蔵	東阿倉川町	海蔵神社	62
浜 田	新正二丁目	新正中公園	57	塩 浜	海山道一丁目	海山道神社前公園	62
富 田	東富田町	海浜公園	57	中 央	元新町	四ツ谷公園	63
塩 浜	小浜町	小浜公園	57	塩 浜	七ツ屋町	七ツ屋広場	63
中 央	栄町	中央公園	58	日 永	六呂見町	六呂見公園	63

防災教育センター利用状況

【概要】

平成9年4月に四日市市北消防署に併設された防災教育センターは、市民の皆様方に防災に関する知識や技術を高め、その行動を楽しみながら体験学習をして頂くことを目的として開設しました。

1階の防災展示体験室には、種々な体験資材を揃え楽しんで学習ができる施設を備えてあり、2階の防災センターには、視聴覚設備を利用して防火に関する種々なビデオテープを活用し、防災意識を高めて頂いたり、また、消防防災に関する会議等に利用して頂いております。

今後も、多くの市民の方々に防災意識を高めて頂くよう利用の促進に努めていきたいと考えております。

20年度

月別	区分	防災展示体験室											防災センター			
		消防施設見学		自主防 災隊	消防関係	自治会	会社 関係	官公庁	他都市 視察	家族		個別		計	計	累計
		保・幼稚園	小中学校							子供	大人	子供	大人			
4月	件数									1				1	3	3
	人員									1	2			3	54	54
5月	件数					1	1			4		1		7	4	7
	人員					8	5			14	7	2		36	73	127
6月	件数	3	4			1				5				13	5	12
	人員	119	149			5				12	15			300	101	228
7月	件数		1			1				1				3	3	15
	人員		35			18				2	1			56	86	314
8月	件数						3			3		1		7	1	16
	人員						67			5	9		1	82	17	331
9月	件数	2	3			1				4		1		11	3	19
	人員	87	99			5				8	11	1	2	213	49	380
10月	件数	3	4											7	1	20
	人員	191	304											495	17	397
11月	件数	5	3							52		50		110	3	23
	人員	168	231							117	55		50	621	1636	2033
12月	件数	2	2							3		1		8	1	24
	人員	193	256							10	5	3		467	17	2050
1月	件数	2				1				3				6	1	25
	人員	118				18				6	4			146	28	2078
2月	件数	2	1									1		4	6	31
	人員	116	6									2		124	176	2254
3月	件数	2	2		1	1						2		8	3	34
	人員	83	22		27	4						4	7	147	64	2318
合計	件数	21	20	0	1	0	6	4	0	76		57		185		
	人員	1075	1102	0	27	0	58	72	0	175	109	12	60	2690		

防災展示、体験者数月平均

224 人

防災センター月平均利用者

193 人

四日市市防災指導員制度

阪神・淡路大震災は、私たちに数多くの防災対策に関する教訓を残しましたが、その教訓のひとつとして、高齢者等の災害時要援護者の人たちへの防災対策がクローズアップされました。

そこで、四日市市消防本部では平成8年度から地域に密着したきめ細やかな、災害に強いまちづくりの防災対策を実施するために、防災指導員制度を創設しました。

この制度は、防災に関し豊富な知識と経験を有した人を防災指導員として任命し、ひとり暮らしの高齢者宅などの防災診断として家の中の危険な箇所や地震が発生した場合における注意点などを指導しています。

防災診断は、平成8年からスタートし、平成18年度までに全市域の高齢者宅を4巡実施しております。

また、平成18、19年度には、特別防災診断して住宅用火災警報器の設置を完了させ、平成20年度から第5回の防災診断5巡目をスタートさせ、高齢者の安全、安心に努めています。

防災診断実施状況

(平成21年3月31日現在)

診断対象区分		第1～3回 (H8.6～ H17.3)	第4回 (H17.4～ H19.3)	特 別 (H19.4～ H20.3)	第5回 (H20.4～H.21.3)	総 合 計
訪問世帯数	合計	10,537	3,084	3,256	1,430	18,307
	ひとり暮らし高齢者宅	10,061	2,873	3,092	1,342	17,368
	寝たきりの高齢者宅等	294	181	136	68	679
	障 害 者 等	182	30	28	20	260
診断世帯数	合計	8,179	2,740	3,235	1,056	15,210
	ひとり暮らし高齢者宅	7,773	2,533	3,071	994	14,371
	寝たきりの高齢者宅等	241	178	136	44	599
	障 害 者 等	165	29	28	18	240

防災指導員による指導状況

(平成21年3月31日現在)

	指導内容	件 数
防 火 管 理	暖房器具の性能、設置場所及び取扱等により問題があり火災予防上危険である。	
	調理器具の性能、設置場所及び取扱等により問題があり火災予防上危険である。	
	風呂釜の性能、設置場所及び取扱等により問題があり火災予防上危険である。	
	たばこの始末及びマッチ、ライター、ロウソク等の火気の管理が適切でない。	1
	ガス器具、ガスボンベ及びガス警報機等管理及び付近の整理が適切でない。	
	屋内に灯油等の危険物が放置され、その管理が適切でない。	3
	電気配線が適切でない。	7
	屋内の整理整頓が必要である。	6
	住宅用火災警報器が未設置	70
地 震 対 策	建物の構造等に問題があり、地震が発生した場合に危険である。	
	就寝場所に家具があるため、地震が発生した場合、家具が転倒し負傷する危険がある。	175
	地震や風水害の発生により避難の必要があるときに、自力で避難することができない。	22
	燃焼器具等の燃料タンクが屋内にあり、地震が発生した場合、転倒の危険がある。	5
指 導 件 数 合 計		289

防火・防災教室の経緯と現状

平成21年3月31日

<p>1. 防災教育の目的</p>	<p>阪神・淡路大震災を教訓とした、「災害に強い人づくり」事業として、小・中学校の防災教育をとおり、災害時における行動等について理解を深め、防災意識の高揚を図る。</p>
<p>2. 活動実績</p> <p>(1) 防災教室 (原則として中学1年生を対象として1学期に実施)</p>	<p>管内の中学1年生を対象として平成8年度からモデル校を指定して試行的に実施。</p> <p>平成12年度から管内の中学校(私立中を含む)23校で本格的に運用を開始。平成13年度には、管内の全校28校にて実施。</p> <ul style="list-style-type: none">平成17年度実施校(28校・3,243人)平成18年度実施校(28校・3,410人)平成19年度実施校(28校・3,351人)平成20年度実績校(28校・3,327人)
<p>(2) 防火教室 (原則として小学5年生を対象として2学期に実施)</p>	<p>管内の小学5年生(一部の小学校では4年生)を対象として昭和56年度より管内の小学校を対象として実施。</p> <p>平成10年度から管内の小学校(私立小を含む)44校で実施すると共に教本「みんなで防火」を全部改正し、本格的に運用を開始。平成13年度には、管内の全校45校にて実施</p> <ul style="list-style-type: none">平成17年度実施校(45校・3,737人)平成18年度実施校(45校・3,377人)平成19年度実施校(44校・3,666人)平成20年度実績校(45校・3,708人)
<p>3. 標準カリキュラム</p> <p>(1) 防災教室(中学生) (全体3時限、分割有)</p>	<p>(ア) 避難訓練及び教諭の講話(学校主体)</p> <p>(イ) スライド等を活用した防災講話 (阪神淡路大震災、新潟中越地震、東海豪雨等)</p> <p>(ウ) 応急手当の実技指導(止血、固定、搬送法)等</p>
<p>(2) 防火教室(小学生) (全体2時限、連続)</p>	<p>(ア) テキスト「みんなで防火」を用いた防火講話</p> <p>(イ) 体験実技</p> <ul style="list-style-type: none">水消火器による模擬消火体験スモークマシンによる煙体験天ぷら油火災シュミレーション

救急 ・ 救助

一 目 統 計

平 成 2 0 年 中

救 助 出 場 件 数		1 6 5 件
(うち 特別救助隊 出場件数)		1 0 0 件)
救 助 活 動 件 数		1 1 4 件
(うち 特別救助隊 活動件数)		6 1 件)
活 動 割 合		6 9 . 1 %
出 場 延 べ 隊 数		6 1 5 隊
救 助 人 員		1 1 7 人
1日あたりの平均出場件数		0 . 4 5 件
活動1回あたりの平均救助人数		1 . 0 3 人

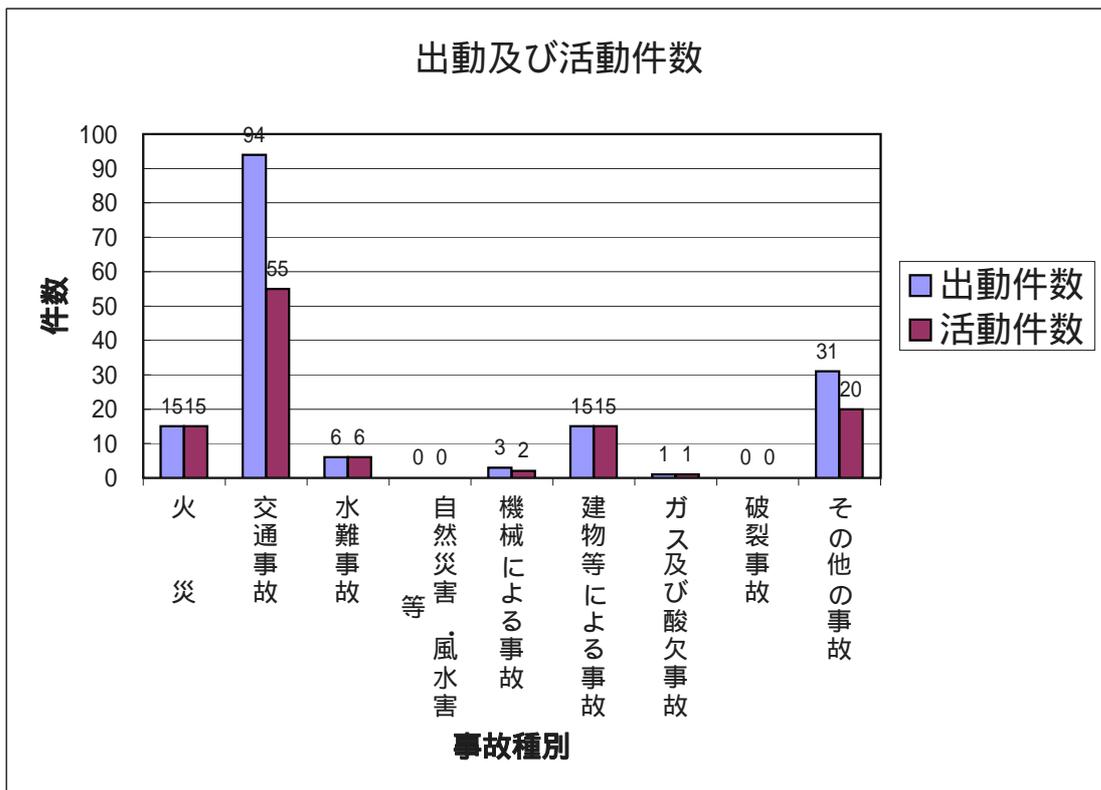
救 助 の 多 い 少 な い

出場件数の多かった月	3月、12月	17件
出場件数の少なかった月	6月	10件
出場件数の多かった曜日	火曜日	30件
出場件数の少なかった曜日	金曜日	18件
出場件数の多かった地区	共同地区、川越町	15件
出場件数の少なかった地区	下野地区	0件
出場件数の多かった時間帯	10時～11時	16件
出場件数の少なかった時間帯	1時～2時 23時～0時	2件
出場の多かった事故種別	交通事故	94件
出場件数の1番多かった日	1月25日、4月27日 7月27日、9月26日 11月7日、12月31日	3件

救出・救助活動状況

(平成20年中)

	火災	交通事故	水難事故	自然災害・風水害等	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	合計
出場件数	15	94	6	0	3	15	1	0	31	165
出場隊数	114	310	36	0	14	32	27	0	82	615
出場延べ人員	418	1,143	130	0	50	116	96	0	305	2,258
活動件数	15	55	6	0	2	15	1	0	20	114
救助人員	10	62	6	0	2	14	2	0	21	117



水難救助隊の災害出動概要

四日市港内、河川などで発生する乗用車の転落、遊泳中の事故等、早期に救助の必要がある水難救助事案に対応するため、平成15年4月に「水難救助隊」が発足し、平成21年4月1日現在、13名の水難救助隊員で活動しています。

水難救助隊は、水中での困難な救助活動を円滑に遂行するため、「潜水」という特殊技能を身に付け、更なる水難救助の知識・技術の向上を目指して日々錬成訓練を実施しています。

水難救助隊の出動回数及び訓練・研修回数

年 別	月別 種別	合計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
1 6 年 中	災害出動 水難救助	7	2			1	1		2	1				
	水難訓練	42	3	3	3			9	3	3	3	3	9	3
	新人研修	15	1	1	1					3	2	3	2	2
1 7 年 中	災害出動 水難救助	4						1	1			2		
	水難訓練	45	3	3	3		3	9	3	3	3	3	9	3
	新人研修	5	1	2	2									
1 8 年 中	災害出動 水難救助	8		1		1	1			1	1	1	2	
	水難訓練	37	3	2	2	3	2	4	4	2	3	5	5	2
	新人研修	17						5	2	2	2	2	2	2
1 9 年 中	災害出動 水難救助	5	1	2		1			1					
	水難訓練	35	2	2	2		1	4	5	3	3	6	4	3
	新人研修	28	2	2	2			5	1	4	2	2	6	2
2 0 年 中	災害出動 水難救助	5			1			1		2		1		
	水難訓練	48	2	2	2	1	2	8	5	7	6	5	6	2
	新人研修	26	2	2	3		1	2	2	1	4	4	3	2

一 目 統 計

平成20年中

救 急 出 場 件 数	12,499件
搬 送 件 数	11,398件
不 搬 送 件 数	1101件
搬 送 人 員	11,608人

男	6,328人
女	5,280人

一日あたりの平均出場件数	34.2件
--------------	-------

一日あたりの平均搬送人員	31.8人
--------------	-------

救急告示医療機関数	16施設 (四日市地域医療圏内)
-----------	---------------------

出場件数の多かった月	12月	1,130件
------------	-----	--------

出場件数の少なかった月	6月	953件
-------------	----	------

出場件数の多かった曜日	土曜日	1,916件
-------------	-----	--------

出場件数の少なかった曜日	水曜日	1,735件
--------------	-----	--------

出場件数の多かった地区	常磐地区	1,092件
-------------	------	--------

出場件数の少なかった地区	同和地区	22件
--------------	------	-----

出場件数の多かった時間帯	10時～12時	1,426件
--------------	---------	--------

出場件数の少なかった時間帯	4時～6時	494件
---------------	-------	------

出場の多かった事故種別	急病	7,949件
-------------	----	--------

出場件数の一番多かった日	10月25日	56件
--------------	--------	-----

出場件数の一番少なかった日	9月16日	21件
---------------	-------	-----

平成20年中の救急業務の概要

平成20年中の救急出場件数は12,499件で、前年に比べ429件(3.3%)の減少となりました。また、搬送人員は11,608人で前年と比べ493人(4.1%)の減少となり、救急業務を開始した昭和35年12月以降、年々増加を続けていた救急出動件数及び搬送人員が、初めて減少に転じました。

救急出動を事故種別で見ると、「急病」による出場が第1位で全体の63.6%を占め、次いで「交通事故」が12.4%、「一般負傷」が11.0%、「転院搬送」が7.9%となっており、ここ数年間、上位の順位に変動はありません。

救急車の利用状況については、管内の住民約29人に1人が救急車を利用したことになり、1日あたり、34.2件出動したことになっています。

以下に救急搬送した傷病者について、『年齢別』『重症度別』『地区別』『月別』などの観点から眺めた特徴的な傾向について示します。

『年齢層別』の傾向については、前年と比較して65歳以上の「高齢者」は増加しているが、「乳幼児」、「少年」はほぼ横ばい、「成人」はやや減少にあります。特に「高齢者」の搬送比率は47.4%となっており、18年から20年まで毎年1~2%の比率で徐々に増加しています

『重症度別』の傾向については、搬送者全体に占める「死亡」と「中等症」の比率はここ数年間で大きな変化はありませんが、「重症」と「軽症」はやや減少しております。しかし、入院を必要としない「軽症」の比率は62.9%となっており、全国平均の51.7%(平成19年中)を大幅に上回っていることなどが特徴となっています。

『地区別』の傾向については、「中部」「常磐」「日永」「三重」「四郷」「羽津」の各地区が救急需要の多い6地区となっています。これらの地区は人口も多い地区であることから必然的に救急需要が多くなっています。

このように、増加し続ける救急需要に対して、本市では、3消防署に5台の救急車を、また西部地域、北西地域、西南地域と消防事務を受託している朝日町・川越町地域にそれぞれ1台ずつ、さらに平成20年11月20日に開設した中消防署中央分署(曾井町)に1台、計10台の救急車を配置しています。

今後も都市整備や救急需要の動向などを踏まえて、署所配置などの検討を行いながら、“5分救急”施策の実現を目指します。

また、全ての救急車に少なくとも1名以上の救急救命士を配置できるよう、救急救命士の養成を継

続していきます。

加えて、19年3月までに市内の公的施設にAED（自動体外式除細動器）が252台配備され、さらに一般事業所等への設置も進んでおり、それらの事業所等で勤務する職員に対するAEDの取扱いを含めた応急手当講習を計画的に進めていきたいと考えています。

救急救命士による特定行為の処置実績

処置内容		気道確保	静脈路確保	薬剤投与	除細動
処置実績	平成11年中	16	5	-	6
	平成12年中	48	26	-	14
	平成13年中	39	26	-	12
	平成14年中	45	28	-	11
	平成15年中	50	33	-	17
	平成16年中	54	23	-	25
	平成17年中	51(1)	36	-	26
	平成18年中	68(1)	21	2	22
	平成19年中	52(5)	36	9	24
	平成20年中	42(4)	61	12	30

- 1 気道確保実績のうち、()内の数値は、気管挿管（平成16年7月1日から特定行為として解禁）の実施件数

有資格者 5名（平成20年12月現在）

- 2 除細動は、平成16年7月1日から特定行為から除外

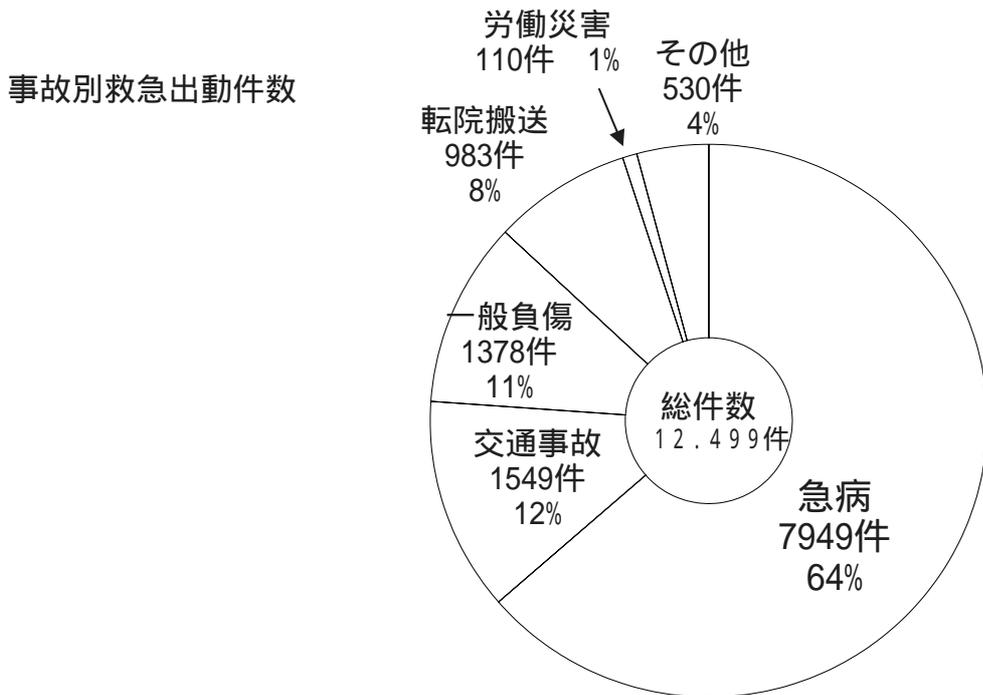
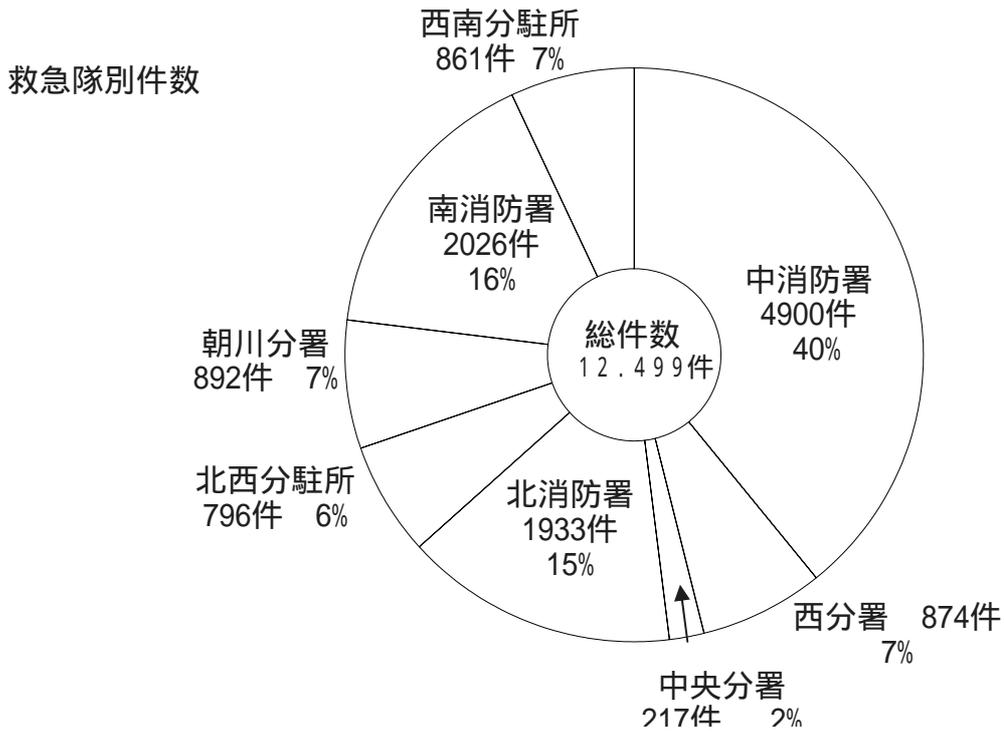
- 3 薬剤投与は、平成18年4月1日から特定行為として実施開始

有資格者 12名（平成20年12月現在）

救急概要

(平成20年中)

区分	件数・人員	一日平均
救急出場件数	12,499件	34.2件
搬送件数	11,398件	31.2件
搬送人員	11,608人	31.8人



救急発生状況比較

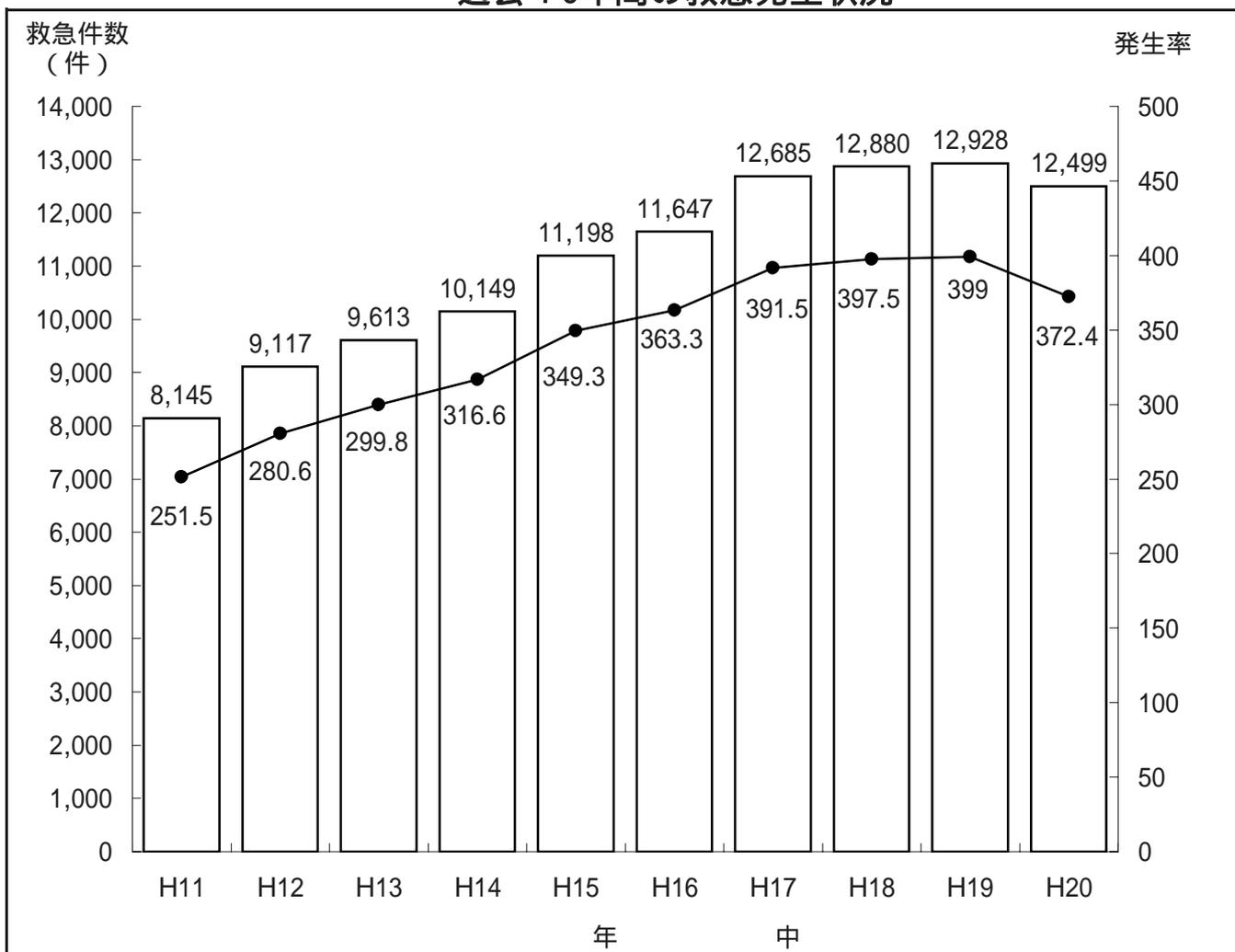
区 分		年 度				
		平成16年中	平成17年中	平成18年中	平成19年中	平成20年中
全 国	救急件数	5,029,108件	5,277,936件	5,237,716件	5,293,403件	未確定
	発生率	396.2件	413.1件	409.9件	414.3件	未確定
三重県	救急件数	65,241件	70,069件	70,362件	73,409件	未確定
	発生率	351.3件	374.1件	376.9件	393.2件	未確定
四日市市 (受託2町 含む)	救急件数	11,647件	12,685件	12,880件	12,928件	12,499件
	発生率	363.3件	391.5件	397.5件	399.0件	372.4件

数値は受託2町を含む。

$$\text{発生率} = \frac{\text{救急件数}}{\text{人 口}} \times 10,000$$

(人口1万人あたりの発生件数)

過去10年間の救急発生状況



平成20年

地区別救急出場状況

地区別		区分		出場件数		搬送件数		搬送人員	
		合計							
合計		12,499 件	100 %	11,398 件	100 %	11,608 件	100 %		
中 消 防 署	小計	5,382	43.06	4,890	42.90	4,972	42.83		
	共同	660	5.28	557	4.89	570	4.91		
	同和	22	0.18	20	0.18	20	0.17		
	中央	128	1.02	114	1.00	114	0.98		
	港	120	0.96	113	0.99	115	0.99		
	浜田	717	5.74	646	5.67	660	5.69		
	橋北	287	2.30	271	2.38	274	2.36		
	海蔵	388	3.10	357	3.13	357	3.08		
	常磐	1,092	8.74	1,006	8.83	1,018	8.77		
	川島	255	2.04	237	2.08	240	2.07		
	神前	274	2.19	252	2.21	259	2.23		
	桜	445	3.56	403	3.54	412	3.55		
	県	189	1.51	179	1.57	186	1.60		
三重	805	6.44	735	6.45	747	6.44			
北 消 防 署	小計	3,059	24.47	2,795	24.52	2,842	24.48		
	羽津	621	4.97	567	4.97	588	5.07		
	富田	526	4.21	481	4.22	485	4.18		
	富洲原	435	3.48	391	3.43	399	3.44		
	大矢知	550	4.40	498	4.37	505	4.35		
	八郷	353	2.82	328	2.88	332	2.86		
	下野	343	2.74	324	2.84	324	2.79		
	保々	231	1.85	206	1.81	209	1.80		
南 消 防 署	小計	3,296	26.37	3,025	26.54	3,088	26.60		
	塩浜	395	3.16	372	3.26	385	3.32		
	日永	902	7.22	831	7.29	847	7.30		
	四郷	792	6.34	720	6.32	725	6.25		
	内部	499	3.99	452	3.97	466	4.01		
	河原田	155	1.24	145	1.27	149	1.28		
	小山田	184	1.47	164	1.44	166	1.43		
	水沢	87	0.70	82	0.72	83	0.72		
	楠	282	2.26	259	2.27	267	2.30		
高速自動車道	46	0.37	36	0.32	45	0.39			
市 外	小計	716	5.73	652	5.72	661	5.69		
	朝日町	264	2.11	247	2.17	248	2.14		
	川越町	450	3.60	403	3.54	411	3.54		
	その他	2	0.02	2	0.02	2	0.02		

平成20年

月別救急出場状況

事故別	区分	月別												
		合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合計	出場件数	12,499	1,108	1,080	1,097	972	958	953	1,066	1,079	979	1,046	1,031	1,130
	搬送人員	11,608	1,024	998	1,032	917	891	886	999	995	915	970	945	1,036
火災	出場件数	70	2	8	3	9	5	3	4	6	6	7	8	9
	搬送人員	16	0	3	0	2	1	0	0	2	3	3	0	2
自然災害	出場件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	搬送人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水難	出場件数	5	0	0	1	0	0	2	0	1	0	1	0	0
	搬送人員	3	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0
交通	出場件数	1,549	110	129	138	125	115	130	124	128	128	134	145	143
	搬送人員	1,584	112	139	150	123	125	138	125	125	134	133	142	138
労働災害	出場件数	110	14	5	11	8	3	16	7	14	10	9	8	5
	搬送人員	108	13	5	12	8	2	16	6	14	10	9	8	5
運動競技	出場件数	112	5	11	13	16	6	8	9	8	13	12	7	4
	搬送人員	121	5	12	15	21	7	8	8	8	13	12	7	5
一般負傷	出場件数	1,378	116	125	113	91	103	93	114	120	110	139	116	138
	搬送人員	1,298	108	118	107	87	95	87	107	114	105	129	111	130
加害	出場件数	94	7	9	2	9	13	6	8	6	7	8	9	10
	搬送人員	76	6	7	1	7	10	6	7	6	5	6	7	8
自損行為	出場件数	185	9	5	16	14	19	19	17	18	23	24	12	9
	搬送人員	120	8	2	14	11	7	9	14	11	12	19	7	6
急病	出場件数	7,949	753	682	699	617	605	607	701	691	605	626	660	703
	搬送人員	7,302	688	612	634	581	563	558	655	635	561	577	601	637
転院搬送	出場件数	983	86	98	97	79	82	63	77	78	73	82	62	106
	搬送人員	973	84	98	96	76	81	62	77	78	72	82	62	105
その他	出場件数	64	6	8	4	4	7	6	5	9	4	4	4	3
	搬送人員	7	0	2	2	1	0	1	0	1	0	0	0	0

応急手当の普及計画

本市においては、119番通報入電から救急車が到着するまでに6分33秒の時間を要しています。大切な人の命は、救急隊が到着するまでの間に、傷病者の近くに居合わせた住民の方が適切な応急手当を実施することによって、救われるものといっても過言ではありません。

本市では、平成6年から本格的に住民に対する応急手当の普及啓発活動を開始し、各自治会や各種団体を対象にした普通救命講習や上級救命講習などを年間約200回程度開催しています。

また、毎月1回、第2土曜日に、一般公募による定期普通救命講習を開催し、個人での受講希望者への対応も行っています。

さらに事業所や各種団体等において、応急手当の普及啓発活動の中心的な役割を担ってもらえるよう、指導者養成コースである普及員講習や指導員講習なども計画的に開催しており、現在、管内には約1,200名の応急手当指導者がいます。

応急手当普及啓発活動の状況

普通救命講習修了者の実績 (186 回) 3,813 人 (平成20年中)

講習 実施 月	講習 回数	男女別		修了 者数 計	消 防 防 災 団 隊	自 治 会	公 務 員	P T A	事 業 所 等	福 祉 関 係	学 校 関 係	そ の 他 (定期 含む)
		男	女									
合 計	186	1897	1916	3813	16	13	20	23	55	6	30	23
1月	21	221	96	317	1	2	1	0	9	0	6	2
2月	10	130	73	203	0	3	1	0	5	0	0	1
3月	8	92	76	168	1	2	1	0	1	1	0	2
4月	4	36	5	41	0	0	0	0	3	0	0	1
5月	8	89	82	171	1	0	1	0	1	0	3	2
6月	40	287	647	934	5	0	7	13	5	0	6	4
7月	25	178	598	776	1	1	1	10	5	3	2	2
8月	7	66	80	146	1	1	2	0	1	1	0	1
9月	18	225	53	278	0	1	2	0	7	1	4	3
10月	20	216	66	282	4	1	3	0	8	0	3	1
11月	14	214	78	292	0	1	1	0	8	0	3	1
12月	11	143	62	205	2	1	0	0	2	0	3	3

上級救命講習の実績 (7 回)

回	実施月	受講対象者	修了者数		
			合 計	男	女
1	1月	一般公募	30	10	20
2	3月	四日市医師会 看護専門学校	43	3	40
3	4月	日本トランスシティ株式会社	45	24	21
4	7月	県立朝明高校	23	1	22
5	7月	一般公募	30	11	19
6	10月	一般公募	25	10	15
7	12月	県立朝明高校	17	0	17
合 計			213名	59名	154名

応急手当普及員講習の実績

コンビナート ・ 一般事業所 市職員・教職員・防災隊・住民・その他	新規講習 4 回 ・ 再講習 5 回 242 名 (男 170 名 ・ 女 72 名)
--------------------------------------	--

一般救急講習

146回 6,336名

応急手当普及活動による救命率の向上

心肺停止の傷病者に遭遇したとき、すぐそばに居合わせた人（バイスタンダー）が行う心肺蘇生法などの応急手当が、救命率や予後に大きく影響しています。

救命率とは、救急隊が搬送した全ての心肺停止傷病者のうち、1か月後の生存者の割合

	救急隊が搬送した全ての心肺停止傷病者数	家族等により応急手当が実施されていた傷病者数	そのうち1か月後の生存者数
		家族等により応急手当が実施されていない傷病者数	そのうち1か月後の生存者数
平成11年	199人	54人(27.1%)	4人(7.4%)
		145人(72.9%)	1人(0.7%)
平成12年	222人	42人(18.9%)	2人(4.8%)
		180人(81.1%)	9人(5.0%)
平成13年	204人	69人(33.8%)	2人(2.9%)
		135人(66.2%)	5人(3.7%)
平成14年	219人	53人(24.2%)	0人(0.0%)
		166人(75.8%)	3人(1.8%)
平成15年	242人	76人(31.4%)	6人(7.9%)
		166人(68.6%)	10人(6.0%)
平成16年	261人	71人(27.2%)	5人(7.0%)
		190人(72.8%)	9人(4.7%)
平成17年	272人	76人(27.9%)	1人(1.3%)
		196人(72.1%)	9人(4.6%)
平成18年	263人	53人(20.2%)	1人(1.9%)
		210人(79.8%)	11人(5.2%)
平成19年	278人	99人(35.6%)	5人(5.1%)
		182人(65.5%)	26人(14.3%)
平成20年	318人	130人(40.9%)	9人(6.9%)
		188人(59.1%)	13人(9.9%)

救命率とはウツタイン様式の集計方法に基づく集計に17年度から変更した。
(心肺停止を目撃された心疾患傷病者の1ヶ月生存者数)

通信 ・ 気象

一 目 統 計

平成 20 年中

1 1 9 番通報取扱状況

受 信 総 件 数		17,243 件
携 帯 電 話 受 信 件 数		6,100 件
一日あたりの平均受信件数		47.1 件
携帯電話による平均受信件数		16.7 件
通報件数の多かった月	12月	1,645 件
通報件数の少なかった月	5月	1,281 件

気 象 状 況

最 高 気 温	8月4日	36.7℃
最 低 気 温	2月24日	-2.5℃
最 大 瞬 間 風 速	2月27日	25.4 m/s
年 間 総 雨 量		1,543.0 mm
時間あたりの最大降雨量	6月29日 (7~8時)	21.5 mm
一日あたりの最大降雨量	6月29日	97.5 mm
最 多 風 向		西北西
最 少 風 向		東、南南西

医療情報案内状況

案 内 総 件 数		8,003 件
一日あたりの平均案内数		21.9 件
案内科目の多い順位	1. 内科 2. 小児科 3. 外科	
案内件数の多かった月	1月	992 件
案内件数の少なかった月	2月	537 件

指令事務の共同運用

四日市市と桑名市は、「四日市市及び桑名市消防通信指令事務協議会」を設置して、平成19年4月1日から指令事務の共同運用を開始しました。

- 1 四日市市及び桑名市消防通信指令事務協議会の目的
地方自治法（昭和22年法律第67号）第252条の2第1項の規定に基づき、複雑多様化する消防需要に広域的に対応し、住民の期待と信頼に応えられる消防サービスの高度化を図るため、消防通信指令施設において行う消防通信指令に関する事務を共同して管理し、及び執行する。
- 2 四日市市及び桑名市消防通信指令事務協議会の担当事務
 - ・ 災害通報の受信
 - ・ 出動指令
 - ・ 通信統制
 - ・ 情報の収集伝達
- 3 担当事務を執行する施設の名称
消防指令センター
- 4 消防指令センターの設置場所
桑名市消防本部内
- 5 経費の負担割合
単独で設置及び利用する部分を除き、共同利用する部分の経費の2分の1を国勢調査人口比率、残りの2分の1を消防費基準財政需要額比率とする。
- 6 消防指令センターの管内人口及び面積
管内人口約55万人・面積約614k㎡
- 7 消防指令センター管内署所数
17署所
- 8 消防指令センター員の構成状況
総員 27名
内訳 四日市市消防本部職員 15名
桑名市消防本部職員 12名

消防通信施設の概要

高機能消防通信指令システムには次の機能を備え、119番通報受付から出動指令までの時間短縮及び消防車・救急車が災害場所に到着するまでの時間短縮を図っています。

- 1 NTT発信地表示システム
NTTからの119番通報時に、通報者の住所を瞬時に特定し、地図上に通報場所を表示します。
- 2 携帯電話・IP電話の発信者位置情報通知システム
携帯電話・IP電話からの119番緊急通報時に、音声通話と併せて通報者の発信位置に関する情報が自動的に消防本部に通知され、地図上に表示します。
- 3 車両位置管理システム
GPS（衛星利用測位システム）機能により、出向している消防車や救急車の走行している位置を把握して、災害場所に近い消防車・救急車に対して出動を指令（直近車両の隊編成）します。
- 4 Eメール・FAX119番緊急通報システム
音声による119番通報が困難な聴覚障害や言語障害のある方が、携帯電話機やインターネット接続端末機からEメール、又はFAXを利用して火災・救急事案等の緊急通報を受信します。
- 5 消防団への出動指令
消防団への出動指令は、出動対象分団車庫へファックスによる指令書を送信するとともに、出動対象団員へ電話音声による順次指令とEメール指令を送信します。

119番通報受付取扱状況 (四日市市消防本部管内)

(平成20年中)

月	火災	救急	救助	警戒	悪戯	間違い	訓練試験	問合せ	転送	FAX 119	その他	合計
1	10	1029	6	12	29	44	37	175	7		101	1450
2	20	1011	6	14	21	60	51	115	3		120	1421
3	15	1028	8	11	32	87	77	139	7		118	1522
4	19	892	7	8	31	73	43	121	12		156	1362
5	19	882	12	11	19	53	31	115	7		132	1281
6	14	897	8	10	22	75	67	101	6		106	1306
7	17	984	6	6	45	86	30	148	16		147	1485
8	30	1015	12	11	27	75	25	169	8		130	1502
9	24	916	4	19	18	77	74	144	8		158	1442
10	11	972	7	12	27	51	56	103	15	1	140	1395
11	24	938	7	10	25	74	90	130	15		119	1432
12	36	1039	9	13	29	82	91	146	13	4	183	1645
合計	239	11603	92	137	325	837	672	1606	117	5	1610	17243

備考 携帯電話からの通報含む。※災害通報には、同報通報を含む。

119番通報受付取扱回線種別状況 (四日市市消防本部管内)

(平成20年中)

回線種別	火災	救急	救助	警戒	悪戯	間違い	訓練試験	問合せ	転送	FAX 119	その他	合計
固定電話	103	6919	27	51	186	422	584	645	15	5	713	9670
IP電話	18	982		8	15	80	38	202	5		125	1473
携帯電話	118	3702	65	78	124	335	50	759	97		772	6100

消防指令センター 119番通報受付取扱状況 (四日市市消防本部・桑名市消防本部管内別)

(平成20年中)

消防本部	火災	救急	救助	警戒	悪戯	間違い	訓練試験	問合せ	転送	FAX 119	その他	合計
四日市	239	11603	92	137	325	837	672	1606	117	5	1610	17243
桑名	210	6980	62	87	206	589	619	991	66	2	1172	10984
合計	449	18583	154	224	531	1426	1291	2597	183	7	2782	28227

通 信 施 設 保 有 状 況

(平成21年4月1日現在)

所属別 区分	消防緊急通信指令施設Ⅲ型	火災報知電話	ホットライン	指令電話	公団交換機	電話交換機	加入電話(回線)	テレフォンガイド(回線)	消防無線電話			救急無線		心電図伝送装置	消防団無線電話車載	県防災無線電話		市防災行政用無線電話	フアックスミリ	無線ファックスミリ	携帯電話	
									基地	移動		基地	移動(車載)			地上・衛星	防災相互波					
										消防車両	その他車両											携帯
合計	1	12	30	9	1	1	36	15	1	23	24	73	1	12	9	33	3	10	1	39	1	22
消防本部	1	12	30		1	1	18	15	1		9	8	1				3	4	1	2	1	4
中消防署				1			4			7	2	16		3	2			2		1		5
中央分署				1			1			3	2	6		1	1					1		2
西分署				1			2			2	2	5		1	1					1		2
港分署				1			1				2	2					2			1		
北消防署				1			2			5	3	14		2	1		1			1		2
朝日川越分署				1			2			1	1	6		1	1					1		2
北西救急分駐所				1			1					1		1	1					1		1
南消防署				1			4			5	3	13		2	1		1			1		3
西南救急分駐所				1			1					2		1	1					1		1
消防団															33					28		

◎県防災行政無線電話には、衛星可搬型地球局含む。

無 線 配 置 状 況

消 防 本 部	
○車載無線(よっかいち)	
広報車	61
指揮車	51
広報車 68. 69. 73. 75. 77. 78	
原液運搬車	76
○携帯無線(よっかいち)	
800. 801. 802. 803. 804	
805 810. 820	
○基地局	
よっかいちしょうぼう	
きゅうきゅうよっかいち	
三重県防災行政無線	
(固定局)	
四日市市防災行政無線	
(固定局)	

四 日 市 市 消 防 団	
(よっかいちしょうぼうだん)	
○消防団本部	1、2
ポンプ車	他31

港 分 署	
○車載無線(よっかいち)	
広報車	71
水難救助車	45
○携帯無線(よっかいちみなと)	
601. 602	

中 消 防 署	
○車載無線(よっかいち)	
ポンプ車	1
水槽付ポンプ車	5
化学車	8
はしご車	31
高所放水車	35
救助工作車(Ⅲ型)	41
広報車	62. 72
原液搬送車	74
○携帯無線(よっかいちなか)	
100. 101. 103. 105. 106. 107. 108	
141. 142. 143. 144. 145. 190. 191	
192. 193	
○救急無線(きゅうきゅうよっかいち)	
高規格救急車	1. 7
救急車	9

中 央 分 署	
○車載無線(よっかいち)	
ポンプ車	4
水槽車	11
水槽付ポンプ車	12
広報車	66
トラック	84
○携帯無線(よっかいちちゅうおう)	
700. 701. 702. 703. 704. 790	
○救急無線(きゅうきゅうよっかいち)	
高規格救急車	12

西 分 署	
○車載無線(よっかいち)	
水槽付ポンプ車	7. 14
広報車	70
トラック	82
○携帯無線(よっかいちにし)	
401. 402. 403. 490. 491	
○救急無線(きゅうきゅうよっかいち)	
救急車	6

北 消 防 署	
○車載無線(よっかいち)	
ポンプ車	2
水槽付ポンプ車	6
化学車	9
屈折はしご車	32
救助工作車(Ⅱ型)	43
広報車	63. 65
トラック	81
○携帯無線(よっかいちきた)	
200. 201. 202. 203. 204.	
205. 206. 207. 208. 241	
242. 290. 291. 292	
○救急無線(きゅうきゅうよっかいち)	
高規格救急車	5, 11

北 西 救 急 分 駐 所	
○携帯無線(よっかいちほくせい)	
救急車	4
○携帯無線(よっかいちほくせい)	
295	

朝 日 川 越 分 署	
○車載無線(よっかいち)	
水槽付ポンプ車	16
広報車	79
○携帯無線(よっかいちあさかわ)	
501. 502. 503. 504. 590.	
591	
○救急無線(きゅうきゅうよっかいち)	
高規格救急車	8

南 消 防 署	
○車載無線(よっかいち)	
ポンプ車	3
水槽付ポンプ車	15
化学車	10
高所放水車	34
原液搬送車	36
広報車	64. 80
トラック	83
○携帯無線(よっかいちみなみ)	
300. 301. 302. 303. 305.	
306. 307. 308. 309. 390	
391. 392. 393.	
○救急無線(きゅうきゅうよっかいち)	
高規格救急車	3, 2

西 南 救 急 分 駐 所	
○救急無線(きゅうきゅうよっかいち)	
救急車	10
○携帯無線(よっかいちせいなん)	
395	
○携帯無線(よっかいちみなみ)	
304	

月別救急医療情報案内状況

三重県救急医療情報システムは昭和57年12月1日に四日市地域ほか5地域でサービスを開始、翌昭和58年12月1日に全县をネットワークして現在に至っています。このシステムは、参加医療機関（病院・診療所）救急医療情報センターとをコンピュータを介して通信回線で結び、救急医療に必要な情報を収集しており、「救急車を呼ぶまでもなく近くの病院等の紹介」を市民等からの問い合わせに対し、迅速に最寄りの医療機関を案内することで、救急医療行政の充実に期するものです。

平成15年10月からは、インターネット（<http://www.qq.pref.mie.jp/>）及び音声・FAXによる自動案内（0800-100-1199通話料無料）により医療機関をさがすことが可能になりました

（平成20年中）

月 別		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
科目別	合計	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
合 計	8003	922	537	601	571	753	550	668	740	570	554	684	853
内 科	1918	296	140	126	128	160	137	145	179	126	113	153	215
小児科	1757	165	112	130	145	161	142	146	158	125	121	163	189
外 科	814	59	36	52	59	68	59	94	109	70	74	72	62
整形外科	688	55	57	49	49	63	48	59	64	46	57	76	65
産婦人科	44	5	3	4	2	3	4	1	7	3	5	4	3
眼 科	217	16	16	22	20	14	19	19	30	11	17	14	19
耳鼻科	146	11	10	12	11	17	17	8	20	7	8	17	8
皮膚科	96	9	2	5	6	12	7	9	20	9	9	3	5
泌尿器科	77	8	1	4	7	14	4	4	9	9	5	5	7
精神科	7	2	1	0	0	0	2	0	0	0	0	1	1
脳外科	149	7	9	14	8	15	11	17	18	13	14	11	12
循環器科	21	3	1	4	1	3	0	1	1	1	3	1	2
呼吸器科	7	0	0	0	1	1	1	0	1	3	0	0	0
消化器科	45	2	0	7	4	6	7	0	6	5	3	3	2
歯 科	243	31	5	12	14	32	17	22	31	15	10	16	38
その他	1774	253	144	160	116	184	75	143	87	127	115	145	225

医療情報案内 TEL 353-1199

警報・注意報・情報等の発表状況

(平成20年中)

種別		月別												発表回数 計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
警報	暴風警報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	暴風雪警報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	大雨警報	0	0	0	0	0	0	0	2	3	0	0	0	5
	大雪警報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	洪水警報	0	0	0	0	0	0	0	2	3	0	0	0	5
	波浪警報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	高潮警報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
注意報	大雨注意報	0	0	0	3	5	5	12	12	9	1	0	1	48
	大雪注意報	2	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	12
	風雪注意報	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	雷 注意報	0	0	4	3	4	4	12	13	8	1	0	2	51
	強風注意報	1	4	3	4	1	0	0	0	1	0	0	0	14
	融雪注意報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	濃霧注意報	2	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	2	7
	乾燥注意報	2	0	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0	7
	なだれ注意報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	低温注意報	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	6
	霜注意報	0	1	8	2	0	0	0	0	0	0	0	0	11
	着氷注意報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	着雪注意報	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	洪水注意報	0	0	0	3	5	5	12	13	10	1	0	1	50
	波浪注意報	1	3	3	4	1	0	0	1	1	0	0	0	14
高潮注意報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計		12	19	20	21	17	14	37	43	35	4	1	10	233

火災気象通報		5	2	2	4	1	0	0	0	0	0	0	0	14
土砂災害警戒情報	四日市市	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	朝日町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
竜巻注意情報		-	-	0	1	1	0	0	0	1	0	0	1	4

- 注1) 注意報、警報及び火災気象通報は三重県北部を対象に発表された回数を示す。
 注2) 同一種類の注意報・警報を継続する場合に発表された注意報・警報は回数に含めない。
 注3) 土砂災害警戒情報について、川越町は発表対象外です。
 注4) 竜巻注意情報は、三重県北部地域を対象に発表された回数を示す。

気 象 状 況

風速・湿度・気温・風向・降雨量

(平成20年中)

区分		月別												
		年間	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
風速(m/s)	平均	2.5	2.6	3.1	3.2	3.1	2.5	2.1	2.0	2.2	2.3	2.0	2.3	2.2
	最大瞬間	25.4	21.3	25.4	24.0	20.8	16.7	14.7	15.2	17.9	15.6	17.2	19.0	15.6
湿度(%)	平均	69.3	64.2	65.5	62.8	65.4	67.8	77.2	74.1	74.5	73.9	71.9	66.6	67.8
	最低	15.4	27.8	23.6	21.2	17.7	15.4	31.8	39.6	41.9	20.2	33.1	27.5	33.0
気温(°C)	平均	16.3	5.2	4.1	10.1	15.0	19.4	22.3	28.1	27.8	24.1	19.1	12.6	8.2
	最高	36.7	14.3	14.1	20.6	27.2	30.5	30.8	36.6	36.7	34.5	27.3	22.7	18.1
	最低	-2.5	-2.3	-2.5	0.2	5.2	11.3	13.8	21.0	21.6	14.7	9.2	2.9	-0.4
気圧(hPa)	平均	1012.0	1017.4	1015.8	1013.6	1011.4	1008.6	1007.3	1006.6	1005.6	1009.4	1015.0	1015.8	1017.1
	最高	1030.1	1029.2	1030.1	1025.7	1019.9	1017.0	1017.7	1012.4	1011.0	1018.4	1023.5	1024.7	1028.0
	最低	800.0	1002.7	1000.4	998.3	997.0	994.1	992.0	1001.4	995.9	999.9	1004.0	999.6	800.0
風向 頻度 (%)	東	1.7	1.3	1.5	2.1	2.6	1.5	2.1	2.1	2.2	1.5	1.1	1.3	1.2
	東南東	4.4	1.1	1.3	3.8	6.5	6.0	8.1	9.9	5.9	4.3	3.3	1.6	1.4
	南東	9.4	0.9	1.8	4.7	9.8	14.6	22.1	23.4	16.9	9.0	5.8	1.9	1.4
	南南東	5.0	0.9	0.6	3.7	5.0	7.9	8.9	11.8	10.8	6.3	2.2	0.9	0.6
	南	3.8	0.8	0.3	4.4	3.5	7.0	5.3	8.2	6.9	3.3	3.6	1.1	0.6
	南南西	1.7	0.7	1.2	1.0	0.6	2.9	1.7	2.2	1.9	1.1	2.8	2.2	1.6
	南西	1.9	2.4	1.4	1.2	0.8	4.9	1.7	1.1	1.2	1.1	1.8	2.3	2.3
	西南西	3.8	7.1	5.5	2.1	2.9	3.7	2.3	1.4	3.1	1.5	3.1	6.9	6.2
	西	6.5	11.2	10.5	5.4	5.0	3.4	3.6	2.2	3.2	4.0	6.2	10.8	12.4
	西北西	22.2	25.7	29.3	27.8	27.8	15.1	11.9	10.9	13.1	24.5	24.6	25.9	29.7
	北西	17.0	21.2	23.6	21.9	19.0	13.8	12.6	9.9	11.9	18.3	16.8	17.8	17.5
	北北西	6.3	8.7	6.3	6.9	5.4	5.2	5.6	4.1	4.8	6.3	7.9	8.0	6.7
	北	5.3	5.7	4.9	5.9	3.6	5.5	4.3	3.9	4.9	6.3	7.5	6.0	5.5
	北北東	4.9	5.5	4.9	4.4	3.0	3.8	5.0	3.2	5.4	6.9	6.0	5.6	5.3
	北東	4.3	4.7	4.6	3.2	2.8	3.3	3.4	3.5	5.9	3.8	5.7	5.6	5.6
東北東	1.8	2.1	2.3	1.5	1.7	1.4	1.4	2.2	1.9	1.8	1.6	2.1	2.0	
静穏	0.9	1.9	1.0	0.7	0.6	0.7	0.7	0.6	0.6	0.5	1.1	1.2	1.4	
降雨量 (mm)	日数	116	9	9	9	10	12	15	6	8	13	9	9	7
	時間最大	21.5	2.5	6.0	14.5	10.0	14.5	21.5	13.0	13.0	9.5	13.0	8.0	3.5
	1日最大	97.5	13.5	15.0	39.5	66.0	72.5	97.5	20.0	79.0	44.0	43.5	19.0	11.0
	合計	1543.0	29.5	52.5	150.0	196.5	254.5	250.5	53.5	169.0	181.5	125.0	57.5	23.0

予 防

一 目 統 計

平成20年度

広報活動		368件
広報催事に対する参加者数		38,997人
立ち入り検査数		1,804件
建築同意数		753件
防火対象物		14,597棟
中高層ビル	4階以上	1,531棟
危険物許可事務処理件数		2,101件
危険物施設数		4,427施設
火災条例に基づく届出件数		6,084件

広 報 活 動 状 況

(平成20年度)

種 別	人員 / 回数	合 計	消防本部	中 署	北 署	朝川分署	南 署
広報車等による宣伝活動	回 数	21	1	5	0	9	6
	人 員	137	70	27	0	16	24
防 火 講 演 会 座 談 会	回 数	35	0	10	13	6	6
	人 員	5376	0	479	2043	341	2513
防 火 映 画 会	回 数	53	0	5	26	12	10
	人 員	5608	0	575	2262	1083	1688
自衛消防隊等訓練指導	回 数	217	0	78	71	40	28
	人 員	25661	0	8543	8801	3797	4520
庁 舎 見 学	回 数	77	0	34	40	1	2
	人 員	4506	0	2148	2132	90	136
防 火 展	回 数	7	0	4	1	0	2
	人 員	2250	0	1130	800	0	320
防 火 教 室	回 数	45	0	18	10	3	14
	人 員	3729	0	1560	937	258	974
防 災 教 室	回 数	26	0	8	7	3	8
	人 員	3175	0	1082	923	206	964
地 震 体 験 車	回 数	13	0	5	3	2	3
	人 員	3254	0	800	735	749	970
火 災 予 防 相 談	回 数	90	0	49	30	1	10
	人 員	179	0	64	114	1	
合 計	回 数	584	1	216	201	77	89
	人 員	53875	70	16408	18747	6541	12109

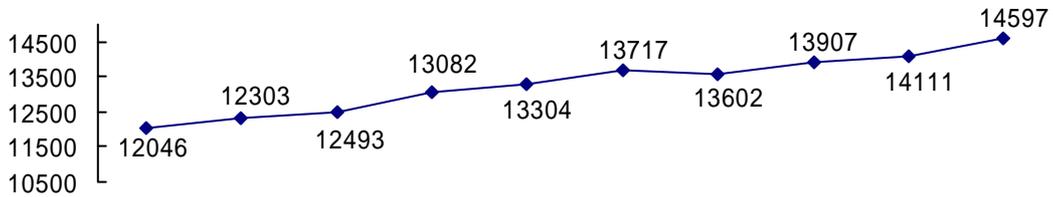
広 報 用 印 刷 物

(平成20年度)

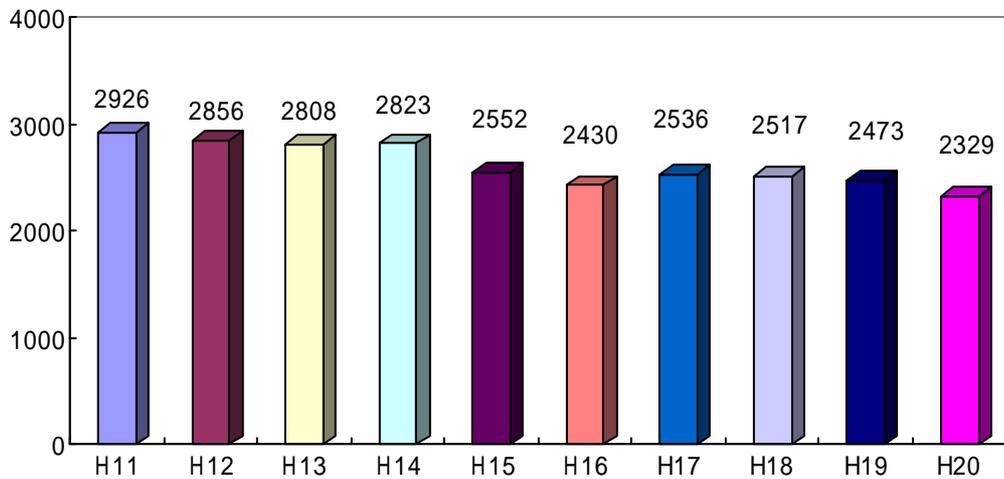
種 別	人員 / 回数	合 計	消防本部	中 署	北 署	朝川分署	南 署
チ ラ シ	回 数	15	0	8	1	5	1
	部 数	2515	0	1870	30	455	160
ポ ス タ ー	回 数	5	0	4	0	1	0
	部 数	47	0	36	0	11	0
ス テ ッ カ ー	回 数	0	0	0	0	0	0
	部 数	0	0	0	0	0	0
防 火 だ よ り	回 数	2	2	0	0	0	0
	部 数	240000	240000	0	0	0	0
そ の 他	回 数	11	0	0	2	1	8
	部 数	1461	0	0	611	500	350
合 計	回 数	33	2	12	3	7	9
	部 数	244023	240000	1906	641	966	510

年別建築同意状況及び防火対象物の推移

防火対象物



建築同意件数



建築同意件数

(平成 20 年度)

区分 項目	件 数	
	同 意	不同意
新 築	5 1 2	0
増 築	2 3 3	0
改 築	0	0
移 築	0	0
用途変更	8	0
そ の 他	0	0
小 計	7 5 3	0
消防通知	1, 5 7 6	0
合 計	2, 3 2 9	0

消防用設備等届出状況

(平成 20 年度)

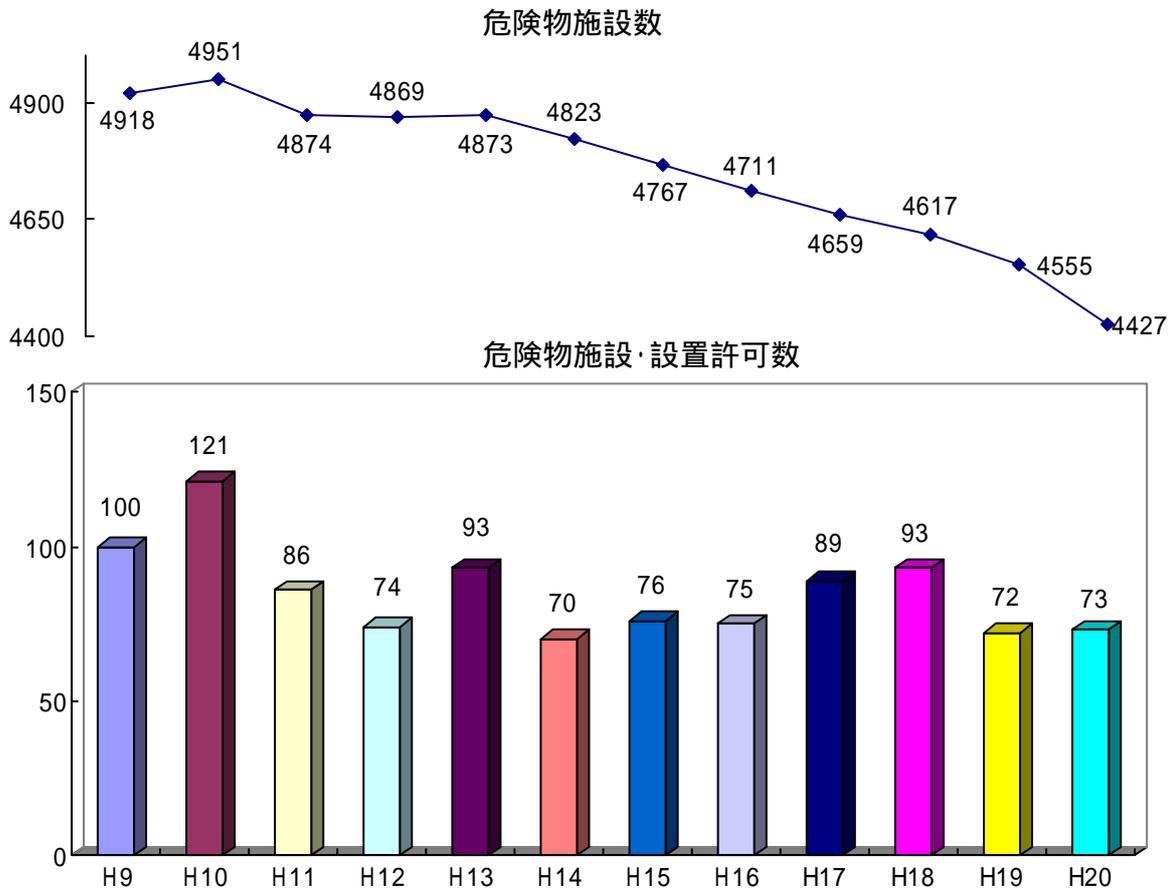
工事計画書	着工届出	設置届出
1 3 7 件	4 5 5 件	4 3 9 件

危険物仮貯蔵・仮取扱申請承認状況

(平成 20 年度)

署別 区分	合計	中署	北署	南署
仮 貯 蔵	2 2	1	1 8	3
仮 取 扱	0	0	0	0

年別危険物施設・設置許可数及び危険物施設数の推移



危険物許可事務処理状況

(平成20年度)

種別	許可		完成検査		廃止	水張検査	水圧検査	
	設置	変更	設置	変更				
区分	設置	変更	設置	変更	廃止	水張検査	水圧検査	
合計	73	828	52	815	194	96	43	
製造所	4	190	3	177	2			
貯蔵所	屋内	7	23	7	20	8		
	屋外タンク	20	259	8	251	67		
	屋内タンク	0	2	0	2	0		
	地下タンク	3	2	2	2	8		
	簡易タンク	1	0	0	0	0		
	移動タンク	20	78	18	77	60		
	屋外	2	2	0	2	4		
取扱所	給油	4	30	4	33	16		
	販売	0	0	0	0	0		
	移送	0	31	0	37	2		
	一般	12	211	10	214	27		

平成20年度

火災予防条例に基づく届出事務処理状況

区分	署別	合計	本部	中署	西分署	中央分署	港分署	北署	朝川分署	南署
防火対象物使用開始届		354	0	114	8	16	0	83	34	99
防火管理者選解任届		489	0	196	27	5	0	68	56	137
消防計画作成(変更)届		565	0	210	33	5	0	95	61	161
共同防火管理協議事項作成(変更)届		12	0	11	0	0	0	1	0	0
消火・避難訓練実施計画書		573	0	204	38	30	0	122	65	114
工事中の消防計画届		2	0	1	0	0	0	1	0	0
防火対象物定期点検報告		122	0	49	5	4	0	19	12	33
防火対象物点検報告特例認定申請		3	0	1	0	0	0	0	0	2
消防用設備等設置届		439	58	134	12	13	0	74	33	115
消防用設備等着工届		453	115	130	10	15	0	68	22	93
消防用設備等の特例適用願い		18	10	1	0	0	0	0	6	1
消防用設備等点検結果報告		2314	0	902	103	67	0	447	196	599
炉		8	0	1	0	0	0	5	0	2
厨房設備		0	0	0	0	0	0	0	0	0
温風暖房機		0	0	0	0	0	0	0	0	0
ボイラー		17	0	4	0	0	0	2	0	11
給湯湯沸設備		4	0	1	0	0	0	1	0	2
乾燥設備		6	0	1	0	0	0	1	2	2
サウナ設備		1	0	1	0	0	0	0	0	0
ヒートポンプ冷暖房機		2	0	0	0	0	0	1	0	1
火花を生じる設備		0	0	0	0	0	0	0	0	0
放電加工機		0	0	0	0	0	0	0	0	0
発電設備		22	0	9	0	1	0	4	0	8
変電設備		73	0	17	1	4	0	9	11	31
蓄電池設備		32	0	9	3	2	0	4	2	12
ネオン管灯設備		2	0	2	0	0	0	0	0	0
指定洞道		0	0	0	0	0	0	0	0	0
水素ガス気球届		0	0	0	0	0	0	0	0	0
熱風炉		1	0	0	0	0	0	1	0	0
少量危険物		176	0	57	1	16	0	20	10	72
指定可燃物		133	0	45	0	2	0	35	5	46
圧縮アセチレンガス		38	0	4	8	5	0	4	2	15
液化石油ガス		137	2	41	3	5	0	36	16	34
無水硫酸		2	0	0	0	0	0	1	0	1
生石灰		0	0	0	0	0	0	0	0	0
毒物		1	0	0	0	1	0	0	0	0
劇物		4	0	3	0	0	0	0	0	1
火薬類		1	0	1	0	0	0	0	0	0
高圧ガス		2	0	0	0	0	0	0	0	2
喫煙届		2	0	1	0	0	0	0	1	0
裸火		38	0	29	0	0	0	9	0	0
危険物品持込		38	0	29	0	0	0	6	2	1

防火対象物状況(階層別)

平成21年4月1日 現在

階層の別	政令別表項目別	合計	1		2				3		4	5			6	7	8	9		10	11	12		13		14	15	16		17	18					
			イ	ロ	イ	ロ	ハ	ニ	イ	ロ		イ	ロ	イ				ロ	イ			ロ	イ	ロ	イ			ロ	イ			ロ	イ	ロ	イ	ロ
			劇場・映画館	公会堂・集会場	キャバレー・カフェー等	遊技場等	風営法規定する性風俗関連特殊営業を営む店舗等	カラオケ等	待合・料理店	飲食店	百貨店・マーケット	旅館・ホテル	寄宿舎・下宿・共同住宅	病院	老人福祉施設等	幼稚園・盲学校等	学校	図書館・美術館	蒸気・熱気浴場	イに掲げる以外の公衆浴場	車両の停車場	神社・寺院	工場・作業場	映画・テレビスタジオ	自動車車庫・駐車場	飛行機等の格納庫	倉庫	その他の事業所	複合用途防火対象物	イ以外の複合用途防火対象物	二地	三地	文庫	延長50m以上のアーケード		
合計		14597	20	293	0	54	0	10	11	487	663	70	3548	208	235	85	444	8	9	19	11	314	2997	0	163	1	2029	1904	790	199	0	0	6	19		
地上階	1階	5076	0	167	0	15	0	4	2	207	359	5	91	35	122	48	158	1	4	15	7	247	1442	0	114	1	1357	598	41	14	0	0	3	19		
	2階	6207	12	111	0	33	0	5	8	196	227	22	2168	108	76	31	88	4	4	4	3	59	1259	0	37	0	573	843	253	80	0	0	3	0		
	3階	1783	5	12	0	4	0	0	0	45	50	15	574	39	16	5	140	2	1	0	1	7	200	0	4	0	73	315	236	39	0	0	0	0		
	4階	733	2	2	0	2	0	1	0	24	17	3	325	10	11	1	39	0	0	0	0	0	54	0	3	0	17	83	117	22	0	0	0	0		
	5階	370	0	1	0	0	0	0	1	10	6	4	194	7	4	0	13	0	0	0	0	1	24	0	1	0	7	29	47	21	0	0	0	0		
	6階	124	0	0	0	0	0	0	0	3	3	7	38	3	5	0	2	1	0	0	0	0	13	0	0	0	2	13	28	6	0	0	0	0		
	7階	85	1	0	0	0	0	0	0	1	0	4	28	3	1	0	1	0	0	0	0	0	3	0	2	0	0	7	27	7	0	0	0	0		
	8階	74	0	0	0	0	0	0	0	1	1	3	31	2	0	0	3	0	0	0	0	2	0	2	0	0	11	15	3	0	0	0	0	0		
	9階	40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	8	4	0	0	0	0	0		
	10階	31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	13	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	2	0	0	0	0	0	
	11階	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	
	12階	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	
	13階	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	14階	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	
	15階	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	
	16階以上	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	
上記のうち地階を有するもの	地下1階	252	2	6	0	0	0	0	0	10	4	8	32	11	6	4	5	1	1	0	1	1	15	0	1	0	4	88	50	2	0	0	0	0		
	地下2階	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3	0	0	9	1	0	0	0	0	0	0		

防火対象物状況(消防用設備別)

平成21年4月1日 現在

政令別表項目別 合計	1		2				3		4	5		6		7	8	9		10	11	12		13		14	15	16		16	16	17	18				
	イ	ロ	イ	ロ	ハ	ニ	イ	ロ	百貨店・マーケット	イ	ロ	イ	ロ	学	図	イ	ロ	車	神	イ	ロ	イ	ロ	倉	そ	イ	ロ	二	三	文	延				
	劇場	公会堂・集会場	エキスパレール・カフェー	遊技場等	風管法規定する性風俗関連特殊営業を営む店舗等	カラオケ等	待合・料理店	飲食店	百貨店・マーケット	旅館・ホテル	寄宿舎・下宿・共同住宅	病院・診療所	老人福祉施設等	幼稚園・盲学校等	学校	図書館・美術館	蒸気・熱気浴場	イに掲げる以外の公衆浴場	車両の停車場	神社・寺院	工場・作業場	映画・テレビスタジオ	自動車車庫・駐車場	飛行機等の格納庫	倉庫	その他の事業所	複合用途防火対象物	イ以外の複合用途防火対象物	二地	三街	文財	延長50m以上のアーケード			
防火対象物合計	14597	20	293	0	54	0	10	11	487	663	70	3548	208	235	85	444	8	9	19	11	314	2997	0	163	1	2029	1904	790	199	0	0	6	19		
消防用設備等を要する防火対象物の別	屋内消火栓設備を要するもの	1281	11	15	0	7	0	1	2	4	45	20	122	13	24	9	139	1	2	0	1	1	417	0	5	0	256	127	51	8	0	0	0	0	
	スプリンクラー設備を要するもの	146	5	0	0	5	0	0	0	2	23	2	27	10	22	0	0	0	0	0	0	14	0	0	0	21	3	12	0	0	0	0	0	0	
	水噴霧等消火設備を要するもの	196	1	1	0	2	0	1	0	0	23	4	9	3	1	0	0	1	0	0	0	44	0	55	0	6	29	14	2	0	0	0	0	0	0
	屋外消火栓設備を要するもの	376	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	10	2	0	0	0	0	0	0	0	189	0	1	0	144	25	1	0	0	0	0	0	0	0
	動力消防ポンプを要するもの	92	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	4	0	0	1	0	0	0	0	0	46	0	0	0	28	8	1	1	0	0	0	0	0	
	自動火災報知設備を要するもの	4457	14	64	0	38	0	8	6	114	291	41	778	93	141	46	241	4	5	2	1	7	1071	0	40	0	659	402	334	53	0	0	4	0	
	ガス漏れ火災警報設備を要するもの	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	
	漏電火災警報器を要するもの	32	0	0	0	0	0	1	1	0	3	14	0	3	3	1	0	0	0	0	1	2	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	
	消防機関へ通報する火災報知設備を要するもの	464	3	3	0	8	0	5	0	2	15	36	48	52	103	6	7	0	1	1	0	0	32	0	3	0	15	20	91	13	0	0	0	0	
	非常警報設備を要するもの	1424	12	135	0	29	0	4	1	153	157	19	207	48	42	21	176	3	6	5	0	27	42	0	5	0	9	178	134	11	0	0	0	0	
	避難器具を要するもの	1074	4	20	0	13	0	3	1	55	20	20	431	25	36	21	130	2	1	0	0	4	10	0	1	0	1	107	135	34	0	0	0	0	
	誘導灯を要するもの	2868	15	147	0	42	0	9	8	298	443	48	142	157	136	42	71	3	8	7	1	18	278	0	24	0	167	385	376	42	0	0	1	0	
	消防用水を要するもの	85	1	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	2	0	3	0	0	0	0	0	51	0	0	0	11	7	6	0	0	0	0	0	0	
	排煙設備を要するもの	29	2	0	0	2	0	0	0	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	8	0	0	0	0	0	0	
連結散水設備を要するもの	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	4	1	0	0	0	0	0	0		
連結送水管を要するもの	291	1	0	0	0	0	0	0	1	3	12	137	10	2	0	4	1	0	0	0	4	0	6	0	2	28	48	14	0	0	0	18	0		
非常コンセント設備を要するもの	68	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	58	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	7	1	0	0	0	0			
無線通信補助設備を要するもの	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
甲種防火対象物	2088	9	74	0	34	0	7	6	121	238	38	321	39	99	32	94	4	5	2	2	17	191	0	52	0	147	285	238	32	0	0	1	0		
乙種防火対象物	544	0	87	0	4	0	1	1	170	48	2	20	3	6	4	10	0	1	2	1	10	5	0	4	0	1	20	133	11	0	0	0	0		
共同防火管理を要するもの	173	0	1	0	1	0	0	0	14	4	1	12	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	8	0	1	6	110	12	0	0	0	0	0		

数量・類別危険物施設設置状況

平成21年4月1日現在

区分	製造所等の別	合計	製造所	貯蔵所									取扱所						事業所数			
				小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	特定屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	14kℓを越える被率引車	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	第1種販売取扱所	第2種販売取扱所	移送取扱所		特定移送取扱所	一般取扱所	
許可施設数	今年度末数	4427	127	3445	376	1817	336	65	186	21	851	240	129	855	242	5	0	65	0	543	814	
数量別	5倍以下	644	7	527	131	120	0	42	85	21	97	4	31	110	6	1	0	0	0	103		
	5倍を越え10倍以下	505	13	353	63	132	0	11	40	0	69	4	38	139	27	3	0	0	0	109		
	10倍～50倍 "	1069	16	826	82	500	0	12	46	0	136	12	50	227	98	1	0	2	0	126		
	50倍～100倍 "	792	13	689	24	187	0	0	4	0	472	155	2	90	16	0	0	1	0	73		
	100倍～150倍 "	255	9	216	23	128	0	0	7	0	58	55	0	30	16	0	0	2	0	12		
	150倍～200倍 "	117	7	78	10	56	3	0	3	0	2	0	7	32	19	0	0	2	0	11		
	200倍～1,000倍 "	529	30	370	28	323	66	0	1	0	17	10	1	129	58	0	0	6	0	65		
	1,000倍～5,000倍 "	232	18	170	9	161	71	0	0	0	0	0	0	44	2	0	0	16	0	26		
	5,000倍～10,000倍 "	76	3	64	3	61	55	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	3	0	6		
10,000倍を越えるもの	208	11	152	3	149	141	0	0	0	0	0	0	45	0	0	0	33	0	12			
類別	単	第1類	7	0	4	4	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	3		
	独	第2類	22	1	18	7	11	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	1	0	2		
		第3類	34	1	25	5	19	0	0	0	0	1	0	0	8	0	0	0	1	0	7	
		第4類	4173	99	3287	306	1757	334	65	186	21	828	236	124	787	242	2	0	59	0	484	
		第5類	11	0	11	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		第6類	51	0	49	1	29	2	0	0	0	19	1	0	2	0	0	0	1	0	1	
混在	129	26	51	42	1	0	0	0	0	0	3	3	5	52	0	3	0	3	0	46		

防火対象物状況(地区別)

平成21年4月1日 現在

地区の別	政令別表項目別 合計	1		2				3		4		5		6		7	8	9		10	11	12		13		14	15	16		16	17	18				
		イ	ロ	イ	ロ	ハ	ニ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ			
		劇場・映画館	公会堂・集会場	キヤパレール・カフェー等	遊技場等	風管法規定する性能規格を満たさず、特殊用途を営む店舗等	カラオケ等	待合・料亭等	飲食店	百貨店・マーケット	百貨店・マーケット	旅館・ホテル	寄宿舎・下宿・共同住宅	病院	老人福祉施設等	幼稚園・盲学校等	学校	図書館・美術館	蒸気・熱気浴場	イに掲げる以外の公衆浴場	車両の停車場	神社・寺院	工場・作業場	映画・テレビスタジオ	自動車庫・駐車場	飛行機等の格納庫	倉庫	その他の事業所	イ以外の用途防火対象物	イ以外の用途防火対象物	二地	三	文化財	延長50m以上のアーケード		
合計	14597	20	293	0	54	0	10	11	486	662	70	3560	208	235	85	444	8	9	19	11	314	2992	0	162	1	2028	1901	790	199	0	0	6	19			
中消防署管内	小計	5468	1	102	0	19	0	6	10	294	310	42	1409	102	81	34	153	2	5	5	3	89	715	0	91	1	638	695	534	108	0	0	0	19		
	共同	681	0	3	0	3	0	0	1	101	64	17	71	6	4	2	9	0	1	3	0	10	16	0	22	0	28	66	214	25	0	0	0	15		
	同和	18	0	1	0	0	0	0	1	1	2	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	4	1	0	0	0	0	0	0		
	中央	149	0	1	0	0	0	0	4	7	6	2	11	7	1	0	6	0	0	1	1	7	7	0	3	0	9	40	28	4	0	0	0	4		
	港	323	0	6	0	0	0	0	1	4	2	2	21	1	4	1	0	0	0	0	0	67	0	3	0	127	75	3	6	0	0	0	0	0		
	浜田	1006	1	4	0	4	0	0	0	24	38	10	203	12	6	1	21	1	0	0	0	8	127	0	41	0	147	180	139	39	0	0	0	0	0	
	常盤	1054	0	21	0	3	0	2	1	54	73	6	529	23	15	6	14	1	1	1	1	13	62	0	6	0	58	77	72	15	0	0	0	0	0	
	橋北	318	0	3	0	0	0	0	0	6	10	2	50	4	3	4	10	0	0	0	0	2	80	0	4	0	77	43	12	8	0	0	0	0	0	
	海蔵	537	0	2	0	3	0	0	0	10	18	0	170	7	5	1	10	0	1	0	0	8	148	0	0	1	98	37	14	4	0	0	0	0	0	
	三重	598	0	16	0	2	0	2	1	46	45	2	191	18	20	5	22	0	2	0	0	15	79	0	1	0	50	55	23	3	0	0	0	0	0	
	神前	153	0	10	0	1	0	0	0	7	11	1	19	5	5	1	30	0	0	0	0	6	23	0	3	0	8	16	6	1	0	0	0	0	0	
	川島	143	0	6	0	1	0	0	0	10	10	0	55	8	5	3	5	0	0	0	0	8	8	0	0	0	3	13	7	1	0	0	0	0	0	
	県	225	0	10	0	1	0	0	0	7	5	0	42	3	4	4	12	0	0	0	0	6	59	0	2	0	19	44	5	2	0	0	0	0	0	0
	桜	263	0	19	0	1	0	2	1	17	26	0	43	8	9	6	14	0	0	0	1	6	37	0	6	0	12	45	10	0	0	0	0	0	0	0
北消防署管内	小計	4434	14	91	0	15	0	2	0	103	170	12	1198	47	61	25	146	5	1	9	4	84	1157	0	29	0	598	484	136	42	0	0	1	0		
	富田	462	0	9	0	0	0	0	5	30	2	142	9	7	2	24	0	1	4	2	10	61	0	4	0	60	52	31	7	0	0	0	0	0	0	
	羽津	1109	7	9	0	3	0	1	0	22	50	2	243	10	12	4	19	0	0	0	1	12	392	0	4	0	150	135	28	5	0	0	0	0	0	0
	富洲原	331	0	8	0	2	0	0	0	18	15	5	61	6	4	4	9	0	0	2	1	4	95	0	8	0	47	25	15	2	0	0	0	0	0	
	大矢知	557	0	12	0	2	0	0	0	10	16	0	278	6	5	4	7	0	0	0	0	15	80	0	2	0	73	25	20	1	0	0	1	0	0	
	八郷	353	0	12	0	0	0	0	0	6	7	0	72	4	7	4	36	1	0	0	0	7	109	0	1	0	30	38	13	6	0	0	0	0	0	
	下野	172	0	10	0	1	0	0	0	8	10	0	56	2	6	1	10	0	0	0	0	4	33	0	0	0	14	12	4	1	0	0	0	0	0	
	保々	203	1	9	0	0	0	0	0	3	4	0	37	1	3	2	14	0	0	0	0	7	54	0	0	0	36	27	4	1	0	0	0	0	0	
	川越町	900	5	12	0	5	0	1	0	18	21	3	227	4	12	2	20	1	0	2	0	14	245	0	10	0	146	124	14	14	0	0	0	0	0	
	朝日町	333	1	10	0	2	0	0	0	13	17	0	68	5	5	2	7	3	0	1	0	11	88	0	0	0	42	46	7	5	0	0	0	0	0	
南消防署管内	小計	4695	5	100	0	20	0	2	1	89	182	16	953	59	93	26	145	1	3	5	4	141	1120	0	42	0	792	722	120	49	0	0	5	0		
	塩浜	938	0	7	0	2	0	0	0	8	19	3	90	1	10	1	14	0	0	3	2	14	301	0	9	0	198	224	19	13	0	0	0	0	0	
	日永	1094	4	16	0	8	0	2	0	37	84	1	315	23	19	4	47	1	1	1	1	22	171	0	13	0	152	132	33	7	0	0	0	0	0	
	河原田	604	0	6	0	4	0	0	1	5	20	1	62	0	6	0	15	0	0	0	0	12	197	0	7	0	145	113	6	4	0	0	0	0	0	
	四郷	499	0	21	0	1	0	0	0	17	17	1	217	12	23	16	37	0	0	0	0	24	37	0	0	0	25	20	23	7	0	0	1	0	0	
	内部	467	0	11	0	3	0	0	0	11	16	3	113	9	16	3	14	0	1	0	0	25	100	0	7	0	82	38	10	5	0	0	0	0	0	
	小山田	224	0	11	0	1	0	0	0	5	9	0	7	1	9	0	7	0	1	1	0	24	81	0	1	0	18	39	5	4	0	0	0	0	0	
	水沢	239	0	9	0	0	0	0	0	3	2	6	12	7	5	0	3	0	0	0	0	8	61	0	0	0	45	76	2	0	0	0	0	0	0	
楠	630	1	19	0	1	0	0	0	3	15	1	137	6	5	2	8	0	0	0	1	12	172	0	5	0	127	80	22	9	0	0	4	0	0		

地区別危険物施設設置状況

平成21年4月1日現在

区分	合計	製造所	貯蔵所									その他				
			小計	屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	小計	給油	販売	移送	一般	
合計	4427	127	3445	376	1817	65	186	21	851	129	855	242	5	65	543	
中消防署管内	小計	822	20	623	59	241	26	72	7	198	20	179	71	2	14	92
	共同	13	0	9	0	0	2	7	0	0	0	4	2	1	0	1
	同和	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	中央	16	0	15	5	0	0	3	0	7	0	1	1	0	0	0
	港	325	6	277	17	110	4	4	0	130	12	42	8	0	2	32
	浜田	102	2	77	9	4	4	23	0	34	3	23	14	0	0	9
	橋北	166	10	121	9	108	0	2	0	1	1	35	6	1	12	16
	海蔵	28	0	24	2	2	2	4	0	14	0	4	3	0	0	1
	常磐	33	0	20	3	5	0	12	0	0	0	13	5	0	0	8
	川島	4	0	1	0	1	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0
	神前	18	0	11	4	0	0	4	0	0	3	7	5	0	0	2
	桜	14	0	10	2	0	0	4	2	2	0	4	4	0	0	0
	県	26	0	14	1	5	1	4	1	2	0	12	5	0	0	7
三重	77	2	44	7	6	13	5	4	8	1	31	15	0	0	16	
北消防署管内	小計	1258	40	984	110	445	27	54	9	283	56	234	78	0	18	138
	羽津	518	26	395	44	263	5	6	1	58	18	97	11	0	17	69
	富田	56	0	48	7	1	3	9	3	16	9	8	7	0	0	1
	富州原	70	2	56	7	3	3	5	0	31	7	12	9	0	0	3
	大矢知	40	0	25	13	4	3	3	0	1	1	15	6	0	0	9
	八郷	21	0	14	4	0	5	1	1	3	0	7	6	0	0	1
	下野	10	0	7	3	2	0	1	1	0	0	3	2	0	0	1
	保々	26	1	16	7	2	0	3	1	1	2	9	5	0	0	4
	朝日町	48	0	29	9	13	2	0	1	2	2	19	6	0	0	13
川越町	469	11	394	16	157	6	26	1	171	17	64	26	0	1	37	
南消防署管内	小計	2347	67	1838	207	1131	12	60	5	370	53	442	93	3	33	313
	塩浜	1057	36	837	68	586	5	13	1	144	20	184	16	0	29	139
	日永	436	13	338	41	227	3	13	1	39	14	85	17	2	1	65
	四郷	22	0	10	4	2	0	1	0	3	0	12	6	0	0	6
	内部	73	1	43	7	6	0	8	1	19	2	29	19	0	0	10
	河原田	403	13	321	57	210	2	2	1	41	8	69	13	1	2	53
	小山田	109	1	88	5	28	1	11	1	40	2	20	9	0	0	11
	水沢	35	0	28	1	17	0	5	0	5	0	7	4	0	0	3
楠町	212	3	173	24	55	1	7	0	79	7	36	9	0	1	26	

33.事業所等別危険物施設状況

平成21年4月1日現在

区分		合計	コンビナート			その他			
			小計	第1コンビナート	第2コンビナート	第3コンビナート	小計	その他	
施設									
合計		4427	2168	1470	311	387	2259	2259	
製造所		127	98	56	16	26	29	29	
貯蔵所	小計	3445	1673	1146	243	284	1772	1772	
	屋内	376	162	119	14	29	214	214	
	屋外タンク	1817	1438	979	216	243	379	379	
	屋内タンク	65	4	4	0	0	61	61	
	地下タンク	186	6	4	2	0	180	180	
	簡易タンク	21	0	0	0	0	21	21	
	移動タンク	851	5	3	0	2	846	846	
	屋外	129	58	37	11	10	71	71	
取扱所	小計	855	397	268	52	77	458	458	
	給油	営業用	103	0	0	0	0	103	103
		自家用	139	4	3	0	1	135	135
	販売	5	0	0	0	0	5	5	
	移送	65	64	33	14	17	1	1	
	一般	543	329	232	38	59	214	214	

コンビナート概要

事業所規模

(平成21年4月1日現在)

事業所種別	第1コンビナート	第2コンビナート	第3コンビナート	コンビナート全体
第1種事業所	4社5事業所	2社3事業所	6社6事業所	40社49事業所
第2種事業所	12社14事業所	2社2事業所	4社4事業所	
その他事業所	6社6事業所	5社5事業所	4社4事業所	
計	22社25事業所	9社10事業所	14社14事業所	

同一社において事業者別又はコンビナート地区が異なるときは、各該当欄へ記載しているため、合計数としての社数とは一致しない。

石油等の貯蔵取扱量及び高圧ガス処理量

(平成21年4月1日現在)

石油等区分	第1コンビナート	第2コンビナート	第3コンビナート	計
石油貯蔵量	3,553,046 kℓ	1,417,084 kℓ	189,869 kℓ	5,159,999 kℓ
石油取扱量	796,400 kℓ	871,470 kℓ	71,708 kℓ	1,739,578 kℓ
石油合計量	4,349,446 kℓ	2,288,554 kℓ	261,577 kℓ	6,899,577 kℓ
高圧ガス処理量	290,155,399 m ³ /D	62,518,572 m ³ /D	219,113,716 m ³ /D	571,787,687 m ³ /D

特定防災施設

消火用屋外給水施設設置状況

(平成21年4月1日現在)

設置事業所数	種別			合計
	消火栓単独施設	貯水槽単独施設	混合施設	
22	21		1	22

流出油等防止堤設置状況

事業所数 及び ブロック数	対象タンク 数及び 合計容量	ブロックの 最大収容 容量	収容タンク 数	収容タンク の総容量	法定堤 内容量	堤内容量	堤の総延長
3社 10ブロック	98基 4,292,690 kl	648,930 kl	241 基	4,816,501 kl	639,978 kl	891,684.3 kl	15.346 km

専用非常通報設備(ホットライン)加入事業者

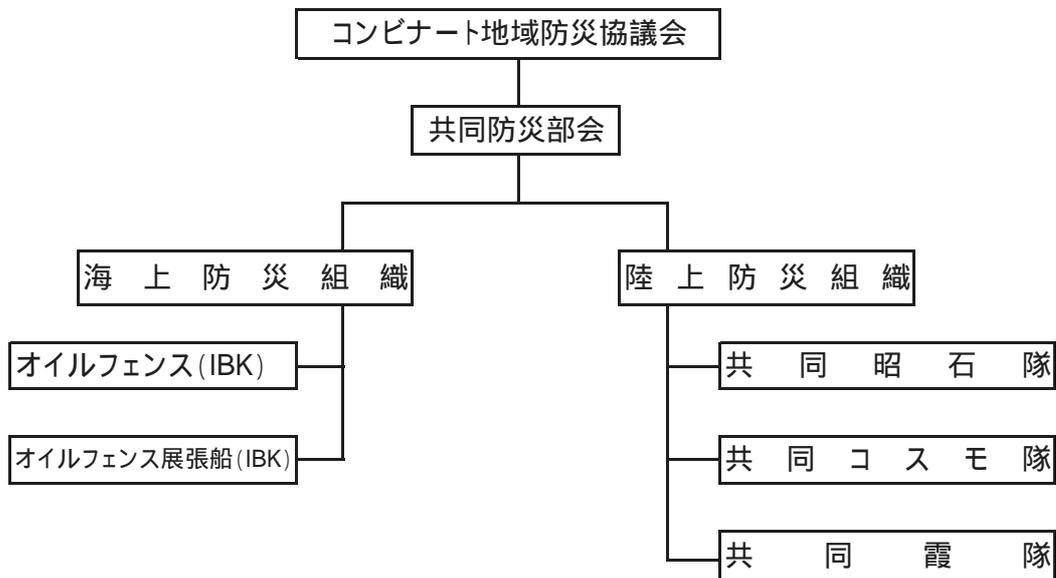
(平成21年4月1日現在)

区	分	全体事業所数	加入事業所数
第1種事業所		14	13
第2種事業所		20	17
その他種事業所		15	3
合	計	49	33

コンビナート防災体制

(共同防災体制)

(平成21年4月1日現在)



(1) 海上防災組織防災隊員(計)

総 数	5人
船舶乗組員	2人
その他の防災要員	3人

(1) 陸上防災組織防災隊員(計)

総 数	63人
指揮者・機関員	33人
その他の防災要員	30人

(2) 防災資機材(計)

オイルフェンス:B 型	1,080m
オイルフェンス:1 隻	
展 張 船: 総トン数	123.21t

(2) 防災資機材(計)

2 点 セ ッ ト	3セット
消 火 原 液	33.5kℓ

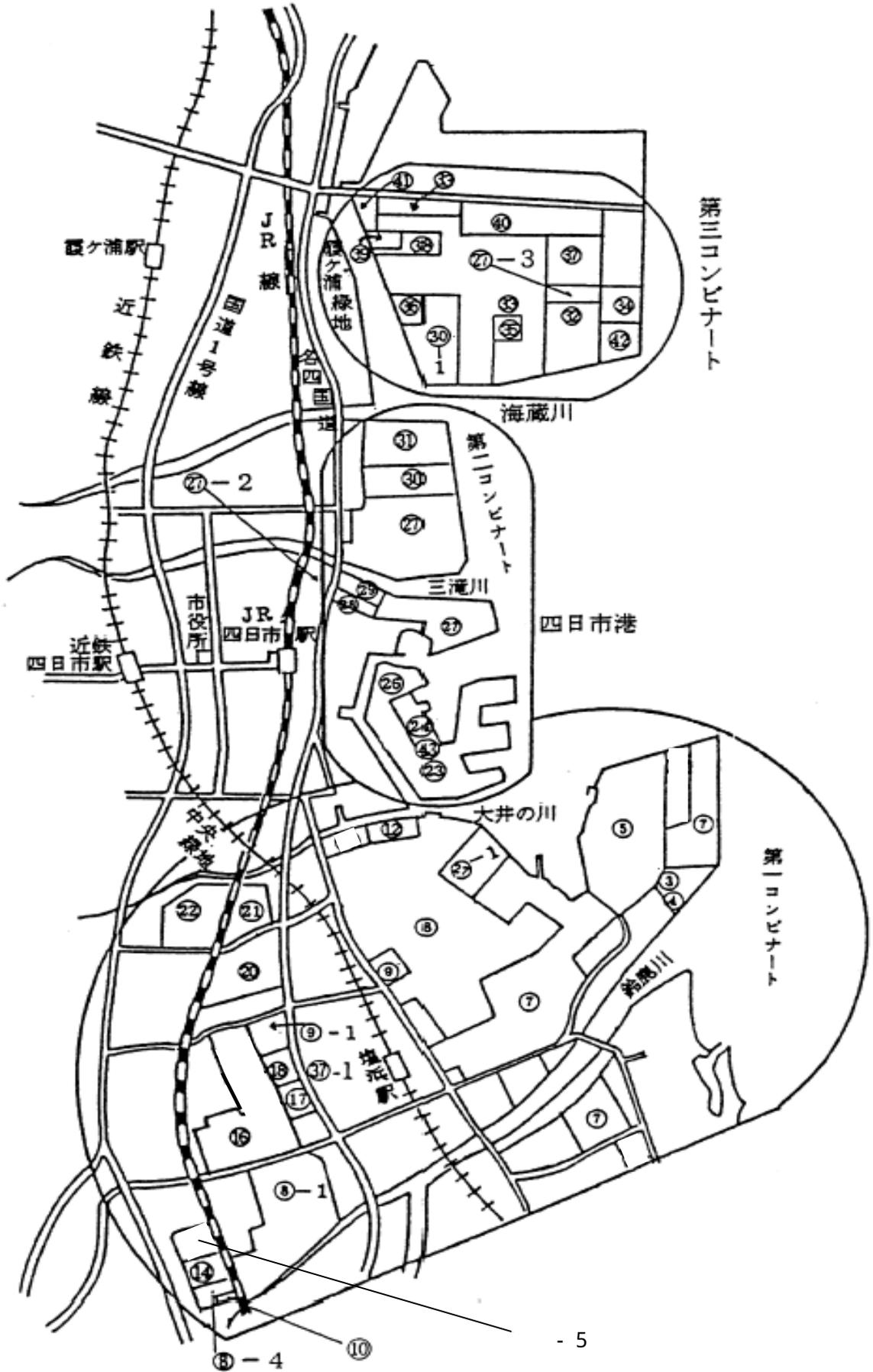
(自衛消防体制)

(1) 防災隊員(計)

総 数	1,269人
車両乗車隊員	523人
その他の隊員	738人
船舶隊員	8人

海上	オイルフェンス展張船 :	2 隻	
	油回収船・油回収装置付 :	1 隻	
	オイルフェンス :	12,060m	
	油 理 処 剤	乳化分散型 :	37.8kℓ
		吸着マット :	19,883kg
	陸上	化学消防車(3点セット除く) :	11台
	その他消防車(上記除く) :	2台	
	泡 原 液 :	212.93kℓ	

四日市臨海地区事業所配置図



〔第3コンビナート〕

27 - 3	コスモ石油(株)四日市霞発電所
32	四日市エルピージー基地(株)霞事業所
33	東ソー(株)四日市事業所
34	中部電力(株)四日市LNGセンター
30 - 1	協和発酵ケミカル(株)四日市工場 霞ヶ浦製造所
35	日本ポリプロ(株)四日市工場
36	上野製薬(株)四日市工場
37	BASFジャパン(株)四日市生産本部
38	丸善石油化学(株)四日市工場
39	四日市オキシトン(株)四日市工場
40	DIC(株)四日市工場
41	霞共同事業(株)
42	東邦ガス(株)四日市工場

〔第2コンビナート〕

23	第一工業製薬(株)四日市事業所
24	日本板硝子(株)四日市工場
26	宮木(株)四日市油槽所
27	コスモ石油(株)四日市製油所
27 - 2	コスモ石油(株)第一陸上出荷場
28	コスモ石油販売(株)三重カンパニー
29	昭和炭酸(株)四日市工場
30	協和発酵ケミカル(株)四日市工場 午起製造所
31	中部電力(株)四日市火力発電所
43	Avan Strate(株)四日市工場

〔第1コンビナート〕

3	三菱マテリアル(株)四日市工場
4	日本アエロジル(株)四日市工場
5	石原産業(株)四日市工場
7	昭和四日市石油(株)四日市製油所
27 - 1	コスモ石油(株)塩浜油槽所
8	三菱化学(株)四日市事業所 塩浜地区
8 - 1	三菱化学(株)四日市事業所 川尻地区
8 - 4	三菱化学(株)四日市事業所 大治田地区
8 - 5	三菱化学(株)四日市事業所 北大治田地区
9	四日市合成(株) 四日市
9 - 1	四日市合成(株) 六呂見
10	(株)ロンビック大治田工場

12	日本トランスシティ(株) 東邦タンクヤード
14	ライオンアクゾ(株)四日市工場
16	JSR(株)四日市工場
37 - 1	BASFジャパン(株)六呂見工場
17	東邦化学工業(株)四日市工場
18	(株)JSP四日市第一工場
20	味の素(株)東海事業所
21	パナソニック電工(株)四日市工場
22	三菱ガス化学(株)四日市工場

消 防 団

四 日 市 市 消 防 団 の 沿 革

江戸時代	各村に火の番所が設けられ、五人組という自治制度のもとに防火、消防活動が行われていた。また、江戸や城下町には町火消が組織されていた
明治19年	四日市に初めて火防組が組織される 消防夫59人
明治20年	火防組12組消防夫864 人となる
明治24年	火防組が消防組と改名される
明治25年	消防組23組消防夫1,309 人となる
明治27年 2月	勅令をもって消防規制が公布される 消防組規制により、消防組の全国的な統一が行われる
明治28年 12月26日	各町自警消防組を統一し、新たに四日市消防組として発足 四日市町消防組 第1番組川原町、末永、浜一色（橋北地区） 第2番組西町、久六町、比丘尻町、堅町 南町、北町、上新町（共同地区） 第3番組中町、境町、八幡町、中新町 四ツ谷新町、南新町、（同和地区） 第4番組浜町、北条町、下新町、新丁、（同盟地区） 第5番組蔵町、北納屋町、中納屋町 桶ノ町、袋町、高砂町、稲葉町、南納屋町（港地区） 第6番組浜田、赤堀（浜田地区） 配置人員 組頭1人 小頭6人 消防手193人 合計200人 配備器具 ポンプ6 大水桶12 小水桶64 梯子6 鷹口31 刺又6 釣13 斧6 大縄6 纏 6 旗6 高張提灯6 弓張提灯62 消火札6
明治30年	市政実施とともに四日市消防組も市に引き継がれる
大正6年 10月	第5番組（港地区）に初めてガソリンポンプを配置
大正12年 1月	全ての組にガソリンポンプを配置
大正15年	初めて自動車ポンプを購入し、組頭直属のもとに自動車隊が登場
昭和5年	市域の拡大に伴って第7番組（海蔵地区）第8番組（塩浜地区）が本市消防組に編入
昭和7年	本市上水道が完成し、消火栓355基を設置
昭和14年 1月	政府は準戦時体制から戦時体制に切換えを強行し、警防団令を發布した
昭和14年 4月1日	昭和6年頃に結成され、防空活動を行っていた防護団と消防組を合体し、四日市警防団を設置した 警防団は消防組と同一区画の8分団とした 定員 622人（内本部消防部16人） 分団に警護、消防、救護の3部を置く 初代警防団長 九鬼紋七氏
昭和16年	本市が富田町等2町3村を併合
昭和16年 10月3日	富田、富洲原両町の警防団を合体し、四日市北警防団を結成 四日市北警防団は、本部を富田警察署に置く 6分団 定員 363人 自動車ポンプ2台 ガソリンポンプ4台 腕用ポンプ3台 羽津、常磐、日永の各村警防団は四日市警防団の第9.10.11分団として本市に引き継がれた
昭和17年 8月	四日市警防団第5分団（港地区）に海上部を設置
昭和18年 6月	海上部を四日市警防団海上分団とし、発動機船2、消防艇1、短艇4を装備した
昭和18年	四郷、内部両村が併合され四日市市には2警防団20分団になる
昭和22年 9月	新消防団令に基づき、四日市市消防団と四日市市北消防団が組織され再出発した 四日市市消防団 本部と7分団 725人編成 初代団長 九鬼紋十郎氏 四日市市北消防団 富田、富洲原地区を区域とする 6分団 225人編成 初代団長 大野正平氏
昭和23年 2月29日	消防組織法の施行により、四日市市消防団と四日市市北消防団を四日市市消防団として一本化した 初代消防団長 九鬼紋十郎氏

昭和24年 8月11日	2代目四日市市消防団長に大野正平氏就任
昭和26年 4月1日	四日市市消防団は消防団本部と橋北、港、中部、海蔵、塩浜、羽津、常磐、日永、四郷、内部、富田、富洲原、海上の13分団 四日市市消防団の定員 716名
昭和27年	四日市市消防団の定員 718名
昭和28年	四日市市消防団の定員 646名
昭和29年 3月	小山田村が合併され、小山田村消防団が四日市市消防団に編入
昭和29年 7月	市町村の合併により、河原田、神前、川島、桜、県、三重、大矢知、八郷、下野の9分団が増加し、23分団 四日市市消防団の定員 1,156名
昭和32年	市町村の合併により、保々、水沢の2分団が増加し25分団とした
昭和35年	四日市市消防団に定員 1,258名
昭和39年	中部分団を廃止し、四日市市消防団の定員の見直しを実施24分団1,258名→427名
昭和53年 2月28日	大野正平氏消防団長を退任
昭和53年 3月1日	3代目消防団長に榊原孫七氏就任
昭和63年	海上分団に消防車両が配備され、全消防分団に消防車両が配備された
平成元年 1月31日	榊原孫七氏消防団長を退任
平成元年 2月1日	4代目消防団長に岩田忠兵衛氏就任
平成7年 3月3日	四日市市消防団・四日市市消防本部連名で、消防庁長官表彰を受章
平成9年 1月31日	岩田忠兵衛氏消防団長を退任
平成9年 2月1日	5代目消防団長に後藤正義氏就任
平成13年 7月31日	後藤正義氏消防団長を退任
平成13年 8月1日	6代目消防団長に堀善澄氏就任
平成17年 2月7日	四日市市と楠町の合併に伴い、四日市市消防団と四日市市楠消防団の2団制をとる
平成17年 9月1日	港分団を廃止し、女性消防団員15名による「サルビア分団」を結成
平成18年 2月24日	四日市市消防団が、消防庁長官から「消防団地域活動表彰」(団員確保功労)を受賞

歴代四日市市消防団長

代	氏名	在職期間
初	九鬼 紋十郎	昭和23年 9月29日 ～ 昭和24年 8月10日
2	大野 正平	昭和24年 8月11日 ～ 昭和53年 2月28日
3	榊原 孫七	昭和53年 3月1日 ～ 平成元年 1月31日
4	岩田 忠兵衛	平成元年 2月1日 ～ 平成9年 1月31日
5	後藤 正義	平成9年 2月1日 ～ 平成13年 7月31日
6	堀 善澄	平成13年 8月1日 ～ 現在

歴代四日市市楠消防団長

代	氏名	在職期間
初	橋本 巳貴也	平成17年 2月7日 ～ 現在

消 防 団 の 概 況

(平成21年4月1日現在)

分 団	区 分	人 員							消 防 車		
		合 計	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長		団 員	
四 日 市 市 消 防 団	合 計	427	1	3	24	24	24	57	294	24	
	団 本 部	4	1	3						1	
	北 口 郡	サルビア分団	15			1	1	1	2	10	
		羽津分団	15			1	1	1	2	10	1
		富田分団	15			1	1	1	2	10	1
		富洲原分団	15			1	1	1	2	10	1
		大矢知分団	15			1	1	1	2	10	1
		八郷分団	15			1	1	1	2	10	1
		下野分団	22			1	1	1	3	16	1
		保々分団	22			1	1	1	3	16	1
	中 口 郡	橋北分団	15			1	1	1	2	10	1
		海蔵分団	15			1	1	1	2	10	1
		海上分団	15			1	1	1	2	10	1
		常磐分団	15			1	1	1	2	10	1
		三重分団	15			1	1	1	2	10	1
		神前分団	22			1	1	1	3	16	1
		川島分団	22			1	1	1	3	16	1
		県分団	22			1	1	1	3	16	1
	南 口 郡	桜分団	22			1	1	1	3	16	1
		塩浜分団	15			1	1	1	2	10	1
		日永分団	15			1	1	1	2	10	1
		河原田分団	15			1	1	1	2	10	1
		内部分団	15			1	1	1	2	10	1
		四郷分団	22			1	1	1	3	16	1
小山田分団		22			1	1	1	3	16	1	
水沢分団		22			1	1	1	3	16	1	

四 日 市 市 楠 消 防 団	合 計	100	1	2	5	6	6	27	53	6
	団 本 部	3	1	2						
	楠 第 1 分 団	30			1	2	2	8	17	2
	楠 第 2 分 団	20			1	1	1	7	10	1
	楠 第 3 分 団	21			1	1	1	7	11	1
	楠 第 4 分 団	15			1	1	1	3	9	1
	楠 第 5 分 団	11			1	1	1	2	6	1

四 日 市 市 消 防 団 員 の 状 況

職業別消防団員数

(平成21年4月1日現在)

団員数 (人)	職業別	農業	建設業	製造業	電 気	運 輸	卸 売	金 融	サービス業	公 務	その他
		林業			ガ ス	通 信 業	小 売 業	保 険 業	不 動 産 業		
		漁業			熱供給		飲食業				
427	20	57	137	12	35	74	3	41	16	32	

消防団員の年令別状況

平均年令 45.1才

(平成21年4月1日現在)

階 級	区 分	総 数	18~20才	21~25才	26~30才	31~35才	36~40才	41~45才	46~50才	51~55才	56才以上
			総 数	427	0	5	18	58	85	74	70
団 長		1									1
副 団 長		3									3
分 団 長		24							1	1	22
副 分 団 長		24							4	4	16
部 長		23						4	4	5	10
班 長		56					5	13	11	14	13
団 員		296		5	18	58	80	57	50	15	13

消防団員の在職年数状況

平均勤続年数 13.3年

(平成21年4月1日現在)

階 級	区 分	総 数	5年未満	5年以上 ~ 10年未満	10年以上 ~ 15年未満	15年以上 ~ 20年未満	20年以上 ~ 25年未満	25年以上 ~ 30年未満	30年以上
			総 数	427	100	77	76	72	83
団 長		1						1	
副 団 長		3					1	2	
分 団 長		24	1				3	3	
副 分 団 長		24	1			1	9	6	
部 長		24		1	1	4	5	5	
班 長		56	1	5	10	12	19	5	
団 員		295	97	71	65	55	46	23	

四 日 市 市 楠 消 防 団 員 の 状 況

消防団員の年令別状況

平均年令 42.4才

(平成21年4月1日現在)

階 級	区 分	総 数	18~20才	21~25才	26~30才	31~35才	36~40才	41~45才	46~50才	51~55才	56才以上
			総 数	100	0	1	5	7	18	21	22
団 長		1									1
副 団 長		2									2
分 団 長		5								1	4
副 分 団 長		6							3	1	2
部 長		6							1	3	2
班 長		17					5	5	5	6	1
団 員		60	0	1	5	7	18	16	10	2	1

消防団員の在職年数状況

平均勤続年数 16.0年

(平成21年4月1日現在)

階 級	区 分	総 数	5年未満	5年以上 ~ 10年未満	10年以上 ~ 15年未満	15年以上 ~ 20年未満	20年以上 ~ 25年未満	25年以上 ~ 30年未満	30年以上
			総 数	100	15	18	21	10	8
団 長		1							
副 団 長		2							
分 団 長		4						2	
副 分 団 長		6				1	1	1	
部 長		6			1		1	2	
班 長		24			1	5	6	9	
団 員		57	15	18	19	4			

消 防 団 員 出 動 状 況

(平成20年度)

区 分	月 別	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
		計	回数	245	203	331	348	194	227	243	408	289	208
	人員	1297	1160	1997	2281	1398	1329	1173	2433	2048	1840	1040	2180
火 災	回数	29	14	3	13	23	14	11	26	23	41	16	45
	人員	309	142	25	149	231	169	114	284	270	488	187	528
残 火 処 理	回数	2							2	2			2
	人員	37							28	29			17
水 災	回数												
	人員												
訓 練	回数	12	50	169	222	41	48	104	168	98	76	36	37
	人員	109	224	1064	1519	392	370	360	786	472	845	254	255
警 戒	回数				1	13	6			70	1	2	1
	人員				22	107	45			573	14	26	4
ポ ン プ 点 検	回数	54	54	55	55	55	55	54	54	54	52	54	54
	人員	378	377	384	381	380	379	377	374	378	363	376	378
車 両 検 査	回数			3					1	2			
	人員			4					1	3			
そ の 他 災 害	回数	6	13	15	6	11	17	11	7	16	3	8	10
	人員	32	137	148	63	97	171	73	62	167	32	83	103
予 防 活 動	回数	8	15	9	5	4	9	6	87	5	5	9	60
	人員	61	115	46	25	32	48	37	670	23	26	36	545
警 防 調 査	回数	1	4	2			1	3	10	1		3	15
	人員	10	16	2			8	35	87	18		9	145
会 議	回数	46	38	41	16	40	69	38	44	15	25	32	36
	人員	200	122	144	48	149	131	147	116	112	66	66	134
研 修	回数	77		1	1			1	3				23
	人員	142		11	12			6	4				23
消 防 用 件	回数	10	15	33	29	7	8	15	6	3	5	3	24
	人員	19	27	169	62	10	8	24	21	3	6	3	48

消 防 団 訓 練 ・ 研 修 実 施 状 況

種 別	実 施 機 関	期 間	参加人員
初任科及び幹部科	消 防 本 部	4月10日	55名
機関員科	各 消 防 署	4月13、20日	75名
普通科	三重県消防学校	6月20日 ~ 6月22日	1名
指導員科	三重県消防学校	9月5日 ~ 9月7日	2名
幹部科	三重県消防学校	10月17日 ~ 10月19日	1名
応急手当指導員	各 消 防 署	5月20日 ~ 10月28日	47名
消防団員1日教育研修	三重県消防学校	3月1日	28名
防災訓練	四 日 市 市	9月 1日他	370名
規律訓練	各 消 防 署	11月9日	370名
		11月16日	16名
春・秋の火災予防運動・訓練	各 消 防 署	3月1日 ~ 3月7日	1,041名
		11月9日 ~ 11月15日	
文化財防火デー	各 消 防 署	1月24日、25日、27日	24名

サルビア分団活動状況

四日市市消防団の女性消防分団(以下 サルビア分団)は、平成17年9月に、消防団の活性化対策の一助とするために結成されました。

主に火災予防啓発活動を行っており、具体的には、幼児を対象として行う大型紙芝居や小・中学生を対象として防火教室、防災教室、応急手当普及講習などの訓練指導を中心に活動しています。男性の団員とは違い、災害出動はしませんが、女性ならではの、きめ細かでソフトな対応能力を活用し創意工夫をしながら減災活動に取り組んでいます。

サルビア分団年間活動状況

平成21年4月1日(回/年)

予防広報(大型紙芝居を含む)	42
訓練指導	100

消防団防災支援隊の登録状況

「災害」への備えとしては、被害の発生を防ぐ「もの」の備えと、被害は出てもその拡大を防ぐ「ひと」、「こと」の備えが必要であるといわれています。特に大規模災害が発生した場合には、地域における消火・救助・避難誘導等の防災活動が被害の拡大を食い止めるために重要になってきます。

そのため、四日市市として安全で安心して暮らせるまちづくりの推進事業の一環として、四日市市消防団から退職されました団員の消火技術や防災の知識・技術・経験を活かし、消防分団及び自主防災隊が行う消防・防災活動をボランティアで支援する四日市市消防団防災支援者制度を創設したものです。

登録状況

平成21年4月1日現在

176名